

元総社蒼海遺跡群 (148)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2
0
2
4
・
3

前橋市教育委員会

2024.3

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群（148）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

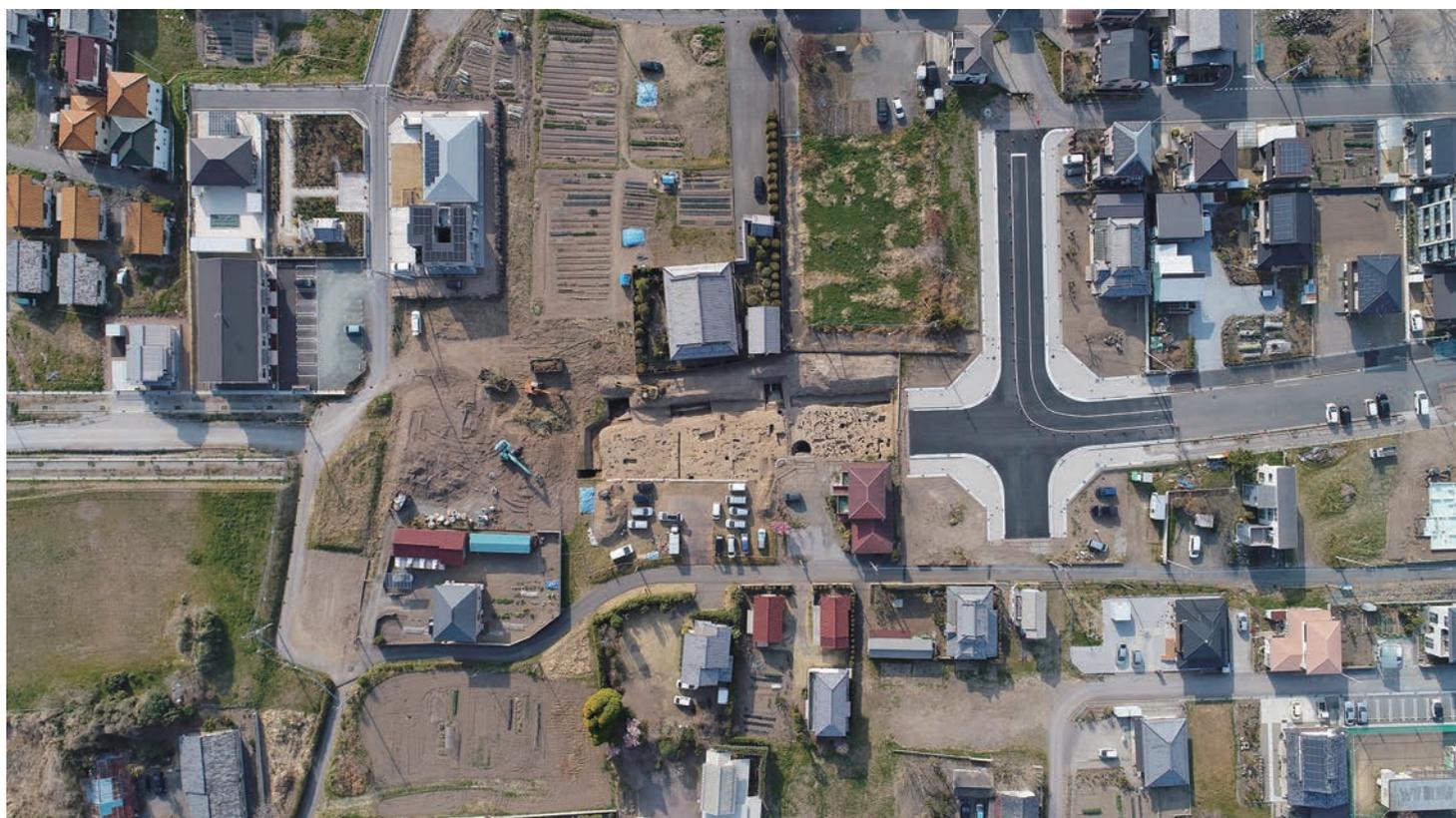
2024.3

前橋市教育委員会



北西上空から見た元総社蒼海遺跡群 (148) 調査区

調査区上（南方）には蒼海城本丸、左上（南東）には上野総社である総社神社の社叢。



上空から見た元総社蒼海遺跡群 (148) 調査区 右が北

区画整理地内の幹線道路建設に先立つ調査・事業も終盤に近づき、調査中も南側の民家は解体、屋敷林は伐採されて、調査区からの景色は目まぐるしく変貌した。



上空から見た元総社蒼海遺跡群 (148) 調査区 右が北

遺構の大半が中世で、大小の堀による区画の中から 竪穴状遺構・地下式坑・井戸と共に、掘立柱建物を構成するピットが夥しい数確認された。

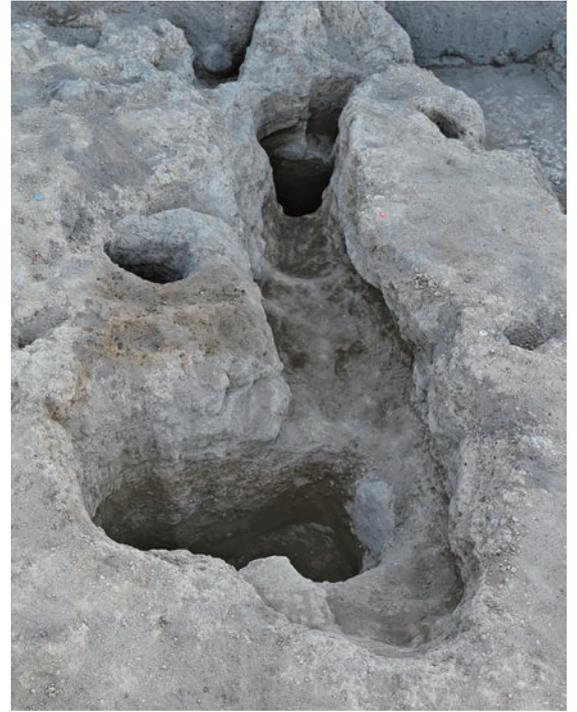
確認面は基盤の総社砂層で、古代以前の遺構はほとんど遺っていないが、中世に大規模な造成が行われた結果と考えられる。



B-1 ~ 6 (北が上) 黒 B-1・白 B-2・橙 B-3・青 B-4・赤 B-5・緑 B-6



B-1 付近 (北西から)



D-1・2 [B-1の溝持ち柱穴] 完掘 (西から)



D-1 [B-1 柱穴] (南から)



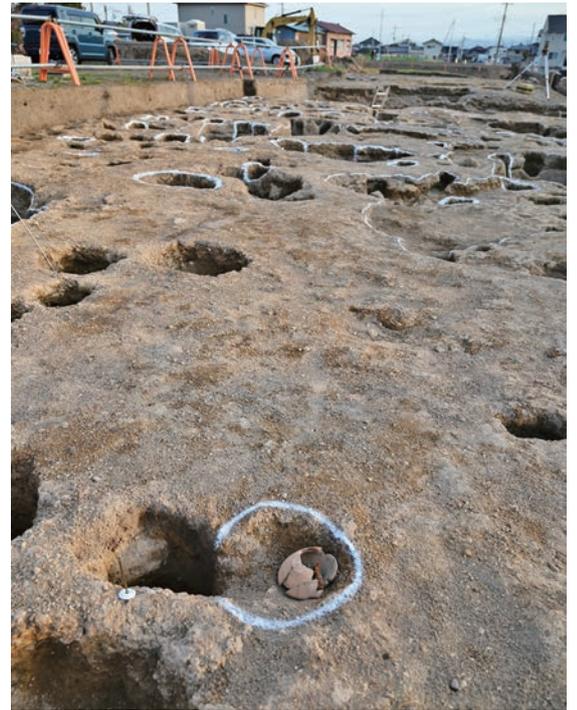
D-2 柱穴部 (北から)



D-15 内柱穴 (西から)



P-310 [B-1 柱穴] (北から)



P-5 [B-1に伴う地鎮] (北から)



D-5 内柱穴 (南西から)



D-5 内 斜行する深柱穴 (南から)



P-5 [B-1に伴う地鎮] 遺物詳細 (西から)



B-2～6 (西から)



B-7 付近 (西から)



T-1 [方形竪穴] 完掘 (東から)



T-2 [方形竪穴] 完掘 (南東から)



T-3 [方形竪穴] 完掘 (北から)



T-4 [地下式坑] T-5 [土坑] 完掘 (東から)



T-4 遺物出土状況 (西から)



T-4 出入口部 (北から)



T-6 [方形竪穴] 完掘 (北から)



T-7 [方形竪穴] 完掘 (東から)



D-3 完掘 (西から)



D-4 完掘 (北から)



D-5 完掘 (東から)



D-6 完掘 (北から)



D-7 完掘 (南から)



D-8 完掘 (西から)



D-9・17、I-3 完掘 (北から)



D-10 完掘 (西から)



D-11 遺物出土状況 (西から)



D-12 完掘 (北から)



D-13・14 完掘 (東から)



D-15 完掘 (西から)



D-16 完掘 (西から)



D-18・19 完掘 (東から)



D-20・21 完掘 (東から)



D-22 完掘 (北から)



D-23 完掘 (西から)



D-24 完掘 (東から)



D-25 完掘 (北から)



D-26 完掘 (北から)



D-27 完掘 (東から)



D-28 完掘 (西から)



D-29 完掘 (東から)



D-30 完掘 (西から)



D-31 完掘 (東から)



D-32 完掘 (北から)



D-33 完掘 (西から)



D-34 完掘 (西から)



D-35 完掘 (東から)



D-36 完掘 (北から)



D-36 遺物出土状況 (北から)



D-36 作業状況 (南から)



I-1 上層遺物出土状況 (西から)



I-1 上層遺物詳細 ① (西から)



I-1 上層遺物詳細 ② (北西から)



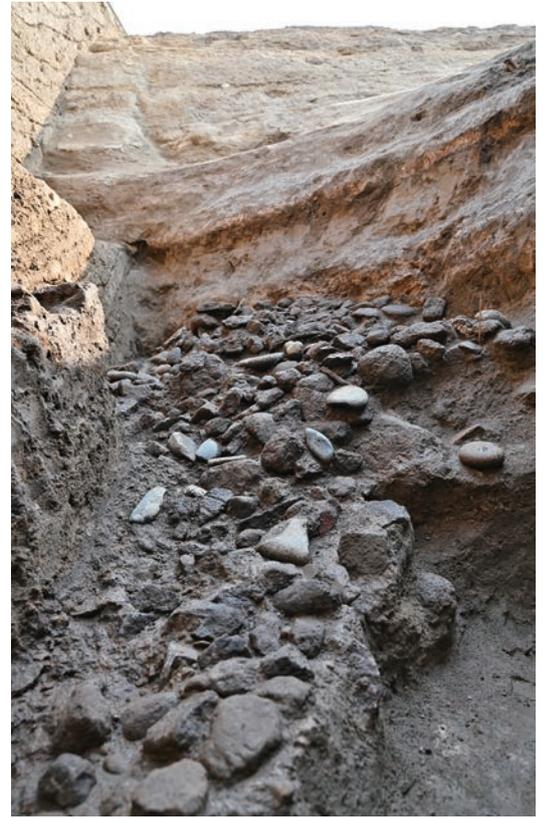
I-1 上層遺物詳細 ③ (北から)



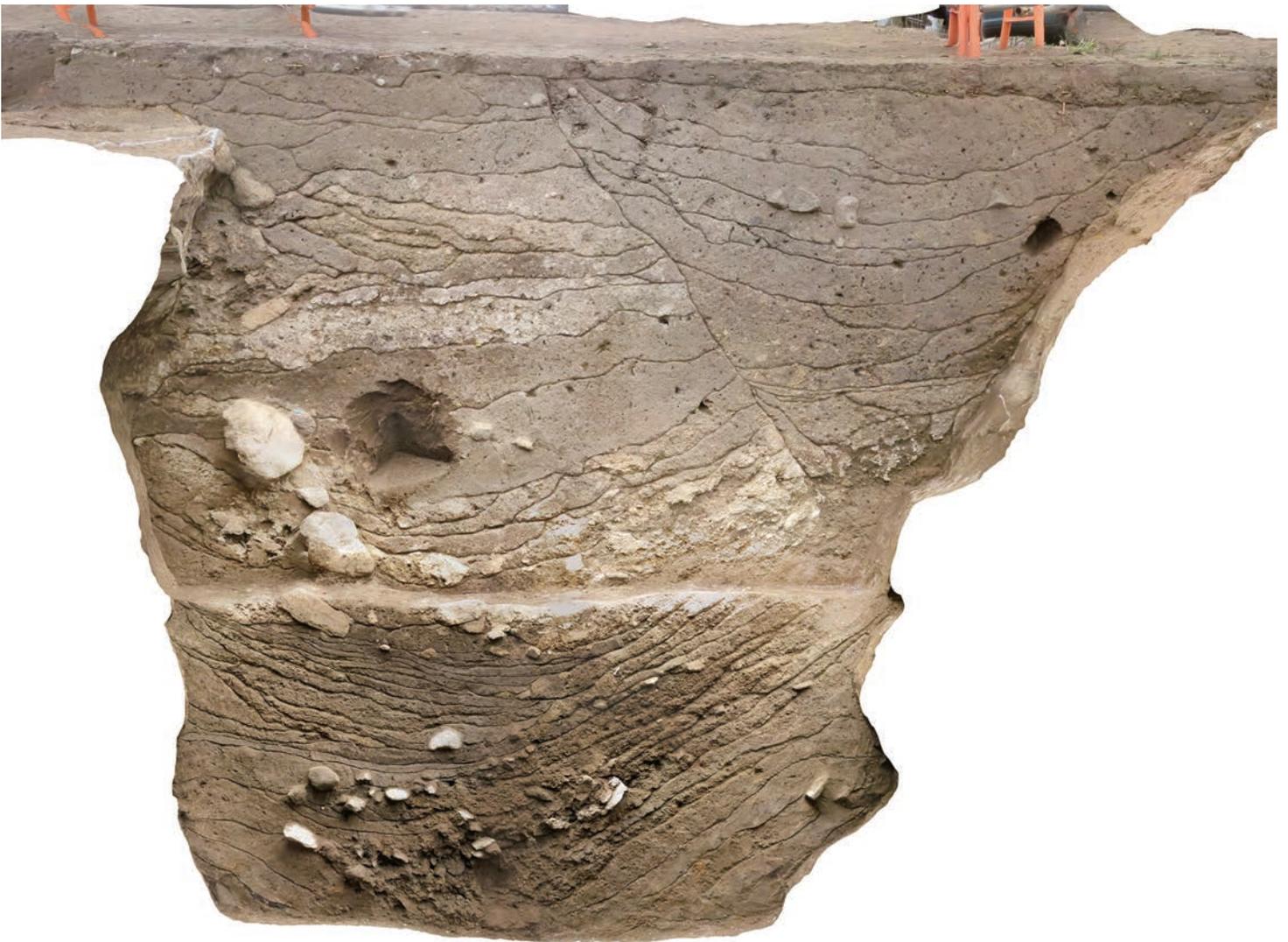
I-1 上層遺物詳細 ④ (西から)



I-1 中層 礫 出土状態 (北から)



I-1 中層 礫 詳細 (北から見上げ)



I-1 土層断面 (オルソフォト)



I-2 調査状況 (南西から)



I-3 調査状況 (北から)



I-4 調査状況 (北から)



I-5 調査状況 (西から)



W-1 北トレンチ 調査状況 (南から)



W-1 南トレンチ 調査状況 (南東から)



W-1 南トレンチ 土層断面 (南から)



W-1 中央トレンチ 調査状況 (北から)



W-2 東壁トレンチ 調査状況 (北西から)



W-3 完掘 (西から)



W-3 遺物出土状況 (東から)



W-4 完掘 (北から)



W-5 完掘 (北から)



W-6 完掘 (東から)



W-7 完掘 (東から)



X-1 完掘 (南から)



調査区全景 (北西から)



ピット群を前に



T-2 1



T-4 2



T-4 3



T-4 4



T-4 5



T-4 6



D-6 7



D-11 8



D-12 10



D-31 12



D-34 13



D-11 9



D-12 11



I-1 18



D-36 15



D-36 14



I-1 17



I-1 19



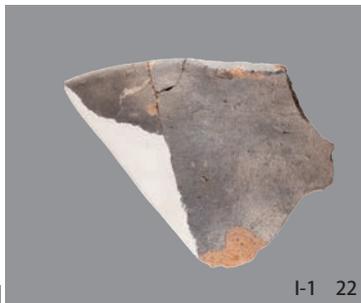
I-1 21



D-36 16



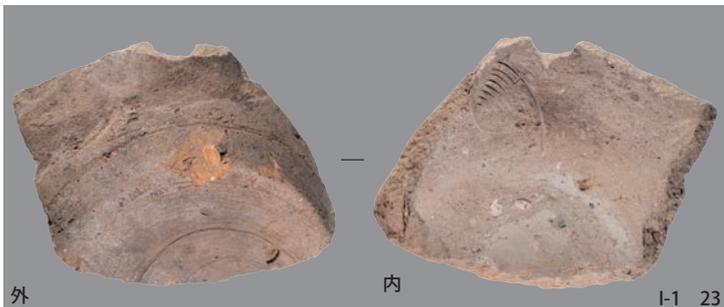
I-1 20



I-1 22



I-1 24



I-1 23

外

内



I-1 25

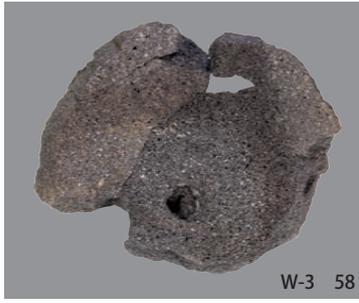
外

内

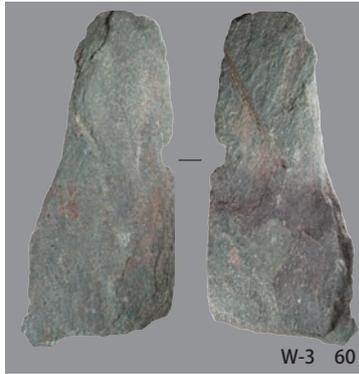




W-3 57



W-3 58



W-3 60



W-3 61



W-3 59



P-113 67



W-6 62



P-5 63



W-3 59



P-208 68



P-292 69



P-5 64



P-83 66



表土 70



P-5 65



T-1 71 72 73



D-1 74 75 76



D-2 77 78 79 80 81 82



D-5 83 D-7 84 I-2 85



W-3 86 87 88 89 90 91 92 93 94



95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106



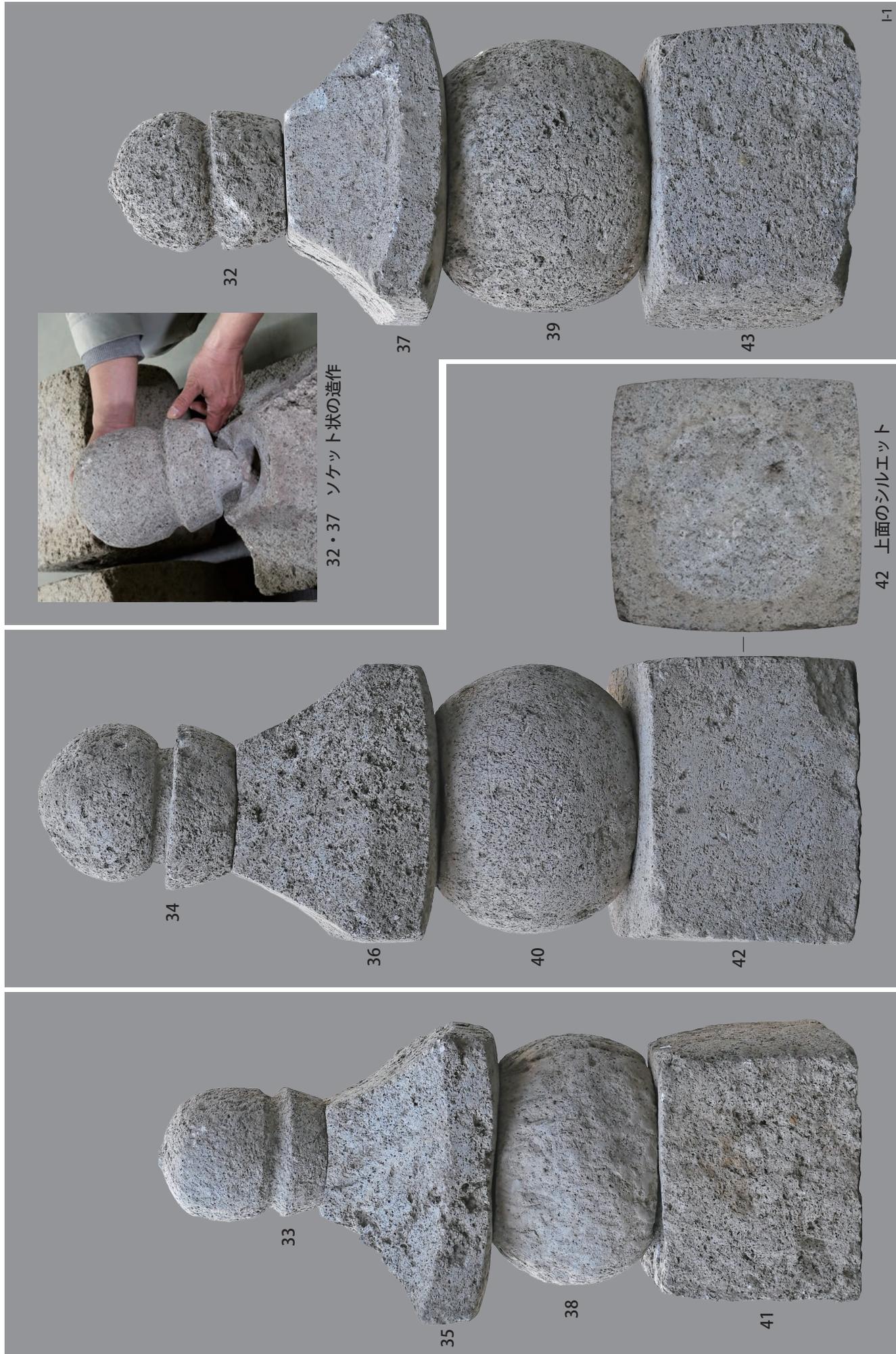
107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118



119 120 121 122 123 P-5 124 125 126 127 128 129 130



131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 P-310 143



はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる群馬県の県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始め、市内のいたる所にその息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国府、国分僧寺、国分尼寺など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東七名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地となり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（148）は古代上野国の中枢地域の調査であり、上野国府推定地域にも近接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府跡に築造されたと云われている蒼海城関連の遺跡を検出しました。今回の調査成果をはじめ、これまでに蓄積された資料は、国府や国府のまちを再現するための貴重な手がかりとなります。現状での保存が困難なため、記録保存という形になりましたが、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進めることができました。また、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申し上げます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和6年3月

前橋市教育委員会

教育長 吉川 真由美

例言

1. 本書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群（148）の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、前橋市（主管課：都市計画部区画整理課）の委託を受け、前橋市教育委員会事務局文化財保護課の指導・助言のもと、山下工業株式会社（代表取締役 山下 尚）文化財事業部が実施した。発掘調査から報告書刊行までの作業は、前橋市の費用負担で実施した。
3. 発掘調査の要項は次のとおりである。
遺跡所在地 群馬県前橋市元総社町 1889-1 ほか
遺跡略称 4A281 遺跡番号 0142・0147
調査面積 1,000㎡
調査期間 【現地調査】令和5年1月30日～同年3月17日 【整理】令和5年7月7日～同6年1月10日
調査担当者 永井智教 調査員 関口信夫
4. 遺構写真は担当者・調査員が撮影し、空撮は神崎龍太（よろず屋神崎）による。遺物写真は橋本 優が撮影した。
5. 遺構の平面図・断面図の作成は有限会社天田安平商店が行った。
6. 整理作業は永井・関口が担当し、青木ゆかり・川邊みずき・坂井 隆・谷藤龍太郎・富田和美・津田千鶴がこれにあたった。
7. 本書掲載の遺物は、土器・陶磁器・鉄器・小型石製品の実測を富田、大型石製品の実測と観察を関口が、銭貨の判読同定を坂井が行った。遺物のデジタルトレースは川邊・谷藤・富田である。
8. 本書の執筆は、Iが前橋市教育委員会事務局（文化財保護課）、VIは谷畑美帆（明治大学）、他は永井である。
9. 本書の作成にあたり、出土遺物の全般を吉田智哉（東吾妻町教育委員会）、獣骨を宮崎重雄（桐生市文化財調査委員）に鑑定頂いた。
10. 本書の編集は永井監修のもと谷藤・川邊が行った。
11. 発掘調査資料及び出土遺物は、一括して前橋市教育委員会が保管している。
12. 調査及び報告書の作成にあたっては、下記の機関・諸氏からご助言・ご協力を賜った。（五十音順・敬称略）
伊藤順一 斉藤達也 佐野良平 高橋清文 前原 豊 山本良太

凡例

1. 遺跡、全体図における X・Y 値は、平面直角座標区系（日本測地系）の座標値、挿図中の北は座標北である。
2. 挿図中で用いる遺構等の略称は以下のとおりである。
【掘立柱建物跡】B 【竪穴状遺構】T 【土坑】D 【井戸跡】I 【溝跡】W 【ピット】P その他【X】 【攪乱】K 土器【P】 石【S】
3. 遺構図は 1/50・1/60・1/80・1/100 を基本とし、遺物実測図は 1/2・1/3・1/9、各図中には縮尺とスケールを示した。遺構図・遺物図の網掛けについては、個々の図中に凡例を明示した。
4. 本書で用いる火山噴出物の略称と年代については以下のとおりである。
【浅間山 B 軽石】As-B 天仁元年（1108） 【榛名山二ツ岳 - 渋川テフラ】FA 5 世紀末 【浅間山 C 軽石】As-C 3 世紀末～4 世紀初頭

目次

巻頭図版

はじめに

例言・凡例・目次

| | | |
|-----|------------|----|
| I | 調査に至る経緯 | 1 |
| II | 遺跡の位置と環境 | 1 |
| III | 調査の方針と経過 | 5 |
| | 1 調査の基本方針 | |
| | 2 調査経過 | |
| IV | 基本層序 | 5 |
| V | 遺構と遺物 | 7 |
| | (1) 掘立柱建物跡 | |
| | (2) 竪穴状遺構 | |
| | (3) 土坑 | |
| | (4) 井戸跡 | |
| | (5) 溝跡 | |
| | (6) ピット | |
| | (7) その他 | |
| VI | 人骨鑑定報告 | 40 |
| VII | 発掘調査の成果と課題 | 41 |

報告書抄録

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、25年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成30年9月19日付で前橋市長 山本 龍（区画整理課）（以下「前橋市」という。）より試掘確認調査依頼が提出された。これを受け、前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）で同年10月30日に試掘確認調査を実施した結果、遺構が検出されたため、埋蔵文化財の取扱いについて前橋市と市教委で協議を行った。工事計画から遺構の現状保存は困難であるため、記録保存を目的とした発掘調査を実施することで合意に至った。

令和4年9月30日付で前橋市より、埋蔵文化財発掘調査業務に係る依頼が市教委に提出された。市教委では既に他の発掘調査を実施

中のため、市教委直営による調査実施が困難であると判断し、民間調査組織へ発掘調査業務を委託することで合意に至った。事業実施にあたっては市教委の作成する調査仕様書に則り、市教委による監理・指導のもと発掘調査を実施することとなった。令和5年1月17日付で前橋市と民間調査組織である山下工業株式会社との間で業務委託契約が締結されるとともに、両者に市教委を加えた三者で協定を締結し、発掘調査に着手した。令和4年度は現地での発掘作業を山下工業株式会社が受注し、整理作業については令和5年度業務として実施することになった。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（148）」（遺跡コード：4A281）の「元総社蒼海」は土地区画整理事業名を採用し、「（148）」は過年度に実施した発掘調査と区別するために付したものである。

（文化財保護課）

II 遺跡の位置と環境

遺跡の位置

今回報告する元総社蒼海遺跡群（148）は、前橋市西部の元総社地区に位置する。昭和40年代の国道17号高前バイパスの開通、昭和50年代の関越自動車道前橋インターチェンジ供用開始と共に周辺地域の区画整理が継続的に実施され、都市化が進んだ。今回の調査原因である前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業も一連の流れの

中で実施されているもので、平成11年度より開始された事業もようやく終盤に差ししかかろうとしている。本地区内では群馬県西部の動脈として期待される西毛広域幹線道路も開通し、元総社地区の変貌はより加速的に進むこととなるだろう。

地理的環境

遺跡は榛名山東麓末端に位置し、約13,000年前の榛名山系の山体崩壊である「陣場岩屑なだれ」によって形成された広大な扇状地である「相馬ヶ原扇状地」の末端でもある。岩屑なだれ層下には、約20,000年前に形成された「前橋泥流」が堆積しており、南東に広がる前橋台地の基層をなしている。

岩屑なだれや前橋泥流の上には、「前橋下部泥炭層」の堆積後、浅間-板鼻黄色軽石（As-YP・約13,000年前）・浅間-総社軽石（約11,000年前）を含む「前橋上部泥炭層」が堆積し、それを洪水性堆

積物である「総社砂層」が厚く覆う。総社砂層上には黒ボク土が生成された後、浅間C軽石（3世紀末降下）以降複数回に及ぶ火山灰を被っている。地形を詳しく見ると、扇状地の等高線に直行して下る八幡川・牛王頭川・染谷川・牛池川等の中小河川があり、総社砂層の供給源となる半面、砂層を深く抉る部分も多く、総社周辺の地形を左右したのだろう。また、古墳時代後期の榛名山活動期には、火山灰を泥流として押し流して谷筋を埋め、今日に近い比較的平坦な地形を造り出した。



Fig.1 遺跡の位置

「国土地理院発行 数値地図 1/200000」を改変

歴史的環境

総社周辺は、先述の「総社砂層」堆積後、地表面が安定して黒ボク土が生成され始めた縄文時代前期以降、遺跡の分布がみられるようになり、古墳時代後期に至り大規模な集落の展開、総社古墳群に代表される首長墓や大小群集墳がみられるようになる。これについては昨年度刊行の(143)報告書においてまとめているため、ここでは今回報告の主体である古代初頭以降の様相について触れておきたい。

白鳳期 総社古墳群北方に山王廃寺(c)が建立される。前期評段階に創建された寺院としては上野唯一のもので、昭和・平成の2回におよび確認調査が行われ、出土瓦に見られる線刻・押印から旧寺名が「放光寺」であった可能性が考えられる点、塔跡周辺から出土した大量の塑像から畿内中枢部の寺院と深く関わる寺であった事が判明している。また、下層遺構から検出されている掘立柱建物を豪族居館や評衙・屯倉とした場合、そうした重要施設を移動させて造営していることになる。また、塑像は造形技術水準の高いもので、作風は斑鳩法隆寺塔本塑像に類似している。

また、東山道駅路の開鑿もこの時期で、今日までの研究によって「牛堀・矢ノ原ルート」→「下新田ルート」→「国府ルート」へ3時期・3ルートの変遷が定説となっている。最初の「牛堀・矢ノ原ルート」は太田—伊勢崎—高崎の平野部をほぼ東西の直線を通ることが発掘調査で判明している。元総社エリアからは遠く南方であり、その間を南北に繋ぐ連絡路として「日高道」が以前より指摘されているが、開鑿時期については不明である。

奈良時代 元総社蒼海遺跡群の南東、総社神社に近い一帯で竪穴建物跡が姿を消す。代わりに正方位の区画溝や掘立柱建物跡、基壇建物跡が出現する。無論、元総社エリア内に以前より推定されている上野国府との関わりで理解されると考えられるが、国府域の一角に設けられたと考えられる群馬郡衙の可能性が高いと考えられつつある。現在前橋市教育委員会による確認調査が継続中であり、今後の動向が注目される。また、やや標高の高い前橋市池端北耕地下ノ割遺跡(37)では底をもつ大規模な掘立柱建物跡が単独的に検出されており、その性格については不明であるが、前時代の南下古墳群(カ)や三津屋古墳(ヨ)等が近傍であることを勘案すれば、国府の出先施設等の可能性もある。他にも高崎市棟高南八幡街道遺跡(29)には、布掘りの掘立柱建物跡や大形竪穴建物跡からなる公的な雰囲気をもつ遺構群があり、その性格が注意される。

推定国府域の西方には、国分寺(a)・国分尼寺(b)も建立される。

上野国分寺(a)は昭和の調査成果からある程度整備が行われていたが、近年県教育委員会の再調査で伽藍配置が異なることが判明、その研究は新たなスタートに立っている。国分尼寺(b)は近年高崎市教育委員会によって確認調査が進められており、伽藍配置が判明しつつある。

一方で該期には国府周辺域を含め、古墳時代以来の生産域の再編が行われる。前橋・高崎台地とその間の井野川低地帯を包括する広域条里の施工である。前橋市南部拠点地区遺跡群No.11では坪交点からまとまった土器の出土が確認され、施工年代を示している。また、条里の施工に伴い用水路網の整備も行われており、前橋台地では広瀬川から取水した用水路網(女溝や川曲大溝)が、高崎台地から井野川低地帯では榛名白川から取水した用水路網(後の長野堰用水)が開鑿されたと考えられる。これらの用水路からは発掘調査によって「物部」と記した遺物が出土している点は注目される。また、交通網の整備も行われたと考えられ、高崎市倉賀野地区や新保・日高地区では条里余剰帯を利用した道路跡と推定される遺構が検出されている。当該期前半に想定される東山道駅路の「下新田ルート」も、現状広瀬川以西では未確認だが、おそらく条里余剰帯を利用したものであったと推定される。なお、当該期における条里施工は確実であるが、先行する飛鳥時代にその設営に関わると推定される短命な集落遺跡が点在していることは興味深い。本地域における条里施工時期は、今後も検討を深める必要がある。

平安時代 国府域やその周辺では、集落・寺院・条里は前時代からの継続と理解されるが、集落は標高の高いエリアに集中する傾向が指摘できる。吉岡町大久保A遺跡(39)はその規模も想定せざるを得ず、畑作や馬匹生産を視野に置く必要があるだろう。かつて「有馬島牧」の可能性も示唆されたが、その後渋川市半田中原遺跡から「有牛」墨書土器が出土したことで牧関係遺跡説は否定された経緯がある。現状では三宮神社(B)が北に隣接して鎮座していること、古代伝路の可能性のある「鎌倉街道」沿いに位置する点から、群馬郡桃井郷の中心的集落であると考えられる。何れにせよ、それら集落の成立背景は条里水田の荒廃と対をなす現象と言えるのだろう。

古代末～中世 元総社地区に蒼海城が築城される。その詳細な時期や成立過程については不明な部分が多いが、『上毛伝説雑記拾遺』「総社記」には長元元年(1028)に城館の存在を示す記述があり、実際の発掘調査成果でもこれを肯定しうるような古代末の遺構・遺物の集中が、蒼海城中枢部で確認されている。しかしながらその実体は「区

Tab.1 周辺遺跡一覧

| 集落 | 14 | 大屋敷遺跡 | 28 | 棟高村北遺跡 | 42 | 日輪寺観音前遺跡 | ヲ | 高塚古墳 | |
|----|-------------|-------|-----------|--------|------------|----------|---------|------|-----------|
| 1 | 元総社蒼海遺跡群 | 15 | 総社町屋敷遺跡 | 29 | 棟高南八幡街道遺跡 | 43 | 南橋東原遺跡 | ワ | 大藪城山古墳 |
| 2 | 元総社寺田遺跡 | 16 | 大渡道場遺跡 | 30 | 熊野堂遺跡 | 古墳・古墳群 | | カ | 南下古墳群 |
| 3 | 大友屋敷遺跡 | 17 | 前橋城 | 31 | 井出村東遺跡 | イ | 総社二子山古墳 | ヨ | 三津屋古墳 |
| 4 | 天神遺跡 | 18 | 石倉下宅地遺跡 | 32 | 三ツ寺I遺跡 | ロ | 愛宕山古墳 | タ | 清里・長久保古墳群 |
| 5 | 弥勒遺跡 | 19 | 元総社稲葉遺跡 | 33 | 三ツ寺II遺跡 | ハ | 宝塔山古墳 | 神社 | |
| 6 | 中尾遺跡 | 20 | 新保田中村前遺跡 | 34 | 三ツ寺III遺跡 | ニ | 蛇穴山古墳 | A | 総社神社 |
| 7 | 鳥羽遺跡 | 21 | 日高遺跡 | 35 | 棟高遺跡群 | ホ | 遠見山古墳 | B | 三宮神社 |
| 8 | 上野国分僧寺・尼寺中間 | 22 | 小八木村東遺跡 | 36 | 北谷遺跡 | ヘ | 大小路山古墳 | 寺院 | |
| 9 | 国分境遺跡 | 23 | 正観寺遺跡I～IV | 37 | 池端北耕地下ノ割遺跡 | ト | 稲荷山古墳 | a | 上野国分僧寺 |
| 10 | 北原遺跡 | 24 | 小八木志志貝戸遺跡 | 38 | 七日市遺跡 | チ | 玉山古墳 | b | 上野国分尼寺 |
| 11 | 下東西遺跡 | 25 | 正観寺西原遺跡 | 39 | 大久保A遺跡 | リ | 諸口古墳群 | c | 山王廃寺 |
| 12 | 柿木遺跡 | 26 | 中泉源十内遺跡群 | 40 | 熊野・辺玉遺跡 | ヌ | 如来古墳群 | d | 新保廃寺 |
| 13 | 村東遺跡 | 27 | 菅谷万年貝戸遺跡 | 41 | 金竹西遺跡 | ル | 長久保古墳群 | | |

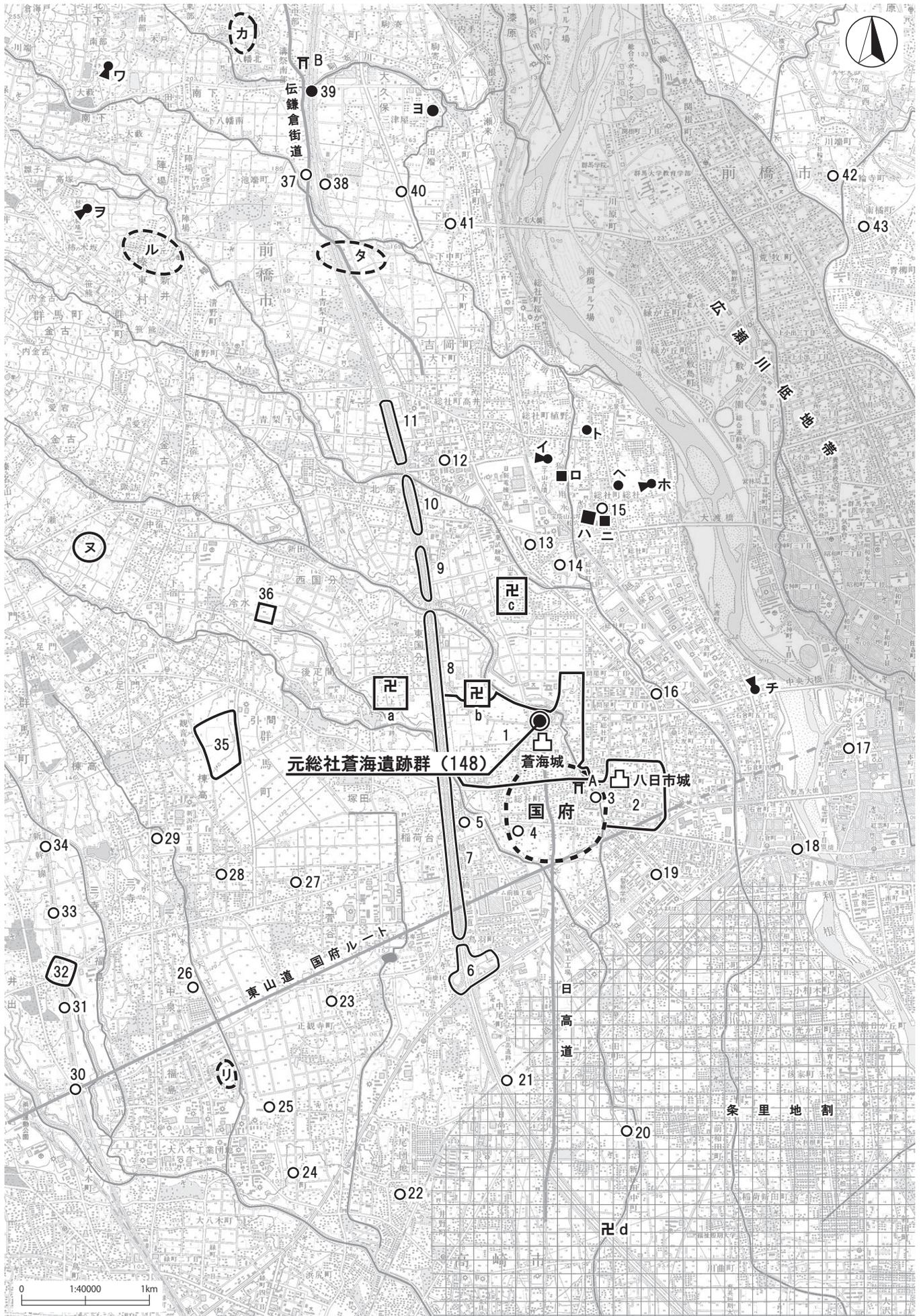


Fig.2 元総社蒼海遺跡群 (148) の周辺遺跡

画溝に囲まれた何か」で、居宅のようなものと推察される。『吾妻鏡』には、治承四年（1180）に元総社地区を支配していた源氏方の千葉常胤の居宅を平氏方の足利俊綱が焼き払ったとの記述があり、まさにその千葉氏の居宅が蒼海城初期の姿であったと思われる。

その後、建武四年（1337）に山内上杉憲顕が上野国守護に、上杉氏家宰である長尾氏が14世紀中頃までに入部したと考えられ、長尾氏は白井城の白井長尾氏と蒼海城の総社長尾氏とに分立、守護代として栄える。享徳三年（1454）に始まる享徳の乱は東国全域を巻き込む戦乱となり、上野国でも長尾景春の乱（文明九年・1477）や長享の乱（長享元年・1487）が相次いで勃発する。これらの戦乱を契機に蒼海城は城郭化したようである。

大永七年（1527）には北条氏綱方の白井・総社長尾氏と箕輪・厩

橋長野氏の間で抗争が勃発、蒼海城は長野方業の攻撃を受けている。後に両長尾氏は上杉家との関係修復を果たすも、長野氏とは依然緊張関係が続いた。永禄九年（1566）、甲斐国の武田玄信によって箕輪城が落城、翌年には蒼海城も攻略され上野国西部は武田氏の支配域となる。以降、元総社地域は武田・上杉・織田・北条の支配が繰り返され、天正十八年（1590）の小田原城落城によって徳川家康の支配域となる。蒼海城には同年に諏訪頼忠、慶長六年（1601）にはその子である諏訪頼水に替わって秋元長朝が入部する。秋元氏は荒廢した蒼海城を捨てて父景朝ゆかりの地である上野勝山（現在の総社町）に新城を築くことを選んだようで、新城が完成するまでの間は蒼海城の東方牛池川対岸の八日市城に居住し、慶長十五年（1610）に完成した新城である総社城に入城、これをもって蒼海城は廢城となった。



Fig.3 蒼海城縄張図

Ⅲ 調査の方針と経過

1 調査の基本方針

今回の発掘調査は、区画整理事業地内の道路新設に先立つものである。近年まで畑地として利用されていたほか、元は接骨院を営んでいた住宅があり、新設道路敷に一部かかるが未だ居住者がいる為、今回の調査区からは除外となった。

畑地部分には南北方向の段差があり、蒼海城本丸西側へ続く堀跡で

あることは、蒼海（143）等の調査成果から明らかであった。こうした経緯から、今回の調査は事前の確認調査は行わずに本調査となった。現地調査は基本、蒼海城堀跡部分に排土山を形成し、そこに収まりきらない排土は東側の事務所・駐車場用地内に集積した。堀跡以外の表土は薄く、耕作土層直下の総社砂層上位を遺構確認面とした。

2 調査経過

調査は冬から春にかけてという最悪の条件下であった。総社砂層が露呈した調査区では、北側隣接の（143）とは打って変わって中世の夥しいピットをはじめとする濃密な遺構群が現れ、調査する端から北西の季節風による砂塵で埋まる始末で、現地での掘立柱建物跡の検討も儘ならず、遺構の切り合いについても平面確認を主に行いつつ進めた。時間的制約もあり、ピットについては結果として丸掘りとならざるを得なかった。

調査序盤では蒼海地区最大かと思われる中世の大規模井戸跡から五輪塔部材が多数確認され、その記録が主眼となった。

終盤に至ってピットの多くが掘り上がってくると、掘立柱建物跡が

いくつも存在することが明らかとなった。現地での検討は時間・環境の制約によって困難であった為、夕刻等の風が弱いタイミングを狙ってドローンを飛ばし、オルソフォトを作成、夜な夜なパソコン上でピットを結線し、翌日の日中にはそのラインでエレベーション図を作成した。

整理作業と報告書作成は、契約締結後の令和5年7月から開始。遺物の水洗・注記・接合、8月から遺物実測に着手、12月まで要した。その後図版作成と原稿執筆、編集を経て、3月上旬に本書の刊行に漕ぎつけた。

Ⅳ 基本層序

調査区は北西から南東方向へ傾斜する緩斜面地であったようだが、中世に大規模な造成を受け、薄い表土層下はほぼ水平の面を成していた。表土中には元総社地区では普遍的な浅間系のテフラもほとんど確

認されず、古墳・古代の明確な遺構もほぼ確認されないことから、比較的厚く剥土されたことが予想された。以下が、本地点の基本層序である。

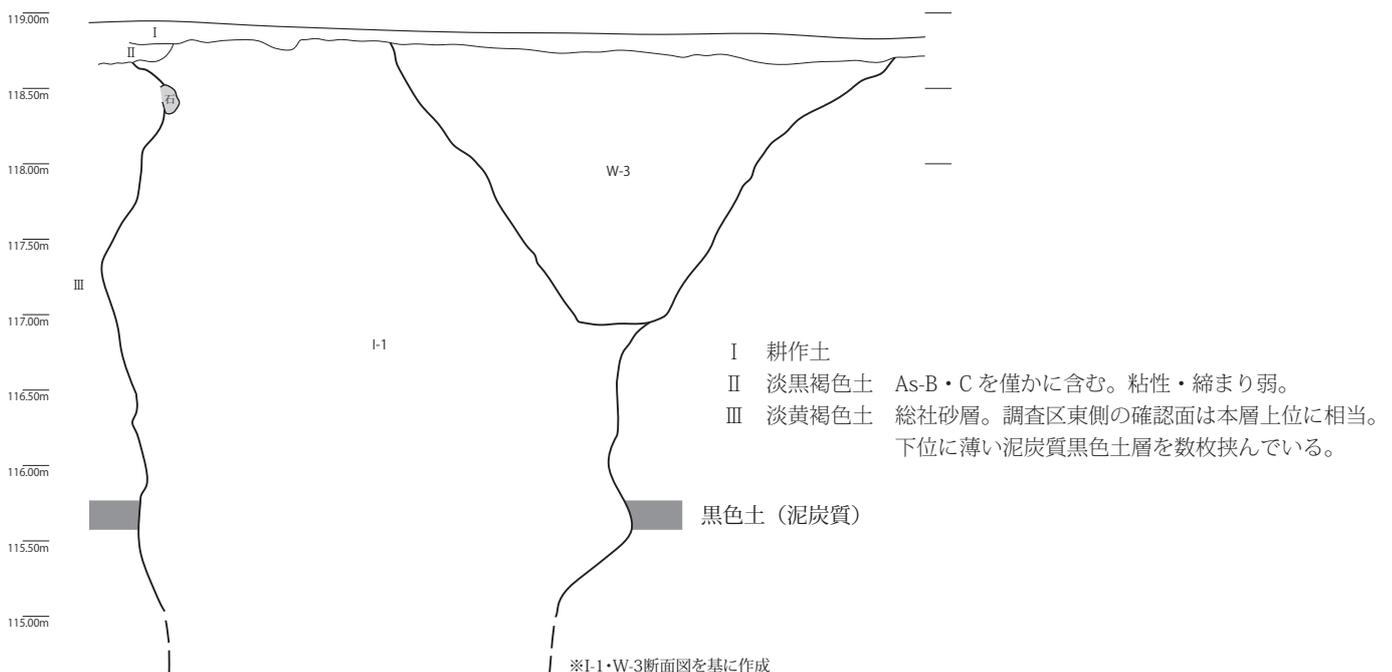


Fig.4 基本層序模式図

V 遺構と遺物

今回報告する元総社蒼海遺跡群（148）の調査区は、北に令和3年度調査の蒼海（143）、調査区内には平成12年度調査の元総社宅地遺跡10トレンチ、平成23年度調査の上野国府等範囲内容確認調査の7トレンチが存在している。宅地遺跡10トレンチについては今回調査でW-2とした蒼海城堀跡内に相当し、壺掘り状に深度2m程度で掘り下げは中断された状況が確認された。一方の国府7トレンチでは土坑・井戸・ピットと共に古墳時代後期と推定される竪穴建物跡の残骸が1軒確認されているが、今回の調査区からは外れた位置であった。

今回の調査区で確認された遺構は、（143）で確認された上野国府ないしは群馬郡衙に伴う正倉区画と推定される古代溝の延長が確認されたほかは、全て中・近世と考えられるものであった。これはIVの基本層序でも触れたが中世段階で大規模な削土による造成を受けた結果と思われ、恐らくは蒼海城の造営に伴うものと推定された。これによって古代とそれ以前の古墳時代の竪穴建物跡等の比較的浅い遺構は消滅したものと推定される。北隣接の（143）調査区東側でも、今にして思えば同様の状態であったが、そちらでは古墳時代後期や平安時代の竪穴建物跡が浅いながらも残存していた。想像するに（143）より今回調査区の方が標高が高く、中世段階で水平に削土した結果、古墳・古代の遺構のほとんどが失われたものと理解される。

今回確認された中・近世の遺構は、蒼海城の大規模な堀跡と、その内側から確認された竪穴状遺構・土坑・井戸跡・区画溝であった。それらは蒼海城堀跡によって切られるものもあり、蒼海城の本格的な造営に先行する遺構が一定数存在していることを教えてくれる。また、確実に近世に下ると思われる遺構は農地等に伴う区画溝や土坑墓であり、蒼海城の廃城以降の土地利用を示すものと言える。以下、詳細な数値等は一覧表や平・断面図に譲るものの、遺構種別毎に説明を行う。

（1）掘立柱建物跡（略称B）

現場段階で7棟を認定した。他にも候補は多くあるが、机上の空論の誹りを免れない部分もあるため、ここではあえて触れない。

B-1 調査区北端付近で確認された。当初は単独のピットや土坑として調査を開始したが、異常に深いもの（D-1・5内ピット、P-310等）から銭貨が数点出土したこと、地鎮と考えられるP-5（かわらけ2枚を合わせ口にし、中に銭貨19枚と棒状鉄器を封入したものが出土）の存在から建物と認定した。柱穴は深いもので2m近く、建物内側に向かって転びがつくように斜行している。具体的な建物構造については不明だが、柱穴の深さ等から、掘立柱櫓の可能性が高い。また、柱穴の配置からは複数時期を想定できるが、具体的な建て替えの順は不明である。D-3・4・5・15も、位置関係から付帯する施設の可能性がある。また、南西隅の柱穴は方形竪穴状遺構のT-1と重複し、本遺構の方が新しく、遺構の角度も異なる。時期についてはP-5の地鎮出土の銭貨やかかわらけから16世紀前半と考えられる。

B-2 B-1の南にあり、梁行2間×桁行4間の東西棟で北面に1間の庇を有する。明確な床束は確認できなかった。北西に重複する方形竪穴状遺構のT-1と酷似の角度で、ほぼ同段階と考えられるが、重複の前後関係は不明であった。さらに前後関係は明らかにできなかったが、掘立柱建物跡B-3～6と重複しており、B-3・4とは角度がほぼ一致することから同段階での建て替えと考えられる。

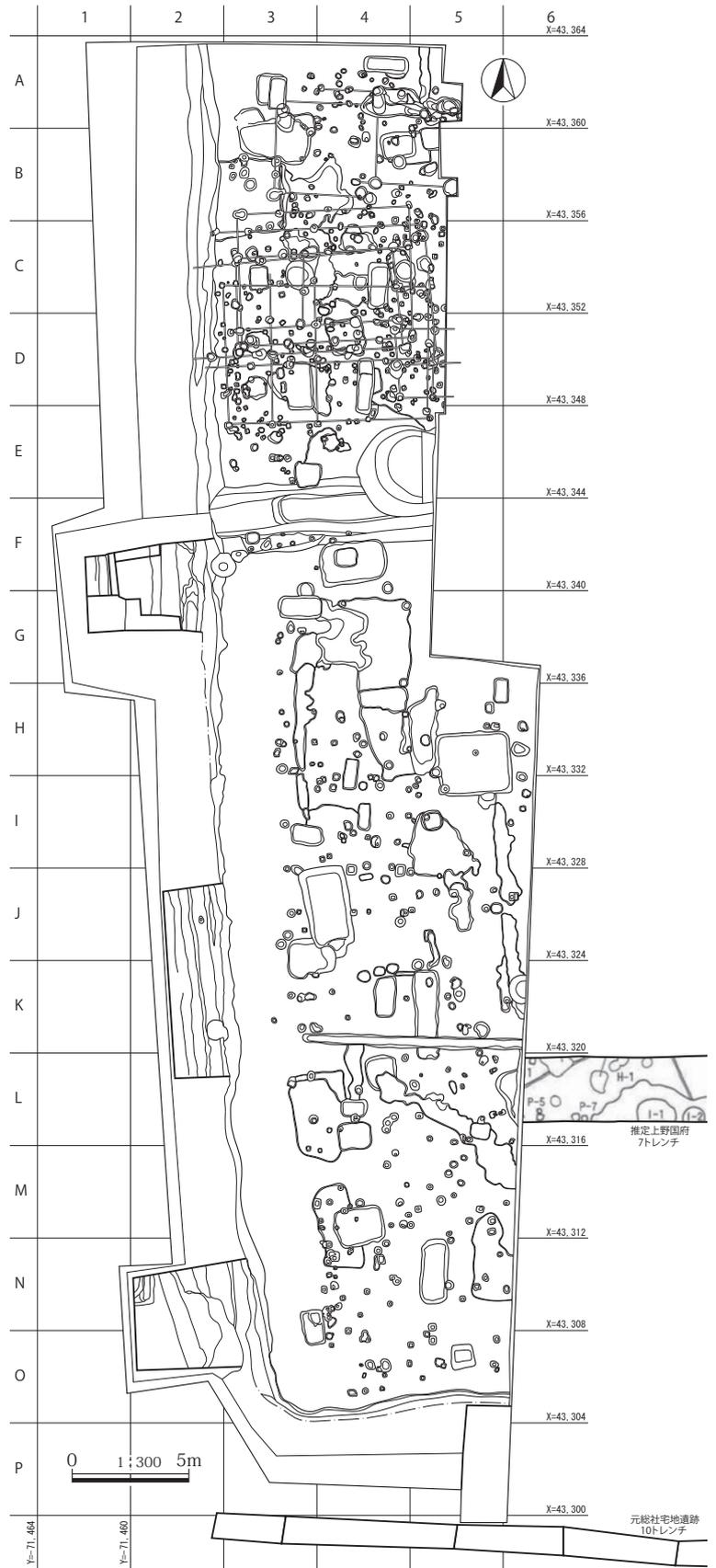


Fig.6 元総社蒼海遺跡群（148）全体図

B-3 B-2のやや南に主体があり、梁行2間×桁行5間以上の東西棟で、柱間は不揃い、南面に庇が存在する可能性もある。床束は確認できなかった。北西に重複する方形竪穴状遺構T-1と同角度で、ほぼ同段階と考えられるが、重複の前後関係は不明である。西端は蒼海城の堀跡であるW-1に切られている。さらに前後関係は明らかに

できなかったが、掘立柱建物跡B-2・4~6と重複しており、B-2・4とは角度がほぼ一致することから同段階での建て替えであろう。

なお、本遺構の柱穴であるD-11からは15世紀後半~16世紀前半のかわらけ・内耳鍋が出土しており、時期の一端を知ることができる。

B-4 B-3のやや南に主体があり、梁行3間×桁行4間以上の東西棟で、柱間は比較的揃っている。南・西面に庇、母屋に床束を認めるならば高床建物であったのだろうか。南東隅のP-215には礎板石的に自然石が露出する。西端は蒼海城の堀跡であるW-1に切られている。さらに前後関係の不明な、掘立柱建物跡B-2・3・5・6との重複があり、B-2・3とは角度がほぼ一致することから同段階での建て替えと考えられる。

B-5 B-4の南に主体があり、梁行4間×桁行4間を基調とした東西棟のようだが、柱間は不揃いである。建物内の柱穴を床束とするなら、建物の西半は高床であったと思われる。床束相当のP-126には礎板石が認められる。前後関係の不明な、掘立柱建物跡B-2~4・6との重複があり、B-2~4とは角度やや異なり、B-6とはほぼ一致する。

B-6 B-5の東に主体があり、東側の大半が調査区外で不確定要素が強い。前後関係の不明な、掘立柱建物跡B-2~5との重複があり、B-5と角度がほぼ一致している。本遺構の柱穴であるD-11からは15世紀後半~16世紀前半のかわらけ・内耳鍋が出土しているが、B-3の柱穴と重複しているため、どちらに伴うかは判然としなない。

B-7 調査区のほぼ中央に位置する。梁行1間×桁行3間の南北棟で、柱間は不揃いで柱穴も小さい。整理段階で平面図を検討すると、本遺構から南北に柵列を想定することも可能で、西側の蒼海城堀跡(W-1)と角度的に親和性が認められる。遺物は無く、従って時期不明であるが、蒼海城に伴う防御的機能をもった建物の可能性が推測できる。

(2) 竪穴状遺構 (略称T)

現場段階の附番で7基あるが、単純な土坑や地下式坑も含んでいる。本来的には、T-1・2のような、方形の竪穴部の壁際に柱穴が伴うものを竪穴状遺構とすべきであったと考えられるが、ここでは現場段階での附番のまま提示する。基本的に全て中世ないしは中世以降と考えている。

T-1 調査区北端近くにあり、掘立柱建物跡群(B-1~3)と重複し、蒼海城堀跡(W-1)に切られている。掘立柱建物跡との重複は、土層断面の観察から本遺構がB-1の柱穴に切られている以外は不明であるが、調査者所見ではB-2・3は本遺構が切っている可能性がある。前節で触れたが、本遺構より新しいB-1と、古い可能性のあるB-2・3で平面角度が異なっている点、B-2・3と本遺構がほぼ同じ平面角度である点により、本遺構はB-2・3と同段階に機能し、機能的にも補完関係にあった可能性が考えられる。但し明確な出土遺物が無く、厳密には時期不明であるが、類似形態のT-2出土のかわらけが示す16世紀代の遺構であると考えておきたい。

T-2 調査区の中央やや北寄りにあり、蒼海城堀跡(W-1)に直行する区画溝(W-3)に大半を切られている。形態的にはT-1とほぼ同じと考えられるが、本遺構の方が壁際の柱穴が多い。底面からやや浮いた状態でかわらけ(図-1)が出土しており、形態的には16世紀代である。

T-3 調査区のほぼ中央にあり、T-1・2とほぼ同角度で東西軸の長方形プラン、規模的にはT-1・2より一回り小さく、柱穴も確実なもの認められない。南辺やや東寄りに出入口を思わせるス

テップ状の張出部がある。古代~中世の土器細片が出土しているが、図示に堪える出土遺物は無い。

T-4 調査区の中央やや南寄りにあり、T-1~3とほぼ同角度で南北軸の長方形プラン、南側に出入口を思わせるステップ状の張出部、土層断面には天井崩落と判断される地山主体土が認められることから、地下式坑と判断される。出土遺物は出入口から内部に流れ込んだ状態で砥石・宝篋印塔・石臼の破片と盃状穴石、瓦質土器内耳鍋の破片が出土している。内耳鍋は15世紀後半~16世紀と考えられる。

T-5 T-4を切る土坑で、東西軸で不整形な隅丸方形プランを呈する。鉄滓・常滑甕片・台石?が出土しているが、図示に堪える出土遺物は無い。

T-6 調査区南半にあり、南北軸の長方形プランの浅く大きな土坑に、小規模な隅丸方形の土坑が重複している。

T-7 調査区中央にあり、T-3のすぐ南に位置する。不定形で浅く大きな土坑で、新旧不明だがD-26と重複している。あるいは一連の施設であった可能性がある。

(3) 土坑 (略称D)

現場段階の附番で36基ある。形態的には長方形や隅丸正方形の整った印象のものが多いが、かなり不定形なものもあり、深さについてもまちまちで、その性格については一様に捉えられない。以下、代表的なものについて触れる。

D-1・2は掘立柱建物跡B-1を構成する柱穴やその布掘り部分、**D-3・4・5**は同じくB-1の付帯施設の可能性があると考えられる。**D-6**はW-3に切られ、古代~中世と考えられる鉄槍が出土している。**D-9・13・30・36**は南北主軸の長方形土坑で、D-36の南端からは近世の陶磁器皿が3点出土している。これを根拠とすれば墓壇の可能性が考えられ、陶磁器は足元へ副葬されたと解せるが、如何せん骨が遺存していない点が不可解である。本遺跡の基盤となる総社砂層はロームと異なり一般に骨の遺存状態は全時期通じて良好な場合が多い。推察するに、改葬によって骨が取り出されたのかも知れない。**D-12・17**は方形土坑の壁際に柱穴が巡るもので、D-12は1m四方の正方形、D-17は1×2mと規模的には小さいものの、方形竪穴状遺構とすべきものだろう。D-12からは15~16世紀の内耳鍋片が出土している。**D-31**も柱穴こそ無いが、規模や形状からはやはり方形竪穴状遺構の一種である可能性がある。砥石が出土している。**D-26**は隅丸正方形で比較的深いもので、掘削途中で放棄された井戸の可能性もある。**D-34**は非常に不定形な平面形で、抜根跡のような性格が考えられる。宝篋印塔の破片が出土している。

(4) 井戸跡 (略称I)

6基を確認した。出土遺物から全て中世と考えられるが、安全面から底面まで完掘できたものは無い。I-4・6はW-1に切られた状態で、I-6については確認のみである。以下、比較的調査することができたI-1について説明する。

I-1 調査区北寄りにあり、東側の半分近くが調査区外となる。口径4mの大形井戸で、セットバックしながら4mまで掘り下げたが底面に到達する気配すら無かった。土層はほぼ埋め戻しと考えられる状態で、上層からは五輪塔3組と石臼・羽口が、中層からは多量の円礫が南側から流れ込んだ状態で堆積しており、常滑の筋壺と思われるものや地産の播鉢、かわらけ等の破片、人骨が混在していた。状況的には近傍に存在していた墓地を根こそぎ投げ入れたかのような状況である。なお、W-3と重複しており、本遺構を埋めた上に開削されている。時期については出土遺物に幅(13~16世紀)があるものの、主体となる遺物が示す16世紀前半頃と考えられる。

(5) 溝跡 (略称W)

6条を確認した。基本的には全て中世、蒼海城に伴う堀や区画溝と考えられる。以下、各遺構について説明する。

W-1 調査区西端で南北方向に確認された。(143)の調査区中央を南北に貫いていたW-1と同一の遺構で、蒼海城縄張図にも表現される、城内でも主要な堀の一つである。調査区南端近くで東方に屈曲しており、(143)北端での屈曲から南へ103mの位置であり、総社長尾氏が城時の城の姿を現しているとされる『蒼海城絵図』(総社資料館蔵)に「諏訪屋敷」と記される曲輪の南北規模が確定したことになる。

本遺構の西側立ち上がりは調査区外となっており、北・中央・南トレンチ3箇所限定的な調査となってしまった。

W-1北トレンチでは底面が平坦となる深い箱葉研状の部分と、東側立ち上がりの上部を垂直に切りなおすテラス部が把握され、断面観察では後者は断面U字状の小規模な堀となっていることがわかる。(143)で把握されたa~cの3時期に対応させると、今回の深い箱葉研堀はaないしはb期、テラス部の小規模な箱葉研堀はc期に相当すると思われる。(143)においてa期とした部分を堀底に開削された水路状部分とすると、今回のaないしはb期とした底面は水路部分との間に掘り残されたテラス部で、水路状部分は西側調査区外にある可能性がある。aないしはb期の堀立ち上がり部に張り付くように、石臼(51)が出土した。

W-1中央トレンチでは、(143)c期の小規模な堀の部分の調査することができた。東側の立ち上がり上部はほとんど表土を被っていない状態で、傾斜も緩くなっていることから、近世以降の改変によって削られてしまったようである。

W-1南トレンチでは、(143)a・b・c期の3段階が確認された。a期の堀は底面が平坦で、東下端からやや離れて水路状部分が確認された。b期はD断面の20層上面が底面と考えられ、比較的平坦である。a期との間には堀の肩を突き崩したような堆積も確認された。c期は中央トレンチと同様の形状である。a期の水路内から取鍋転用のかわらけ(50)、c期の堀底からやや浮いた状態で陶器の瓶(47)が出土している。

以上の3箇所観察されたW-1の形態は一定せず、同一遺構上流の(143)W-1とも異なる形状であった。本遺構は、絵図や縄張図から想像するに、牛池川から取水した後本丸とその周囲の曲輪の間を流れ、最終的には染谷川に落ちる水路という側面を持っていたと考えられる。水流の維持管理に伴う定期的な浚渫や、防御的機能を期待された時期もあったのだろう。そうした経緯の中で幾度となく形を変えた結果が、調査区ごとの形態の相違点として見えている可能性を指摘しておきたい。

W-2 調査区南端付近で東に屈曲したW-1である。基本的には同じ遺構である。調査区の制約で、今回は十分な調査はできなかった。令和5年度の(149)で改めて調査しているので、詳細についてはその報告に譲るものとする。

W-3 調査区中央やや北寄り確認した、東西方向の区画溝である。T-2とI-1・D-6を切っており、西端はW-1に切られるように見えるが、直接的な切り合い関係は土層では把握できなかった。断面は逆台形で上幅は約3mで、中央西寄りの段差を境に東側が深くなっており、断面観察ではI-1と重複する部分は深く掘り過ぎた部分を埋めて貼床状に整えられたようである。また、底面段差部分より西側、W-1までの3m程の間は地山主体土が堆積しており、Cラインの土層断面に土手状の層序が見えていることから、埋填による土橋であったと考えられる。推定される順としては、当初東西の区画溝として存在していた本遺構に、直行する位置関係にW-1が開削、その

際に幅3mで埋土して土橋を造成、となる。この土橋下の溝底面からは獣骨が数点出土している。宮崎重雄氏(桐生市文化財調査委員)に鑑定して頂いたところ、全て小型馬で同一個体と考えられるという。土橋下から馬骨出土という事実は極めて興味深い、如何なる意味があるのか、類例の有無を含め検討課題となる。他に底面の段差下から、礫の集中と共に瓦質土器の内耳鍋(53)が破片で散在的に、銭貨38点が一部固着して一まとまりで出土している。また、覆土中からは焙烙(54・55)、羽口(56)、石臼(57・58)、石臼未成品(59)、小型板碑片(60)、宝篋印塔片(61)が出土している。なお、石臼未成品と判断した(59)は黒色の安山岩製で、ハツリによる調整中に破損して廃棄されたと思われる。近傍で石臼製作が行われた証拠ではあるが、本遺跡で唯1点、県内でも類例の少ない資料であることから、その評価については慎重となる必要がある。羽口についてはI-1でも出土しており、D-6出土の鉄槍を故鉄と理解すれば、近傍に鍛冶工房を想定させる資料と言える。

W-4 調査区北端と中央付近で断続的に確認された。底面が僅かに残存する程度で、(143)のW-2と同一の遺構である。遺物は出土していないが、(143)で重複する竪穴建物跡の時期から、8~9世紀の区画溝と考えられる。(VII章にて再述)

W-5 調査区中央付近で確認された。極めて浅く断続的だが、W-1とほぼ並行している。同様の遺構として、(143)W-3があり、位置関係からすれば同一遺構の可能性が高い。また、やや恣意的だが本遺構の延長線上ないしは平行する位置関係にピットが並ぶ。これを積極的に評価するなら、W-1に付帯する土塁やその土止め柵、防御柵の痕跡なのかも知れない。(VII章文末にて補足)

W-6 調査区南半で確認された。東西方向の溝で、比較的深く明瞭な掘り方であるが、西端はW-1手前3m弱で途切れている。中世と考えられる竪穴状遺構等が基本的にW-1と並行・直行の軸方向であるのに対し、本遺構はほぼ座標の東西方向で、むしろ現行の宅地と同じ角度である。出土遺物は無く、覆土に特徴的なテフラも含まれていない為に時期判定は難しいが、近世以降の地境溝と思われる。

(6) ピット (略称P)

507基を確認した。これらは先述のように掘立柱建物跡を構成する柱穴と認定されるものもあったが、大半は単独遺構とせざるを得ない。とは言え、総社周辺の中世に特徴的な方形プランのものも多く、何らかの柱穴と考えられるものも相当数ある。

W-3を境にその密度は異なり、掘立柱建物跡が集中する北半には単独のピットも多い。つまり単独のピットの多くは、掘立柱建物跡の構成要素(構造的な補助柱穴や建物建築時の足場柱穴)であったと考えざるを得ない。

W-3の南では密度は低く、全体に浅い。これは南半がピット群形成後に削平による造成を受けたことを推定させる。

また、1号掘立柱建物跡(B-1)の項で説明したが、P-5としたものは柱穴ではなく、かわらけ2枚を合わせ口にし、銭貨と棒状鉄器を封入したもので、地鎮と考えられた。

個々のピットについては一覧表を参照されたい。

(7) その他 (略称X)

調査区南半に、北西から南東方向の不定形な落ち込みが確認され、これをX-1とした。詳細に見ると、基盤の総社砂層の葉理構造に沿ったもので、削平時に砂層の目に沿って剥がし取った際に深くなってしまった部分のようである。いくつかのピットや土坑と重複しているが、本遺構の方が新しい。前節で説明したように、ピット群を浅くした要因である、造成に伴って生じたものと考えられる。

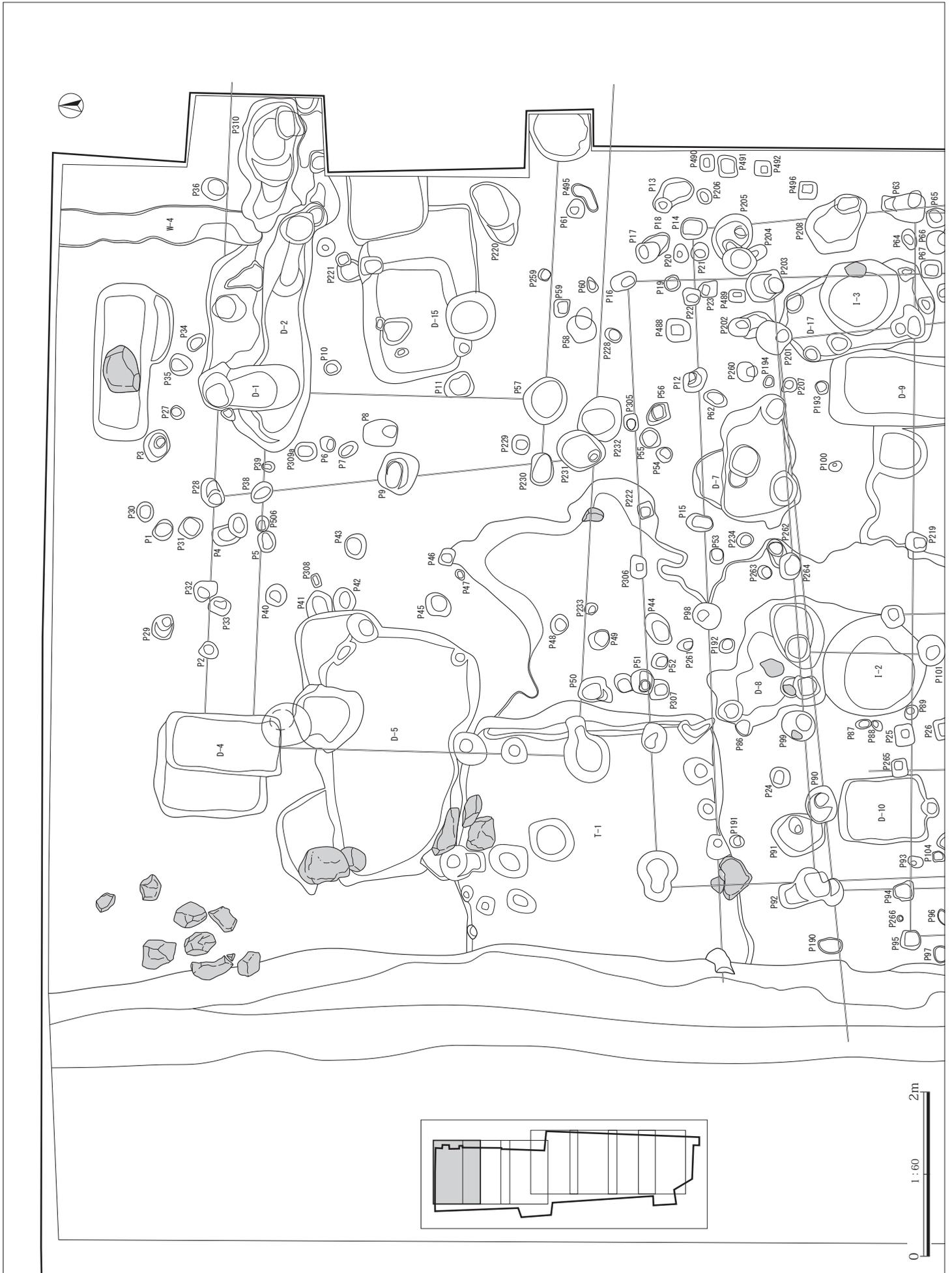


Fig.7 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その1

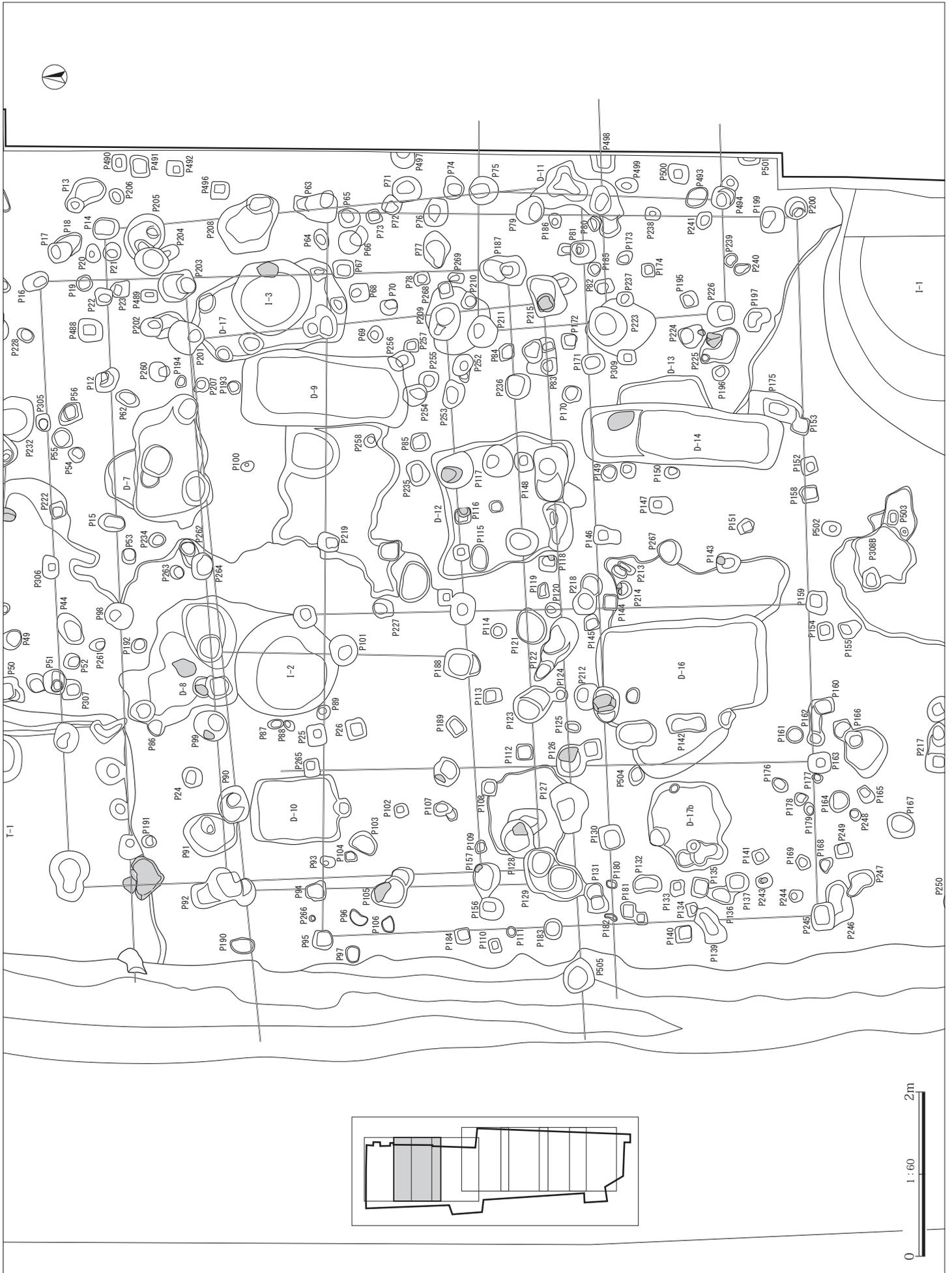


Fig.8 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その2

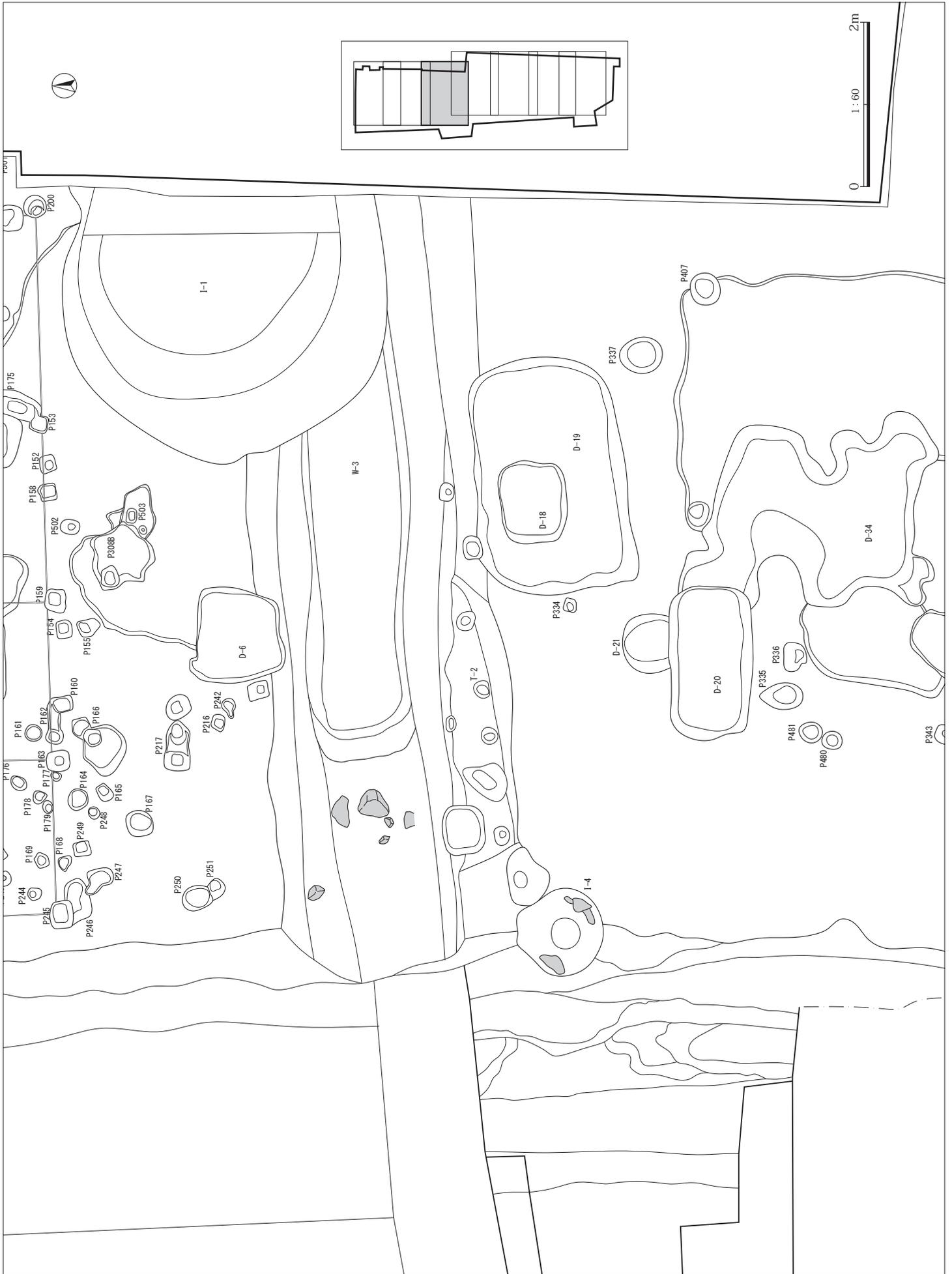


Fig.9 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その3



Fig.10 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その4



Fig.11 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その5



Fig.12 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その6

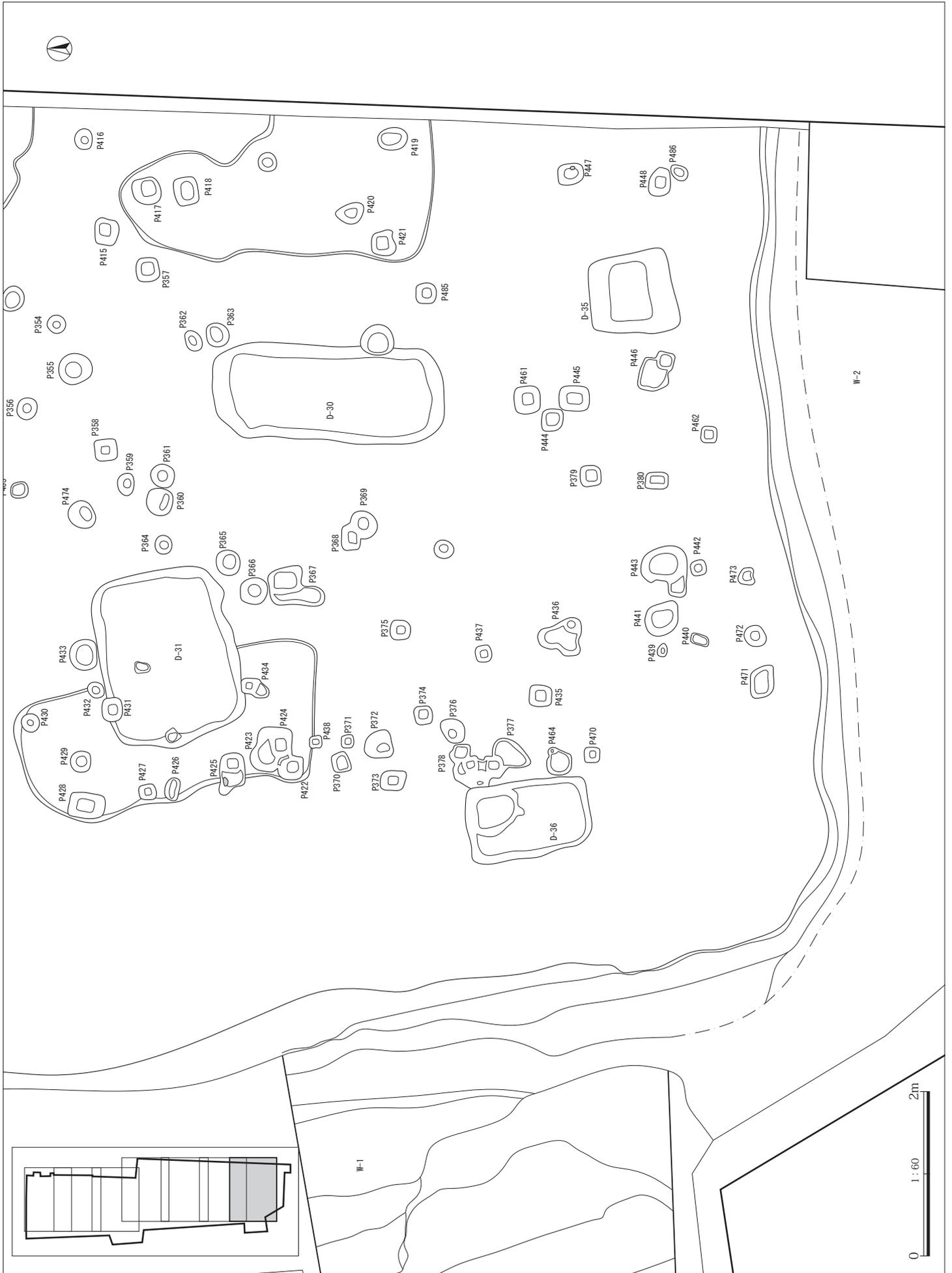


Fig.13 元総社蒼海遺跡群 (148) 全体図 その7

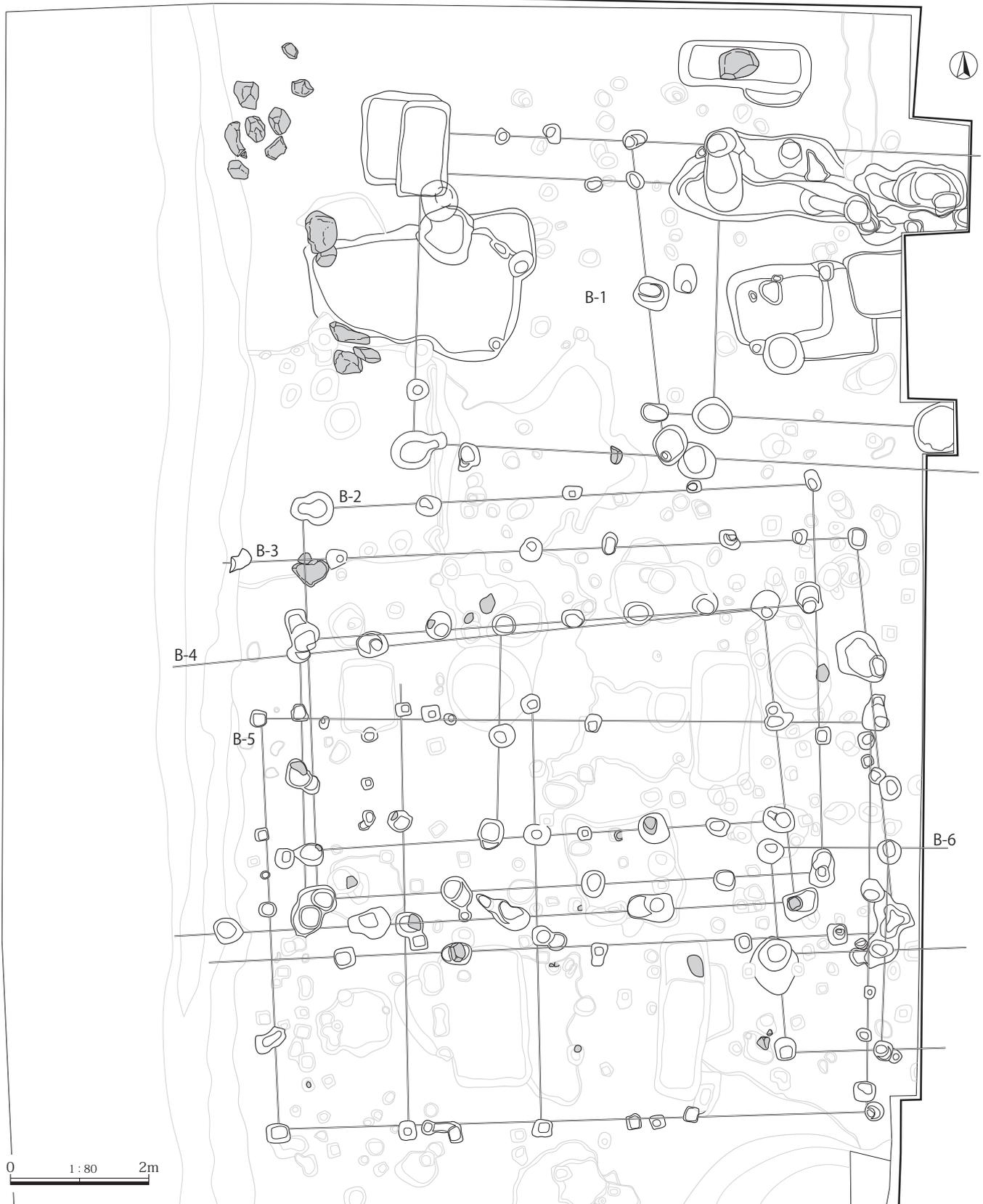


Fig.14 掘立柱建物跡 (B-1-6) の位置関係

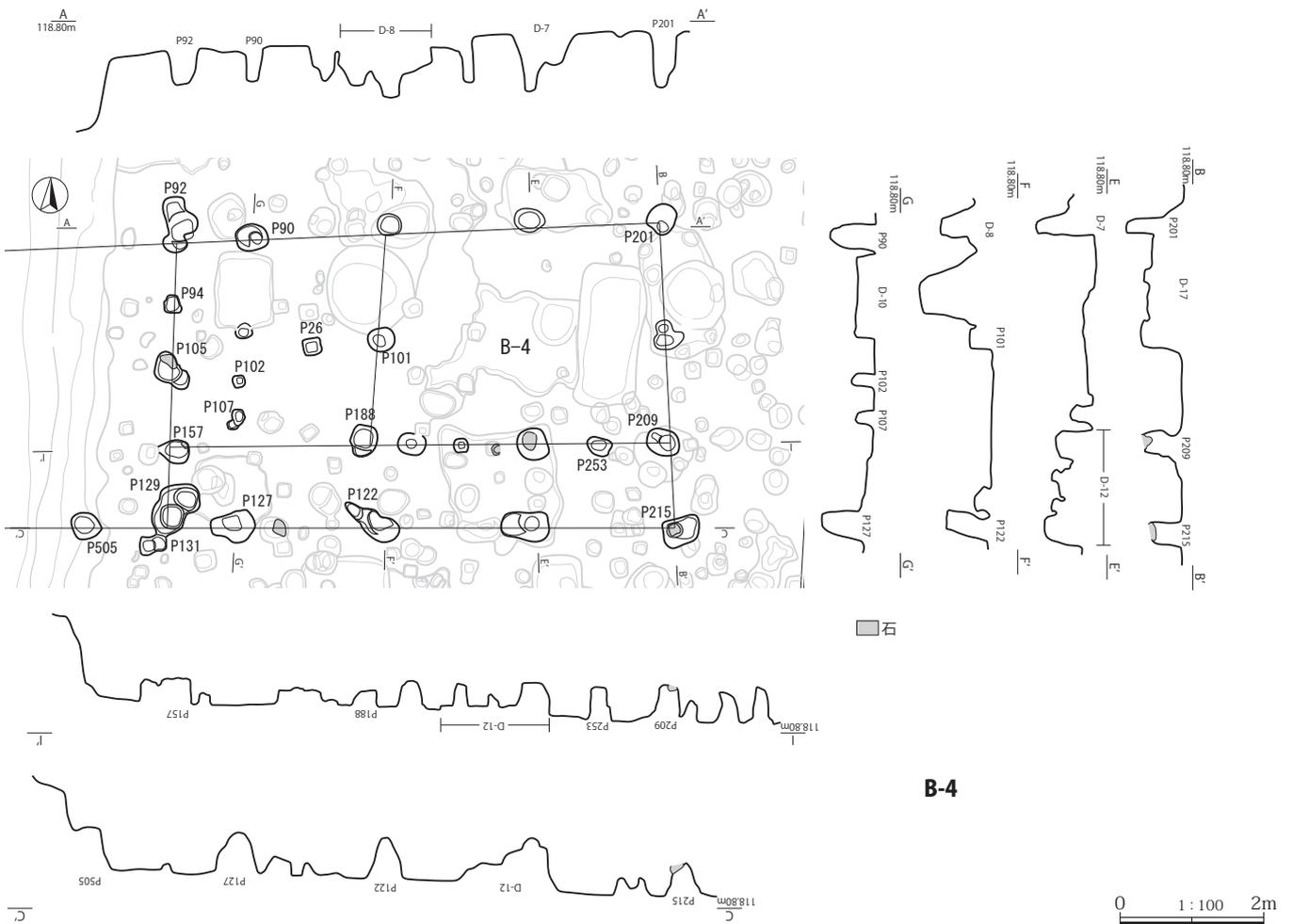
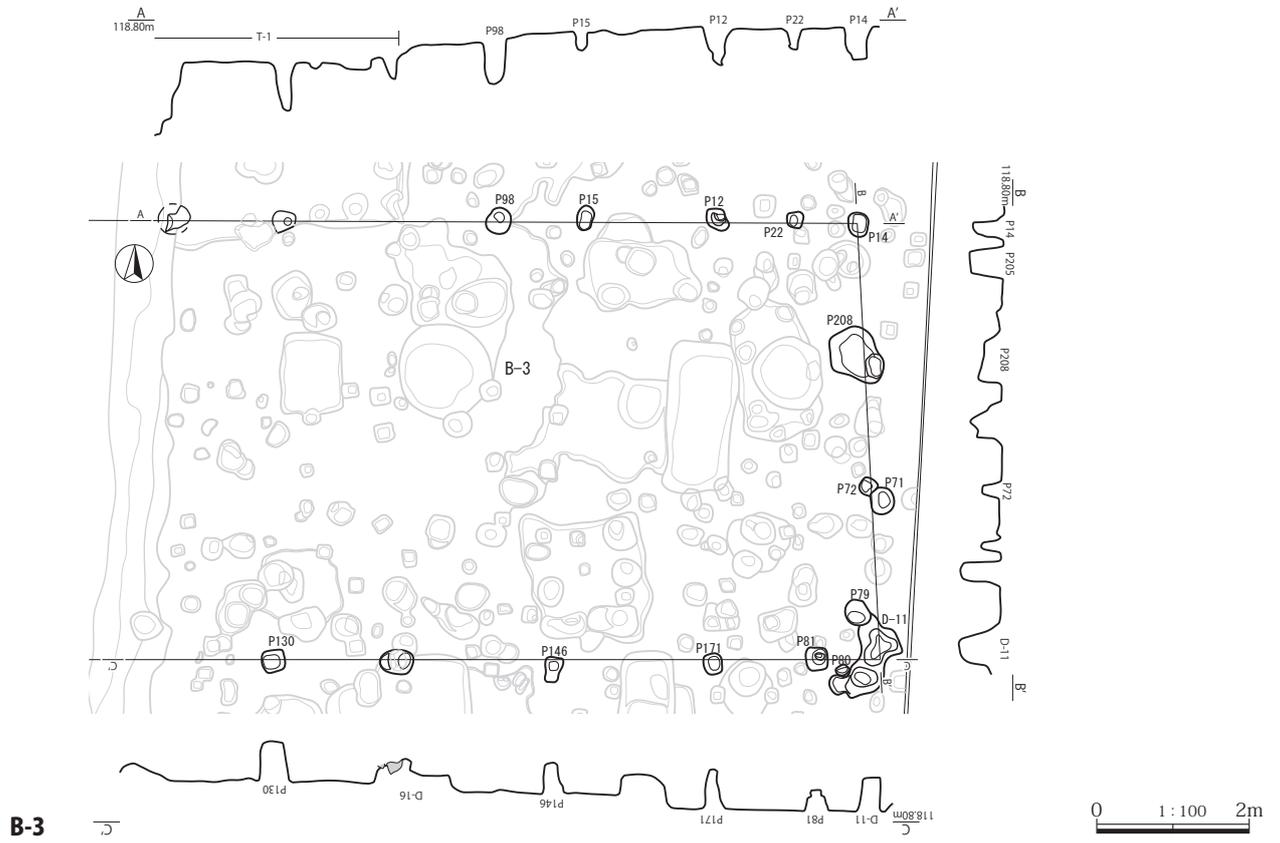
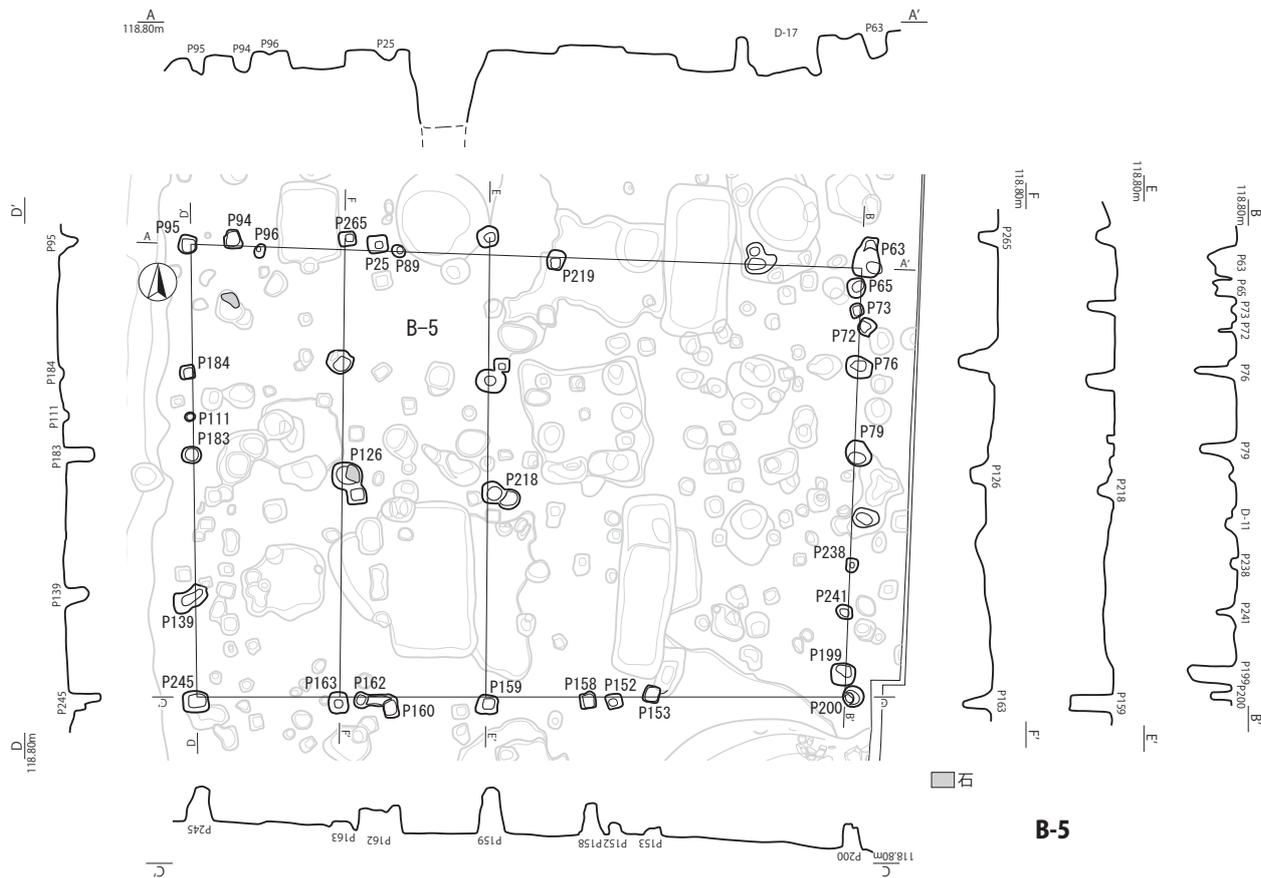
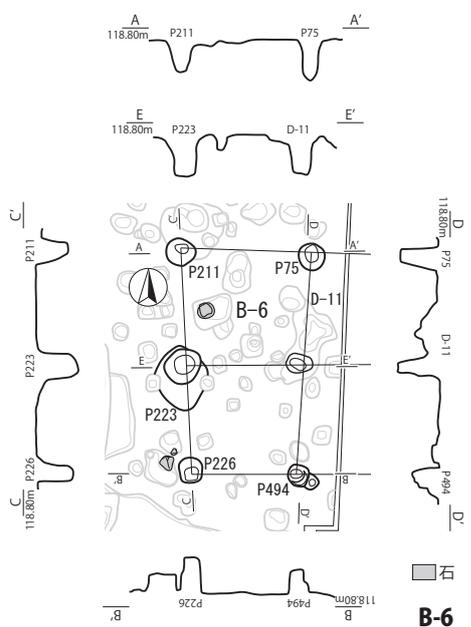


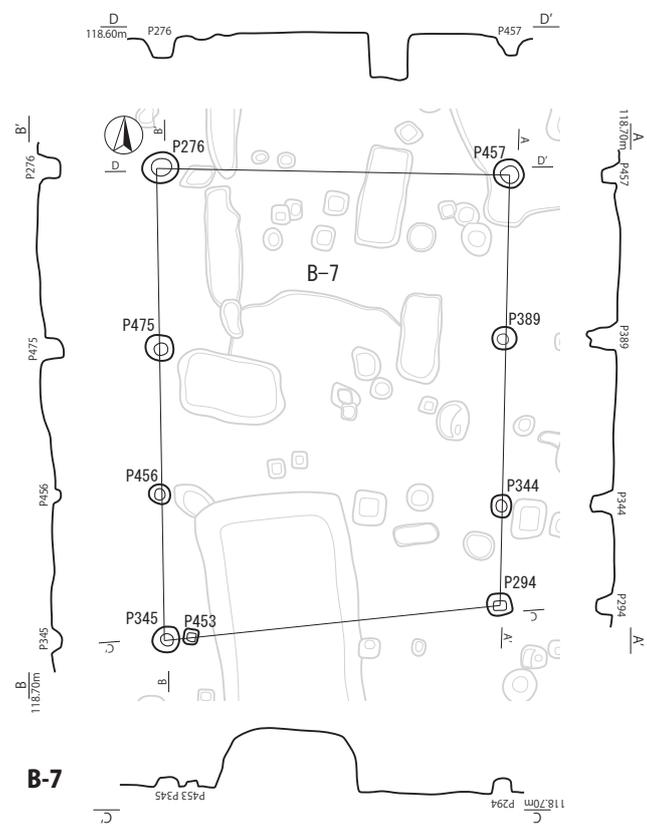
Fig.16 掘立柱建物跡跡 (B) その2



B-5



B-6



B-7

Fig.17 掘立柱建物跡 (B) その3

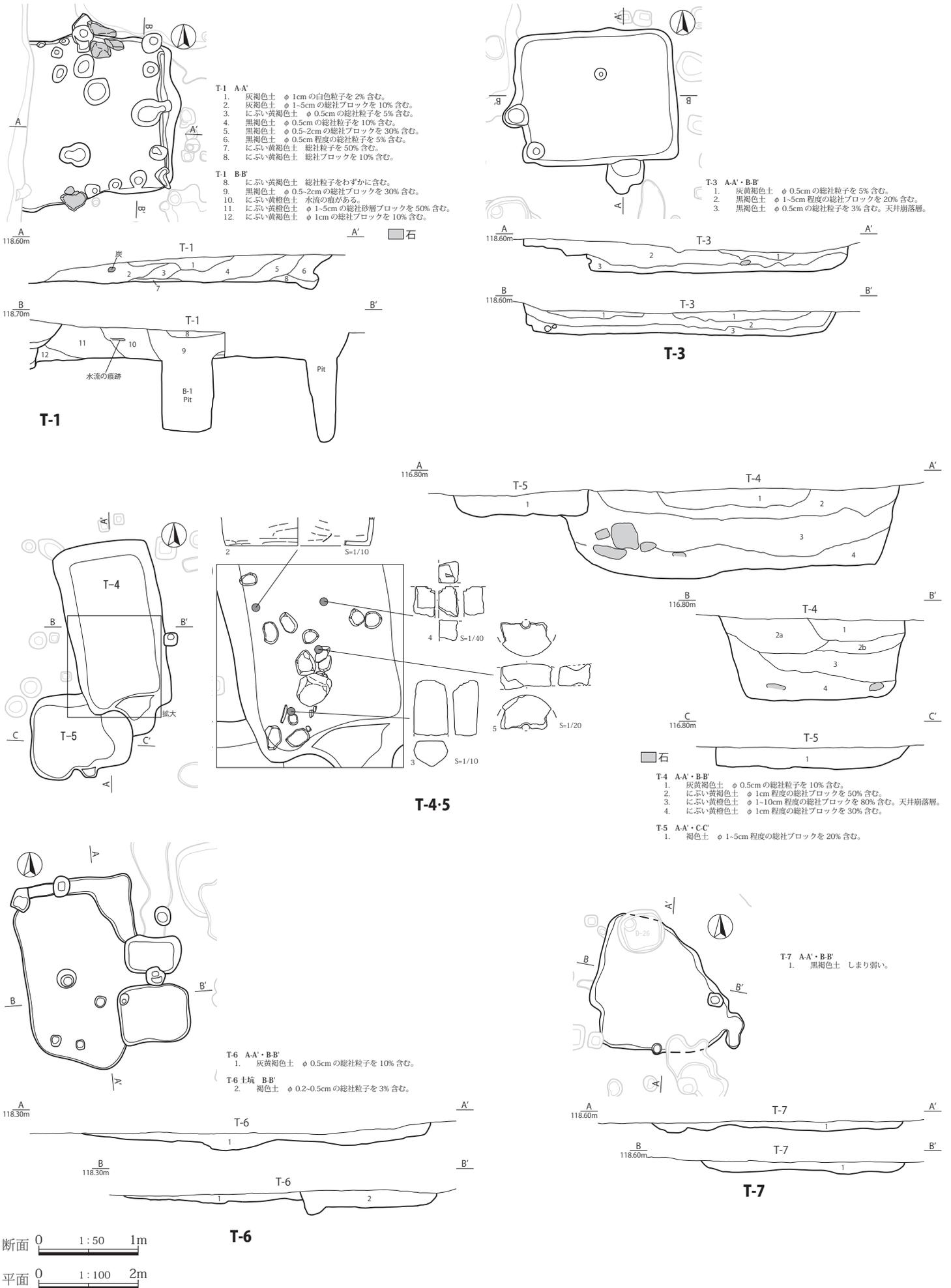


Fig.18 竪穴状遺構 (T)

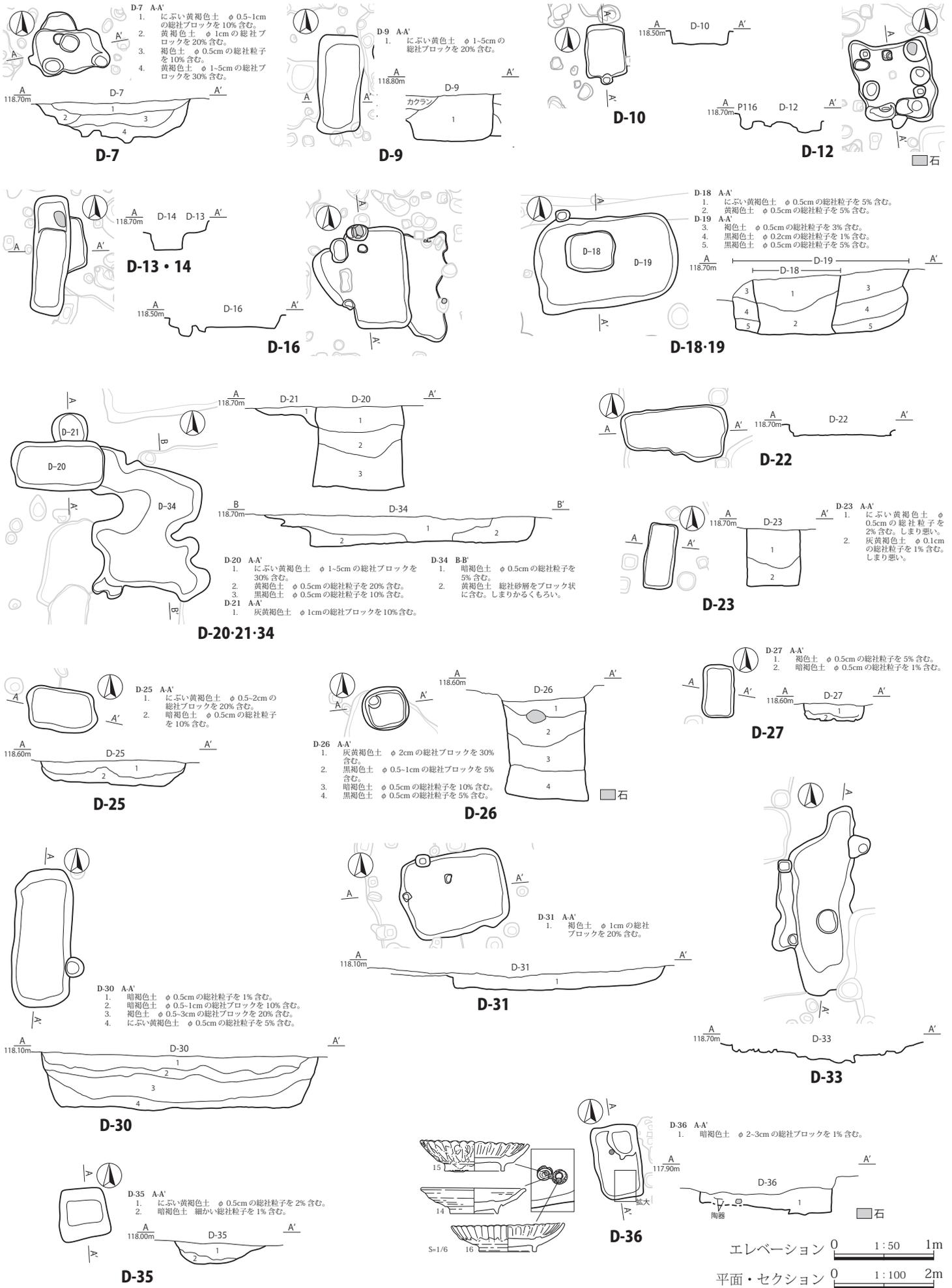


Fig.19 土坑 (D)

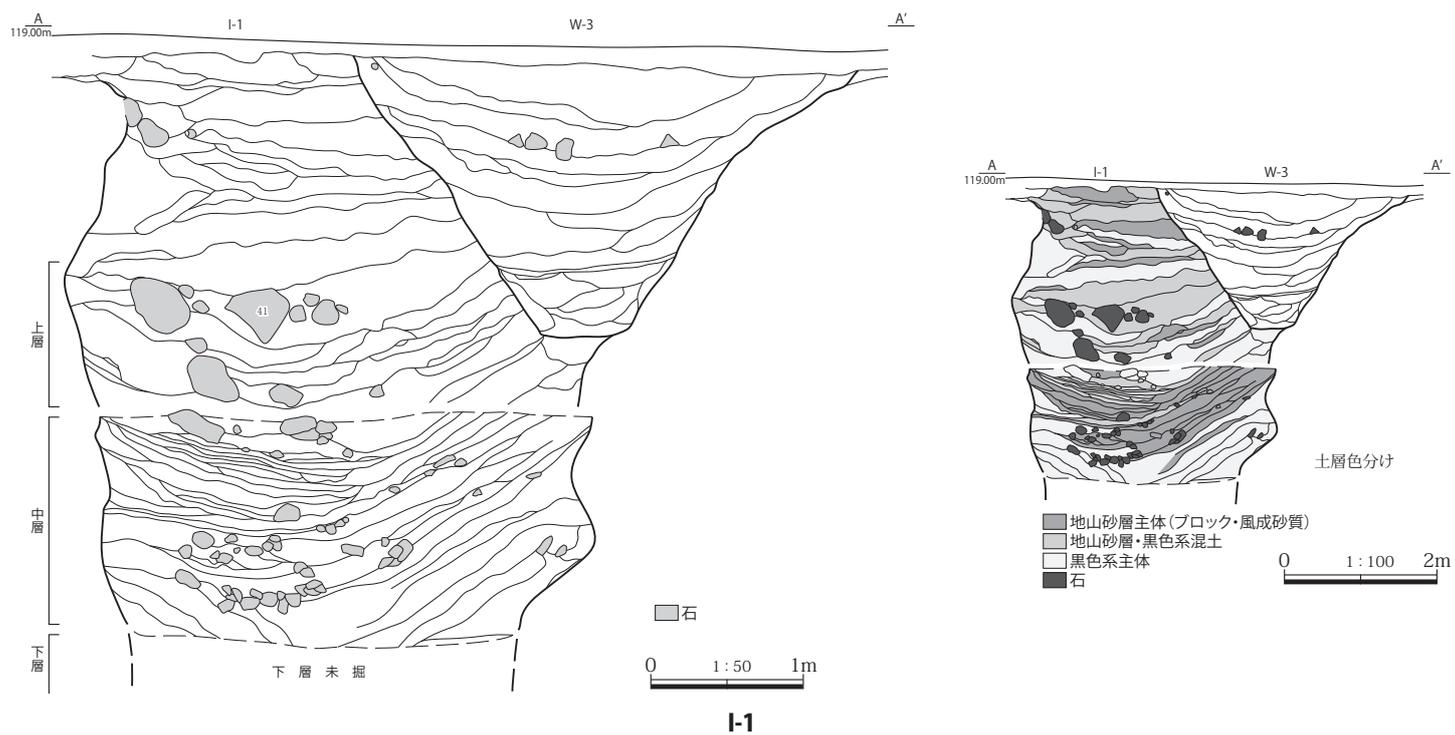
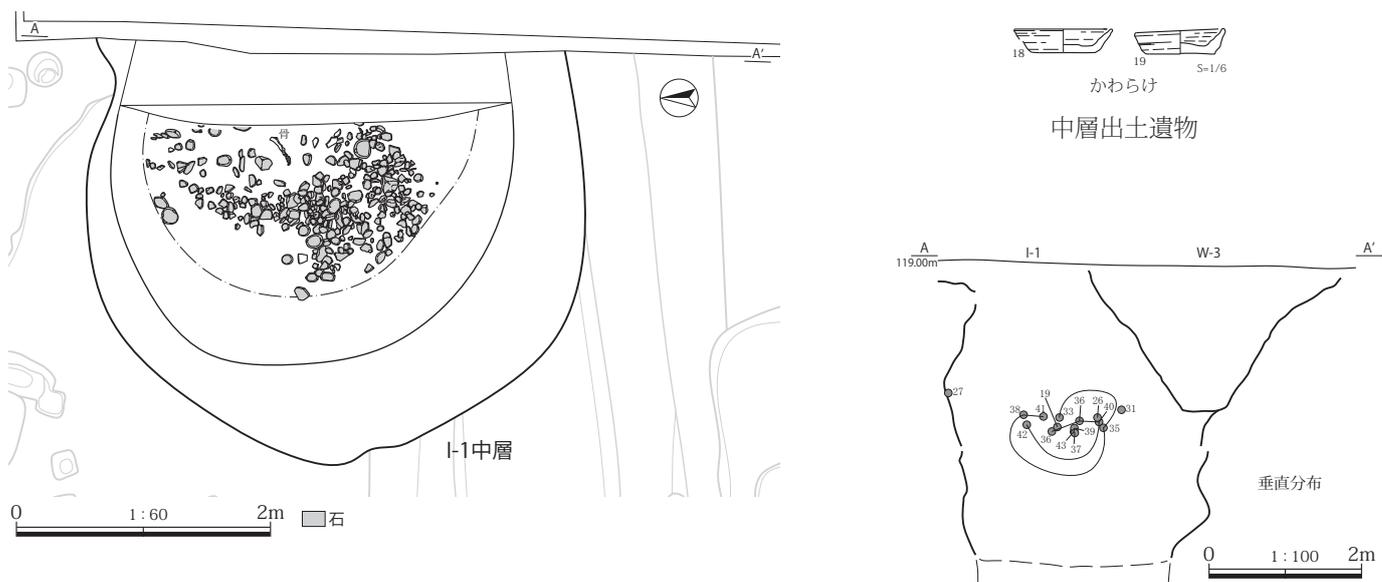
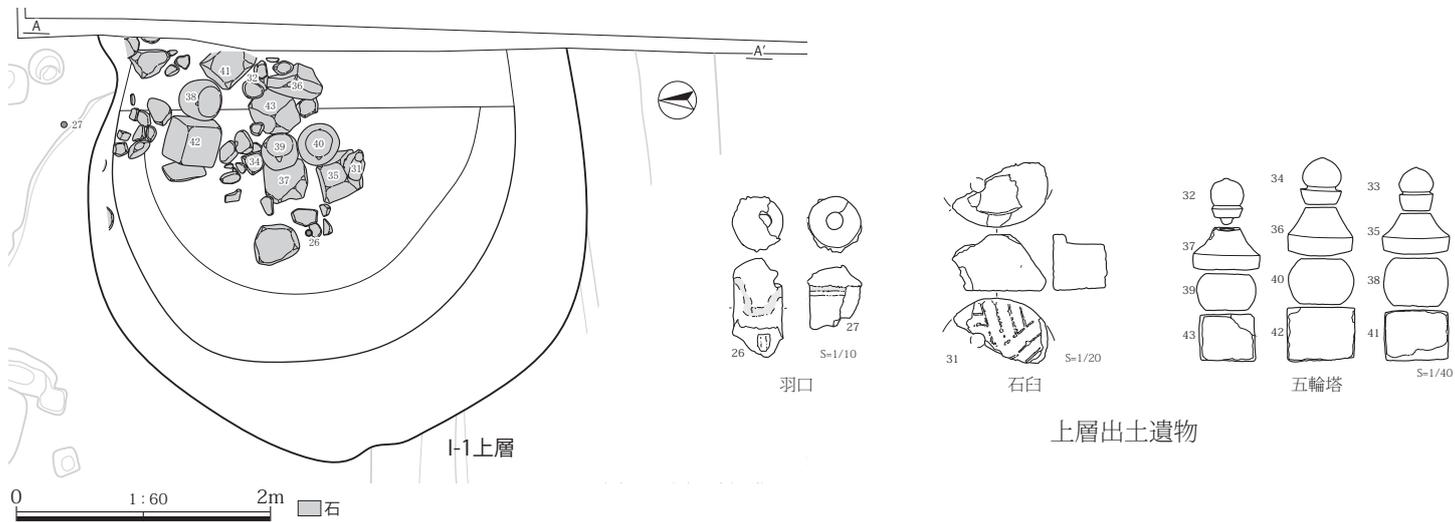


Fig.20 井戸跡 (I) その1

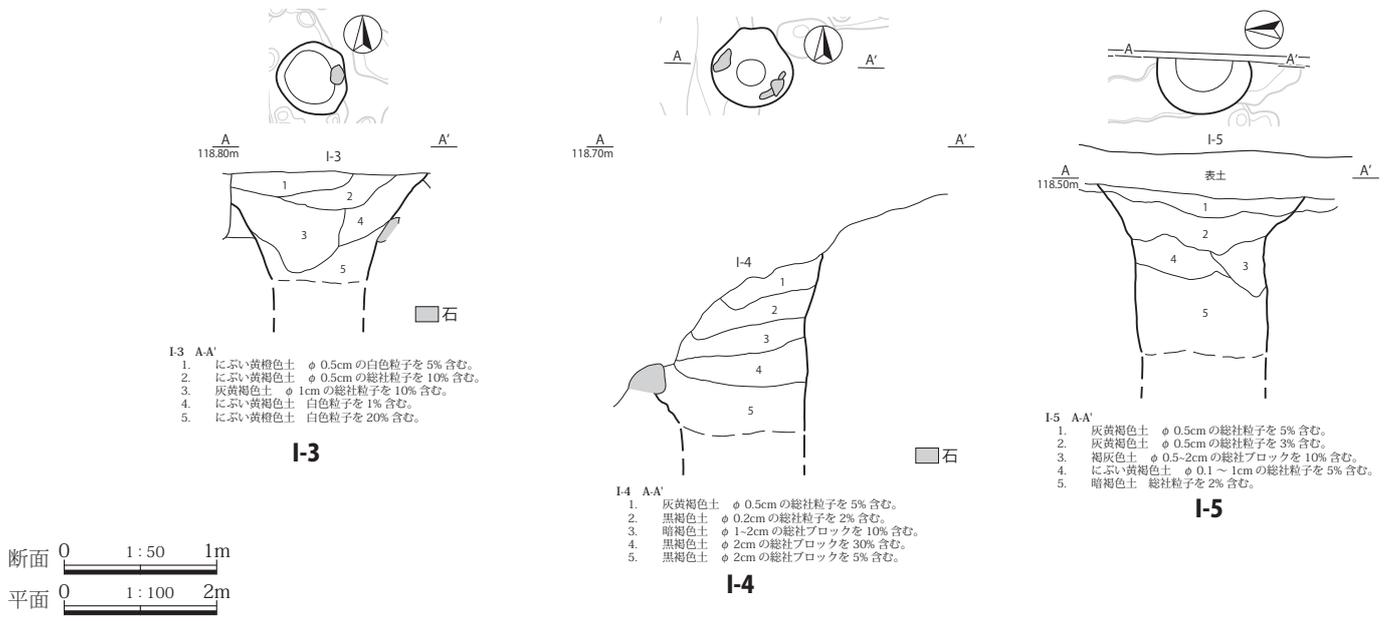


Fig.21 井戸跡 (I) その2

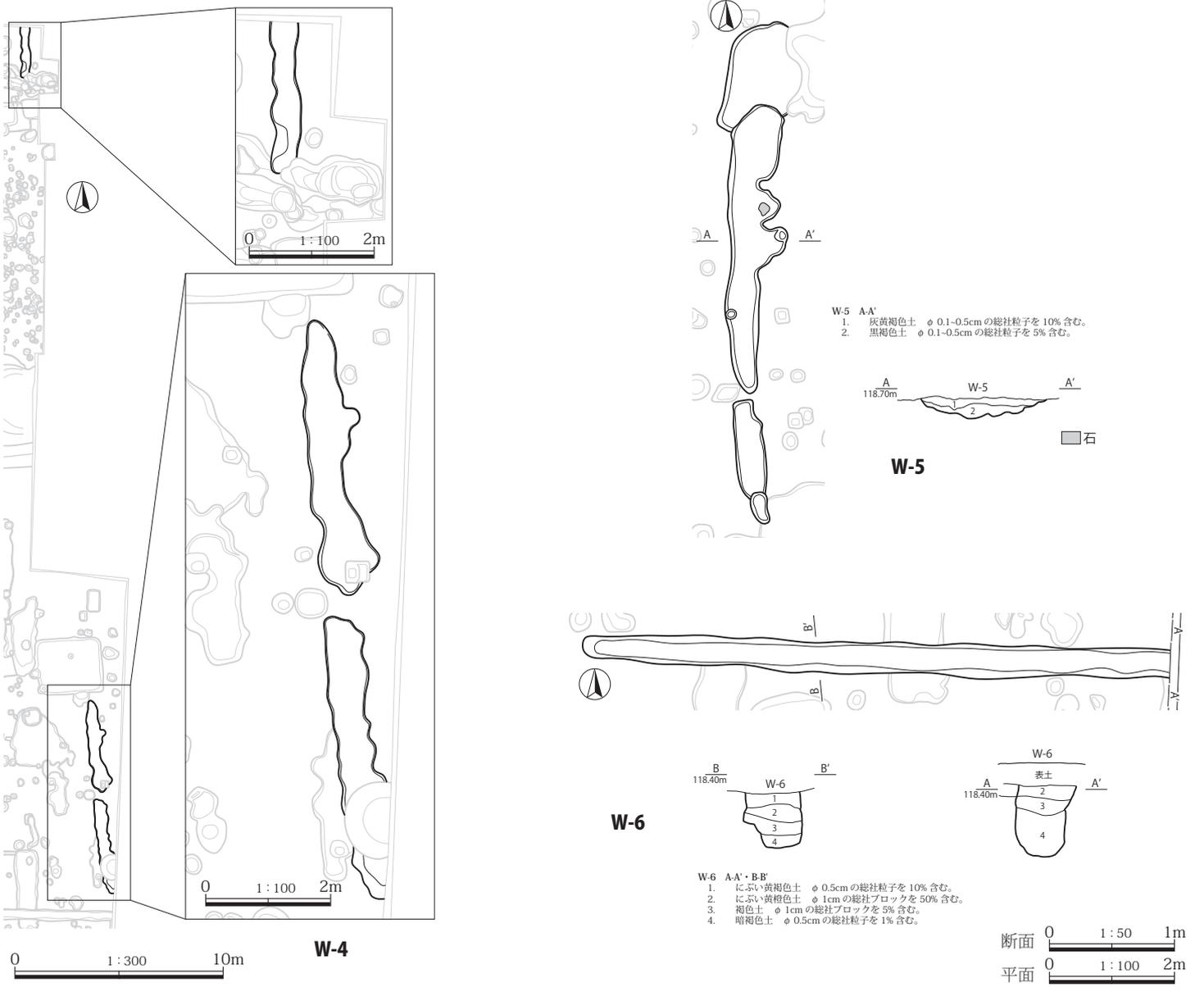


Fig.22 溝跡 (W) その1

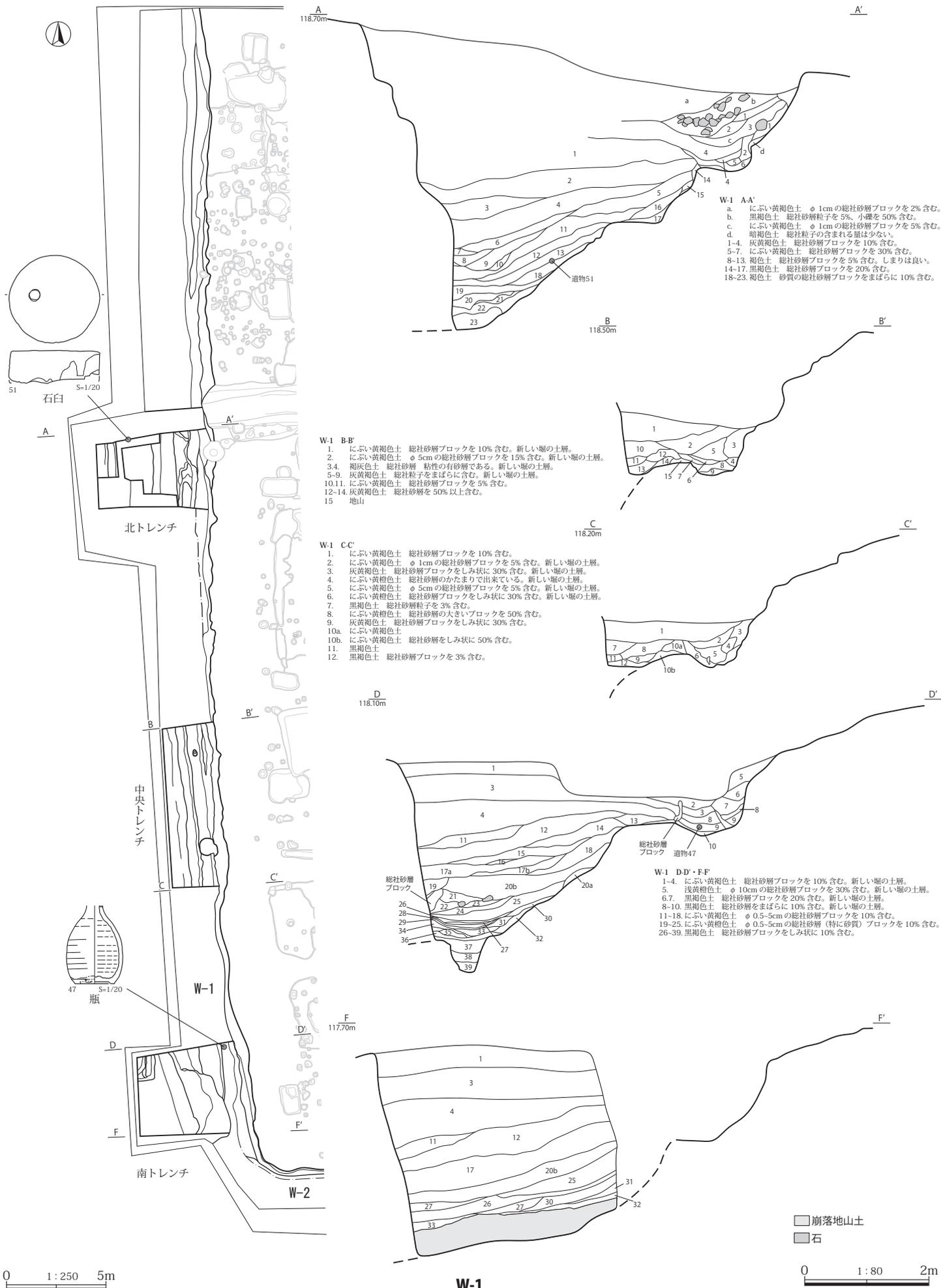


Fig.23 溝跡 (W) その2

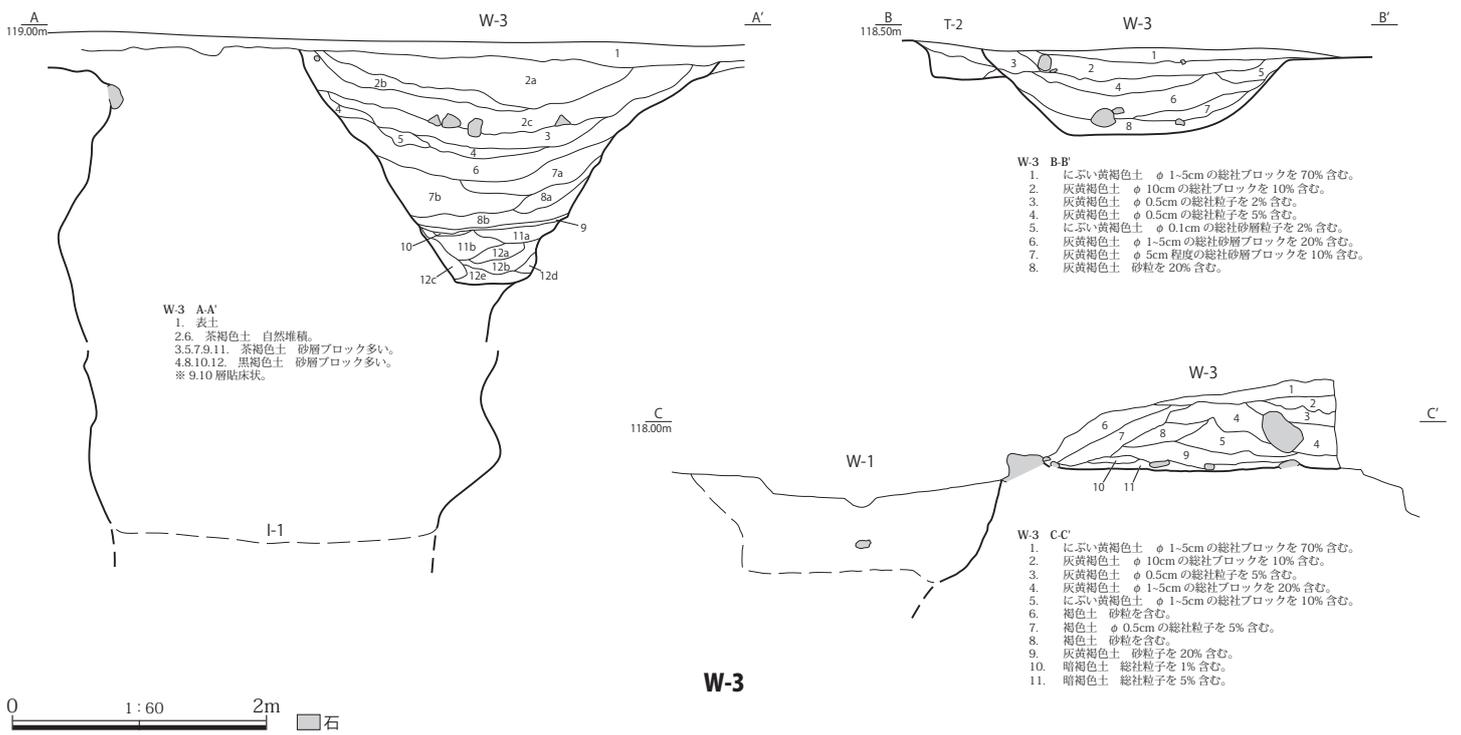
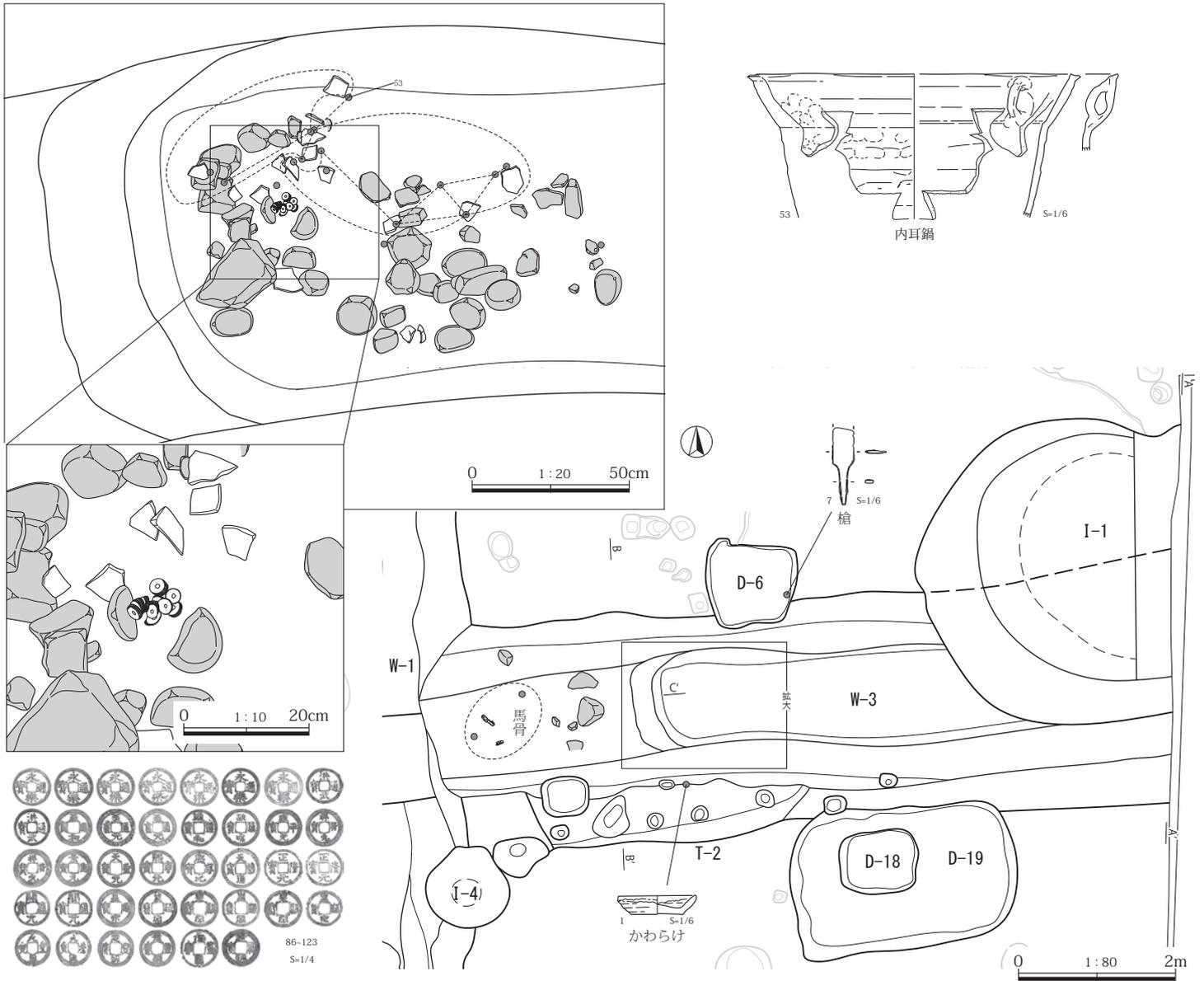


Fig.24 溝跡 (W) その3

Tab.2 竪穴状遺構計測表

() は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|-----|-------------|-----|--------|--------|------|----|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| T-1 | B2、B3、C2、C3 | 方形 | 3.39 | (3.08) | 0.24 | |
| T-2 | F3、F4 | 不明 | (3.52) | (0.78) | 0.30 | |
| T-3 | H5、H6、I5、I6 | 長方形 | 3.54 | 2.73 | 0.42 | |
| T-4 | J3、J4 | 長方形 | 3.99 | 1.97 | 0.98 | |

() は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|-----|-------------|-----|--------|------|------|----|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| T-5 | J3、J4、K3、K4 | 不整形 | 2.10 | 1.73 | 0.33 | |
| T-6 | L3、L4、M3、M4 | 不整形 | 3.94 | 3.22 | 0.70 | |
| T-7 | I4、I5、J4、J5 | 不整形 | 3.59 | 2.63 | 0.12 | |

Tab.3 土坑計測表

() は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|-------|-------|-----|--------|--------|------|---------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| D-1 | A4 | 不整形 | | | | |
| D-2 | A4、A5 | 不整形 | | | | |
| D-3 | A4 | 不整形 | 1.92 | 0.94 | 0.71 | |
| D-4 | A3 | 不整形 | 1.53 | 1.29 | 0.76 | |
| D-5 | A3、B3 | 不整形 | 3.21 | 2.27 | 0.80 | |
| D-6 | E3、E4 | 不整形 | 1.17 | 1.16 | 0.40 | |
| D-7 | C4 | 不整形 | 1.54 | 1.28 | 0.40 | |
| D-8 | C3 | 不整形 | (2.00) | 1.37 | 0.32 | |
| D-9 | C4 | 長方形 | 2.02 | (0.93) | 0.54 | |
| D-10 | C3 | 長方形 | 1.22 | 0.82 | 0.29 | |
| D-11 | D5 | 不整形 | 1.23 | 0.58 | 0.55 | |
| D-12 | D4 | 不整形 | 1.71 | 1.57 | 0.20 | |
| D-13 | D4 | 不整形 | (1.09) | (0.37) | 0.25 | |
| D-14 | D4、E4 | 長方形 | 2.44 | 0.75 | 0.49 | |
| D-15 | B4、B5 | 不整形 | (2.54) | 1.44 | 0.42 | |
| D-16 | D3、E3 | 不整形 | 2.07 | 1.91 | 0.39 | |
| D-17 | C4、C5 | 長方形 | (1.82) | 1.07 | 0.26 | |
| D-17b | D3 | 不整形 | 1.12 | 1.03 | 0.24 | |
| D-18 | F4 | 長方形 | 1.02 | 0.81 | 0.13 | D-19の内側 |
| D-19 | F4 | 長方形 | 2.91 | 1.83 | 0.70 | |

() は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|------|-------------|------|--------|--------|------|----|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| D-20 | G3、G4 | 長方形 | 1.89 | 1.02 | 0.97 | |
| D-21 | F3、G3 | 不整形 | 0.72 | (0.56) | 0.11 | |
| D-22 | H4 | 長方形 | 2.14 | 1.14 | 0.27 | |
| D-23 | H4、I4 | 長方形 | 1.33 | 0.62 | 0.69 | |
| D-24 | I4 | 長方形 | 1.18 | 0.56 | 0.22 | |
| D-25 | I3、I4 | 長方形 | 1.40 | 0.88 | 0.40 | |
| D-26 | I5 | 不整形 | 0.93 | 0.89 | 1.37 | |
| D-27 | G5、G6、H5、H6 | 長方形 | 1.08 | 0.64 | 0.20 | |
| D-28 | K4 | 長方形 | 1.77 | 0.98 | 0.17 | |
| D-29 | K5、L5 | 長方形 | 3.84 | 1.17 | 0.19 | |
| D-30 | N5 | 長方形 | 2.81 | 1.20 | 0.11 | |
| D-31 | M4、N4 | 長方形 | 2.18 | 1.67 | 0.30 | |
| D-32 | L4 | 不整形 | (1.50) | 1.34 | 0.27 | |
| D-33 | H5 | 不整形 | 3.90 | 1.55 | 0.26 | |
| D-34 | G4 | 不整形 | | | | |
| D-35 | O5 | 方形 | 1.07 | 1.03 | 0.26 | |
| D-36 | N3、N4、O3、O4 | 長方形? | 1.51 | 0.95 | 0.50 | |

Tab.4 ピット計測表

() は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|------|-------------|-------|--------|------|------|---------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-1 | A4 | 楕円形 | 0.26 | 0.22 | 0.04 | |
| P-2 | A3 | 不整形 | 0.24 | 0.21 | 0.11 | B-1 |
| P-3 | A4 | 不整形 | 0.41 | 0.32 | 0.16 | |
| P-4 | A4 | 不整形 | (0.24) | 0.24 | 0.14 | |
| P-5 | A4 | 不整形 | 0.26 | 0.21 | 0.05 | 地鎮か B-1 |
| P-6 | A4 | 楕円形 | 0.21 | 0.18 | 0.21 | |
| P-7 | A4、B4 | 楕円形 | 0.25 | 0.16 | 0.26 | |
| P-8 | B4 | 不整形 | 0.42 | 0.33 | 0.48 | B-1 |
| P-9 | B4 | 不整形 | 0.50 | 0.44 | 0.45 | B-1 |
| P-10 | A4 | 不整形 | 0.21 | 0.18 | 0.08 | |
| P-11 | B4 | 不整形 | 0.38 | 0.33 | 0.04 | |
| P-12 | C4 | 楕円形 | 0.35 | 0.27 | 0.49 | B-3 |
| P-13 | B5、C5 | 不整形 | 0.54 | 0.32 | 0.16 | |
| P-14 | C5 | 楕円形 | 0.33 | 0.28 | 0.42 | B-3 |
| P-15 | C4 | 不整形 | 0.33 | 0.22 | 0.34 | B-3 |
| P-16 | B4、B5 | 楕円形 | 0.32 | 0.21 | 0.38 | B-2 |
| P-17 | B5 | 方形 | 0.30 | 0.26 | 0.71 | |
| P-18 | B5 | 不整形 | 0.29 | 0.27 | 0.09 | |
| P-19 | B4 | 方形 | 0.19 | 0.19 | 0.04 | |
| P-20 | B5、C5 | 不整形 | 0.23 | 0.18 | 0.27 | |
| P-21 | C5 | 不整形 | 0.40 | 0.22 | 0.27 | |
| P-22 | C4 | 不整形 | 0.24 | 0.24 | 0.26 | B-3 |
| P-23 | C4 | 長方形 | 0.26 | 0.22 | 0.33 | |
| P-24 | C3 | 不整形 | 0.27 | 0.25 | 0.29 | |
| P-25 | C3 | 長方形 | 0.26 | 0.23 | 0.21 | B-5 |
| P-26 | C3 | 長方形 | 0.25 | 0.24 | 0.30 | B-4 |
| P-27 | A4 | 不整形 | 0.17 | 0.15 | 0.14 | |
| P-28 | A4 | 不整形 | 0.36 | 0.26 | 0.28 | B-1 |
| P-29 | A3 | 不整形 | 0.32 | 0.26 | 0.12 | |
| P-30 | A4 | 楕円形 | 0.25 | 0.21 | 0.06 | |
| P-31 | A4 | 不整形 | 0.31 | 0.26 | 0.03 | |
| P-32 | A4 | 不整形 | 0.32 | 0.24 | 0.37 | B-1 |
| P-33 | A3、A4 | 不整形 | 0.28 | 0.24 | 0.24 | |
| P-34 | A4 | 不整形 | 0.25 | 0.17 | 0.11 | |
| P-35 | A4 | 不整形 | 0.28 | 0.26 | 0.06 | |
| P-36 | A5 | (不整形) | 0.32 | 0.27 | 0.07 | |
| P-37 | A4 | 不整形 | 0.30 | 0.23 | 0.14 | |
| P-38 | A4 | 楕円形 | 0.30 | 0.22 | 0.30 | B-1 |
| P-39 | A4 | 不整形 | 0.16 | 0.13 | 0.06 | |
| P-40 | A4 | 楕円形 | 0.27 | 0.26 | 0.32 | |
| P-41 | A3、A4 | 不整形 | (0.28) | 0.32 | 0.10 | |
| P-42 | A3、A4、B3、B4 | 不整形 | (0.28) | 0.28 | 0.07 | |

() は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|------|-------------|-----|--------|------|------|------------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-43 | A4、B4 | 不整形 | 0.31 | 0.26 | 0.06 | |
| P-44 | B3 | 不整形 | 0.44 | 0.28 | 0.17 | |
| P-45 | B3、B4 | 不整形 | 0.35 | 0.28 | 0.08 | |
| P-46 | B4 | 長方形 | 0.21 | 0.18 | 0.38 | |
| P-47 | B4 | 不整形 | 0.14 | 0.11 | 0.02 | |
| P-48 | B3 | 不整形 | 0.26 | 0.21 | 0.21 | |
| P-49 | B3 | 不整形 | 0.28 | 0.24 | 0.38 | |
| P-50 | B3 | 不整形 | 0.43 | 0.35 | 0.59 | B-1 |
| P-51 | B3 | 長方形 | 0.30 | 0.28 | 0.40 | P-307と切り合い |
| P-52 | B3 | 不整形 | 0.21 | 0.20 | 0.12 | |
| P-53 | C4 | 方形 | 0.19 | 0.17 | 0.18 | |
| P-54 | B4 | 不整形 | 0.20 | 0.19 | 0.04 | |
| P-55 | B4 | 不整形 | 0.26 | 0.25 | 0.06 | |
| P-56 | B4 | 方形 | 0.29 | 0.24 | 0.48 | |
| P-57 | B4 | 楕円形 | 0.58 | 0.53 | 0.41 | B-1 |
| P-58 | B4 | 楕円形 | 0.37 | 0.33 | 0.47 | |
| P-59 | B4 | 方形 | 0.22 | 0.19 | 0.14 | |
| P-60 | B4、B5 | 不整形 | 0.20 | 0.13 | 0.01 | |
| P-61 | B5 | 不整形 | 0.24 | 0.23 | 0.29 | |
| P-62 | C4 | 不整形 | 0.30 | 0.19 | 0.06 | |
| P-63 | C5 | 不整形 | 0.56 | 0.38 | 0.17 | B-5 |
| P-64 | C5 | 不整形 | 0.26 | 0.17 | 0.10 | |
| P-65 | C5 | 楕円形 | 0.26 | 0.24 | 0.53 | B-5 |
| P-66 | C5 | 不整形 | 0.29 | 0.28 | 0.46 | |
| P-67 | C4、C5 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.56 | B-2 |
| P-68 | C4 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.34 | |
| P-69 | C4 | 不整形 | 0.21 | 0.19 | 0.08 | |
| P-70 | C4 | 不整形 | 0.22 | 0.21 | 0.37 | |
| P-71 | C5 | 不整形 | 0.36 | 0.31 | 0.47 | B-3 |
| P-72 | C5 | 不整形 | 0.26 | 0.25 | 0.27 | B-3 B-5 |
| P-73 | C5 | 方形 | 0.18 | 0.17 | 0.10 | B-5 |
| P-74 | D5 | 不整形 | 0.29 | 0.26 | 0.32 | |
| P-75 | D5 | 不整形 | 0.36 | 0.34 | 0.57 | B-6 |
| P-76 | D5 | 不整形 | 0.37 | 0.29 | 0.60 | B-5 |
| P-77 | D5 | 不整形 | 0.46 | 0.33 | 0.38 | |
| P-78 | C4、C5、D4、D5 | 長方形 | 0.20 | 0.17 | 0.28 | |
| P-79 | D5 | 不整形 | 0.37 | 0.30 | 0.50 | B-3 B-5 |
| P-80 | D5 | 不整形 | 0.18 | 0.14 | 0.15 | B-3 |
| P-81 | D5 | 方形 | 0.31 | 0.29 | 0.32 | B-3 |
| P-82 | D4 | 方形 | 0.25 | 0.18 | 0.34 | 開口部は台形 |
| P-83 | D4 | 不整形 | 0.48 | 0.40 | 0.50 | 柱穴4つ |
| P-84 | D4 | 方形 | 0.25 | 0.20 | 0.27 | |

()は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|-------|-------|------|--------|--------|------|---------------------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-85 | C4、D4 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.30 | |
| P-86 | C3 | 楕円形 | (0.20) | 0.22 | 0.17 | |
| P-87 | C3 | 不整形 | 0.19 | 0.11 | X | |
| P-88 | C3 | 不整形 | 0.16 | 0.11 | X | |
| P-89 | C3 | 不整形 | 0.19 | 0.16 | 0.10 | B-5 |
| P-90 | C3 | 楕円形 | 0.47 | 0.39 | 0.70 | B-4 |
| P-91 | C3 | 不整形 | (0.67) | 0.52 | 0.34 | |
| P-92 | C3 | 不整形 | 0.78 | 0.43 | 0.56 | 柱穴3つ B-2 B-4 |
| P-93 | C3 | 不整形 | 0.19 | 0.14 | 0.14 | B-5 |
| P-94 | C3 | 不整形 | 0.28 | 0.24 | 0.32 | B-2 B-4 B-5 |
| P-95 | C2,C3 | 方形 | 0.25 | 0.24 | 0.23 | B-5 |
| P-96 | C3 | 不整形 | 0.24 | 0.15 | 0.08 | |
| P-97 | C2 | 隅丸方形 | 0.21 | 0.17 | 0.24 | |
| P-98 | C3、C4 | 楕円形 | 0.35 | 0.31 | 0.58 | B-3 |
| P-99 | C3 | 円形 | 0.41 | 0.36 | 0.54 | B-2 |
| P-100 | C4 | 楕円形 | 0.17 | 0.12 | 0.20 | |
| P-101 | C3 | 不整形 | 0.37 | 0.34 | 0.53 | B-4 |
| P-102 | C3 | 隅丸方形 | 0.17 | 0.17 | 0.37 | B-4 |
| P-103 | C3 | 不整形 | 0.34 | 0.25 | 0.07 | |
| P-104 | C3 | 不整形 | 0.17 | 0.14 | 0.16 | |
| P-105 | C3 | 不整形 | 0.60 | 0.36 | | 柱穴2つ B-2 B-4 |
| P-106 | C3 | 不整形 | 0.20 | 0.16 | | |
| P-107 | D3 | 不整形 | 0.32 | 0.19 | 0.31 | 柱穴2つ B-4 |
| P-108 | D3 | 不整形 | 0.20 | 0.19 | 0.28 | |
| P-109 | D3 | 不整形 | 0.17 | 0.15 | 0.13 | 方形に北東側が欠けている |
| P-110 | D2 | 隅丸方形 | 0.18 | 0.14 | 0.15 | |
| P-111 | D2、D3 | 楕円形 | 0.14 | 0.12 | 0.15 | B-5 |
| P-112 | D3 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.18 | |
| P-113 | D3 | 不整形 | 0.26 | 0.21 | 0.18 | |
| P-114 | D3 | 不整形 | 0.20 | 0.18 | | |
| P-115 | D4 | 隅丸方形 | 0.33 | 0.22 | | |
| P-116 | D4 | 方形 | 0.20 | 0.19 | | |
| P-117 | D4 | 不整形 | 0.38 | 0.37 | | 図面欠番 |
| P-118 | D4 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.15 | |
| P-119 | D4 | 台形 | 0.19 | 0.13 | 0.13 | |
| P-120 | D3、D4 | 不整形 | 0.20 | 0.20 | 0.10 | |
| P-121 | D3 | 楕円形 | 0.45 | 0.37 | 0.30 | |
| P-122 | D3 | 不整形 | 0.86 | 0.36 | 0.66 | 柱穴2つ B-4 |
| P-123 | D3 | 不整形 | 0.49 | 0.40 | 0.34 | P-124と結合 B-2 |
| P-124 | D3 | 不整形 | 0.18 | (0.16) | 0.23 | P-123と結合 B-2 |
| P-125 | D3 | 不整形 | 0.19 | 0.14 | | |
| P-126 | D3 | 不整形 | 0.61 | 0.40 | | 柱穴2つ B-5 |
| P-127 | D3 | 不整形 | 0.61 | 0.44 | | 北側に焼土痕を切る B-4 |
| P-128 | D3 | 楕円形 | (0.43) | 0.40 | 0.31 | 南側に焼土痕を切る |
| P-129 | D3 | 不整形 | 0.85 | 0.54 | 0.60 | P-128、P-131切り合い B-4 |
| P-130 | D3 | 方形 | 0.31 | 0.29 | 0.64 | B-3 |
| P-131 | D3 | 不整形 | 0.37 | 0.26 | 0.35 | P-129切り合い不明 B-2 B-4 |
| P-132 | D3 | 不整形 | 0.35 | 0.22 | 0.26 | |
| P-133 | D3 | 不整形 | 0.22 | 0.20 | 0.18 | |
| P-134 | D3 | 方形 | 0.19 | (0.15) | 0.17 | P-139と結合 |
| P-135 | D3 | 方形 | 0.24 | 0.20 | 0.24 | P-136と切り合い |
| P-136 | D3 | 不整形 | (0.33) | 0.20 | 0.37 | P-135、137と切り合い |
| P-137 | D3 | 不整形 | 0.29 | 0.26 | 0.54 | P-136と切り合い |
| P-138 | | | | | | 欠番 |
| P-139 | D2 | 不整形 | 0.51 | 0.29 | 0.40 | P-134と結合 B-5 |
| P-140 | D2、D3 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.23 | |
| P-141 | E3 | 方形 | 0.22 | 0.19 | 0.34 | |
| P-142 | D3 | 不整形 | 0.49 | 0.25 | 0.06 | |
| P-143 | D4 | 不整形 | 0.30 | 0.25 | 0.35 | |
| P-144 | D3,D4 | 方形 | 0.19 | 0.18 | 0.15 | |
| P-145 | D3 | 不整形 | 0.23 | 0.21 | 0.15 | |
| P-146 | D4 | 不整形 | 0.34 | 0.24 | 0.35 | B-3 |
| P-147 | D4 | 長方形 | 0.28 | 0.22 | 0.31 | |
| P-148 | D4 | 不整形 | 0.21 | 0.20 | 0.11 | |
| P-149 | D4 | 不整形 | 0.22 | 0.19 | 0.07 | |
| P-150 | D4 | 不整形 | 0.19 | 0.15 | | |
| P-151 | D4、E4 | 不整形 | 0.22 | 0.18 | 0.09 | |
| P-152 | E4 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.23 | B-5 |
| P-153 | E4 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.19 | P-175と切り合い B-5 |
| P-154 | E3 | 方形 | 0.22 | 0.19 | 0.50 | |
| P-155 | E3 | 不整形 | 0.28 | 0.22 | 0.36 | |
| P-156 | D3 | 不整形 | 0.30 | 0.27 | 0.37 | B-2 |
| P-157 | D3 | 不整形 | (0.45) | 0.33 | 0.42 | B-2 B-4 |
| P-158 | E4 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.48 | B-5 |
| P-159 | E3、E4 | 方形 | 0.29 | 0.26 | 0.35 | B-5 |
| P-160 | E3 | 方形 | (0.25) | 0.19 | 0.50 | B-5 |
| P-161 | E3 | 不整形 | 0.21 | 0.21 | | |
| P-162 | E3 | 不整形 | 0.56 | 0.22 | 0.36 | B-5 |

()は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|--------|-------------|------|--------|--------|------|-----------------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-163 | E3 | 隅丸方形 | 0.29 | 0.26 | 0.45 | B-5 |
| P-164 | E3 | 隅丸方形 | 0.27 | 0.24 | 0.50 | |
| P-165 | E3 | 方形 | 0.22 | 0.17 | 0.28 | |
| P-166 | E3 | 不整形 | 0.80 | 0.54 | 0.33 | 柱穴2つ |
| P-167 | E3 | 不整形 | 0.36 | 0.33 | 0.54 | |
| P-168 | E3 | 不整形 | 0.20 | 0.16 | 0.14 | |
| P-169 | E3 | 不整形 | 0.20 | 0.17 | 0.13 | |
| P-170 | D4 | 不整形 | 0.24 | 0.21 | 0.37 | |
| P-171 | D4 | 隅丸方形 | 0.28 | 0.25 | 0.47 | B-3 |
| P-172 | D4 | 隅丸方形 | 0.19 | 0.18 | 0.28 | |
| P-173 | D5 | 不整形 | 0.22 | 0.16 | 0.07 | |
| P-174 | D5 | 方形 | 0.16 | 0.16 | 0.26 | |
| P-175 | D4、E4 | 不整形 | 0.65 | 0.32 | 0.47 | P-153と切り合い |
| P-176 | E3 | 不整形 | 0.22 | 0.16 | 0.18 | |
| P-177 | E3 | 不整形 | 0.13 | 0.12 | 0.13 | |
| P-178 | E3 | 不整形 | 0.18 | 0.16 | 0.13 | |
| P-179 | E3 | 不整形 | 0.16 | 0.12 | 0.09 | |
| P-180 | D3 | 楕円形 | 0.13 | 0.10 | 0.12 | |
| P-181 | D3 | 不整形 | 0.39 | 0.22 | 0.16 | 柱穴2つ |
| P-182 | D3 | 不整形 | 0.16 | 0.07 | 0.13 | |
| P-183 | D2、D3 | 楕円形 | 0.26 | 0.22 | 0.35 | B-5 |
| P-184 | D2、D3 | 方形 | 0.20 | 0.18 | 0.16 | B-5 |
| P-185 | D5 | 不整形 | 0.17 | 0.16 | 0.11 | |
| P-186 | D5 | 不整形 | 0.19 | 0.15 | 0.19 | |
| P-187 | D4、D5 | 不整形 | 0.57 | 0.37 | 0.75 | B-2 |
| P-188 | D3 | 楕円形 | 0.46 | 0.38 | 0.31 | B-4 |
| P-189 | D3 | 不整形 | 0.27 | 0.22 | 0.57 | |
| P-190 | C2 | 不整形 | 0.30 | 0.19 | 0.09 | |
| P-191 | C3 | 不整形 | 0.18 | 0.16 | 0.18 | |
| P-192 | C3 | 不整形 | 0.21 | 0.18 | 0.25 | |
| P-193 | C4 | 不整形 | 0.17 | 0.17 | 0.08 | |
| P-194 | C4 | 不整形 | 0.16 | 0.13 | 0.02 | |
| P-195 | D4 | 方形 | 0.20 | 0.20 | 0.22 | |
| P-196 | D4 | 不整形 | 0.21 | 0.19 | 0.10 | |
| P-197 | D4、E4 | 不整形 | 0.36 | 0.25 | | |
| P-198 | D5 | | | | | P-494に変更 |
| P-199 | E5 | 方形 | 0.32 | 0.30 | 0.66 | B-5 |
| P-200 | E5 | 円形 | 0.28 | 0.28 | 0.40 | B-5 |
| P-201 | C4 | 不整形 | 0.44 | 0.40 | 0.80 | B-4 |
| P-202 | C4 | 楕円形 | 0.52 | 0.29 | 0.48 | |
| P-203 | C4、C5 | 不整形 | 0.44 | 0.38 | 0.52 | B-2 |
| P-204 | C5 | 不整形 | 0.55 | 0.36 | 0.57 | P-205と切り合い |
| P-205 | C5 | 不整形 | 0.59 | 0.47 | 0.52 | P-204と切り合い |
| P-206 | C5 | 不整形 | 0.21 | 0.18 | 0.04 | |
| P-207 | C4 | 不整形 | 0.21 | 0.18 | 0.90 | |
| P-208 | C5 | 不整形 | 0.84 | 0.67 | 0.56 | B-3 |
| P-209 | D4 | 楕円形 | 0.49 | 0.38 | 0.60 | B-4 |
| P-210 | D4 | 楕円形 | 0.21 | 0.19 | 0.20 | |
| P-211 | D4 | 楕円形 | 0.39 | 0.35 | 0.47 | B-6 |
| P-212 | D3 | 不整形 | 0.34 | 0.25 | 0.40 | |
| P-213 | D4 | 不整形 | 0.29 | 0.21 | 0.16 | |
| P-214 | D4 | 不整形 | 0.23 | 0.19 | 0.21 | |
| P-215 | D4 | 方形 | 0.60 | 0.51 | 0.82 | B-4 |
| P-215b | E3 | 不整形 | 0.33 | 0.28 | 0.40 | |
| P-216 | E3 | 不整形 | 0.22 | 0.18 | 0.22 | |
| P-217 | E3 | 不整形 | 0.62 | 0.32 | 0.42 | 柱穴2つ |
| P-218 | D3、D4 | 不整形 | 0.52 | 0.27 | 0.50 | 柱穴2つ B-5 |
| P-219 | C4 | 方形 | 0.26 | 0.23 | 0.47 | B-5 |
| P-220 | B5 | 隅丸方形 | 0.86 | 0.51 | 0.66 | B-1 |
| P-221 | A4、A5、B4、B5 | 方形 | 0.18 | 0.16 | 0.20 | |
| P-222 | B4 | 方形 | 0.19 | 0.18 | | |
| P-223 | D4 | 不整形 | 0.86 | (0.63) | 0.65 | B-6 |
| P-224 | D4 | 不整形 | 0.32 | 0.29 | 0.23 | |
| P-225 | D4 | 不整形 | 0.57 | 0.41 | 0.40 | P-226と切り合い 柱穴2つ |
| P-226 | D4 | 不整形 | 0.35 | 0.35 | 0.54 | P-225と切り合い B-6 |
| P-227 | C3、C4 | 不整形 | 0.27 | 0.24 | 0.42 | |
| P-228 | B4 | 不整形 | 0.21 | 0.15 | 0.09 | |
| P-229 | B4 | 隅丸方形 | 0.24 | 0.22 | 0.36 | |
| P-230 | B4 | 楕円形 | 0.40 | 0.28 | 0.34 | B-1 |
| P-231 | B4 | 不整形 | 0.59 | 0.50 | 0.32 | P-232と切り合い B-1 |
| P-232 | B4 | 不整形 | 0.60 | 0.53 | 0.29 | P-231と切り合い B-1 |
| P-233 | B3、B4 | 不整形 | 0.17 | 0.14 | 0.04 | |
| P-234 | C4 | 不整形 | 0.20 | 0.17 | 0.25 | |
| P-235 | C4、D4 | 隅丸方形 | 0.31 | 0.25 | 0.36 | |
| P-236 | D4 | 楕円形 | 0.34 | 0.32 | 0.49 | B-2 |
| P-237 | D4 | 不整形 | 0.21 | 0.19 | 0.14 | |
| P-238 | D5 | 不整形 | 0.19 | 0.16 | 0.14 | B-5 |
| P-239 | D5 | 不整形 | 0.17 | 0.14 | 0.16 | |

()は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|--------|-------|-----|--------|--------|------|-------------------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-240 | D5 | 不整形 | 0.21 | 0.14 | 0.16 | |
| P-241 | D5 | 不整形 | 0.24 | 0.19 | 0.30 | B-5 |
| P-242 | D3 | 不整形 | 0.25 | 0.17 | 0.20 | |
| P-243 | E3 | 不整形 | 0.21 | 0.17 | 0.30 | |
| P-244 | E3 | 不整形 | 0.17 | 0.16 | 0.13 | |
| P-245 | E3 | 方形 | 0.34 | 0.29 | 0.53 | P-246 と切り合い B-5 |
| P-246 | E3 | 不整形 | 0.50 | (0.27) | 0.28 | P-245 と切り合い |
| P-247 | E3 | 不整形 | 0.42 | 0.25 | 0.31 | |
| P-248 | E3 | 楕円形 | 0.15 | 0.13 | 0.39 | |
| P-249 | E3 | 方形 | 0.21 | 0.18 | 0.23 | |
| P-250 | E3 | 不整形 | 0.37 | 0.30 | 0.34 | P-251 と切り合い |
| P-251 | E3 | 不整形 | (0.21) | 0.21 | 0.34 | P-250 と切り合い |
| P-252 | D4 | 不整形 | 0.34 | 0.25 | 0.20 | |
| P-253 | D4 | 楕円形 | 0.35 | 0.25 | 0.52 | B-4 |
| P-254 | C4、D4 | 不整形 | 0.30 | 0.25 | 0.45 | |
| P-255 | C4、D4 | 不整形 | 0.26 | 0.24 | 0.15 | |
| P-256 | C4 | 方形 | 0.30 | 0.22 | 0.62 | |
| P-257 | C4 | 方形 | 0.18 | 0.16 | 0.36 | |
| P-258 | C4 | 不整形 | 0.17 | 0.16 | 0.15 | |
| P-259 | B4、B5 | 不整形 | 0.16 | 0.15 | 0.07 | |
| P-260 | C4 | 不整形 | 0.26 | 0.23 | 0.43 | |
| P-261 | B3、C3 | 不整形 | 0.20 | 0.15 | 0.29 | |
| P-262 | C4 | 不整形 | (0.36) | 0.21 | 0.32 | |
| P-263 | C4 | 不整形 | 0.18 | 0.16 | 0.28 | |
| P-264 | C4 | 不整形 | 0.33 | 0.26 | 0.52 | B-2 |
| P-265 | C3 | 方形 | 0.22 | 0.19 | 0.29 | B-5 |
| P-266 | C3 | 不整形 | 0.08 | 0.08 | 0.14 | |
| P-267 | D4 | 不整形 | 0.32 | 0.28 | 0.15 | |
| P-268 | D4 | 方形 | 0.20 | 0.17 | 0.28 | |
| P-269 | D4 | 不整形 | 0.20 | 0.12 | 0.04 | |
| P-270 | H4 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.29 | |
| P-271 | H4 | 不整形 | 0.40 | 0.31 | 0.16 | |
| P-272 | H4 | 円形 | 0.34 | 0.32 | 0.13 | |
| P-273 | H4 | 不整形 | 0.37 | 0.29 | 0.16 | |
| P-274 | H4 | 不整形 | 0.24 | 0.22 | 0.20 | |
| P-275 | H3 | 不整形 | 0.22 | 0.17 | | |
| P-276 | H3 | 不整形 | 0.48 | 0.41 | 0.37 | B-7 |
| P-277 | H3 | 不整形 | 0.50 | 0.31 | 0.20 | |
| P-278 | I4 | 方形 | 0.26 | 0.24 | 0.30 | 柱穴2つ |
| P-279 | I3、I4 | 楕円形 | 0.29 | 0.25 | 0.17 | |
| P-280 | I4 | 方形 | 0.33 | 0.28 | 0.25 | |
| P-281 | H4、I4 | 不整形 | 0.39 | 0.35 | 0.16 | |
| P-282 | I5 | 不整形 | 0.29 | 0.25 | 0.08 | 浅い |
| P-283 | I5 | 不整形 | 0.27 | 0.23 | 0.08 | 浅い |
| P-284 | I5 | 不整形 | 0.27 | 0.24 | 0.16 | |
| P-285 | I4 | 楕円形 | 0.28 | 0.26 | 0.43 | |
| P-286 | I4 | 不整形 | (0.30) | 0.21 | 0.10 | |
| P-287 | I4、J4 | 長方形 | 0.53 | 0.43 | 0.23 | |
| P-288 | J4、J5 | 方形 | 0.34 | 0.30 | 0.13 | |
| P-289 | J4 | 不整形 | 0.59 | 0.28 | 0.10 | 浅い |
| P-290 | I4、J4 | 方形 | 0.46 | 0.42 | 0.19 | |
| P-291 | J4 | 不整形 | 0.41 | 0.36 | 0.09 | 浅い |
| P-292 | J4 | 不整形 | 0.23 | 0.19 | 0.13 | 砥石 |
| P-293 | I4、J4 | 不整形 | 0.36 | 0.36 | 0.22 | |
| P-294 | J4 | 不整形 | 0.36 | 0.32 | 0.31 | B-7 |
| P-295 | I4 | 方形 | 0.22 | 0.22 | 0.21 | |
| P-296 | I4 | 不整形 | 0.52 | 0.43 | 0.21 | |
| P-297 | J5 | 不整形 | 0.38 | 0.30 | 0.14 | |
| P-298 | J4 | 楕円形 | 0.45 | 0.44 | 0.10 | |
| P-299 | J4、J5 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.18 | |
| P-300 | J5 | 不整形 | 0.32 | 0.28 | 0.12 | 浅い |
| P-300b | E3 | 不整形 | 0.31 | 0.25 | 0.47 | |
| P-301 | J5 | 不整形 | 0.49 | 0.38 | | W-7 と切り合い |
| P-302 | J5 | 円形 | 0.35 | 0.33 | 0.18 | |
| P-303 | J5 | 不整形 | 0.54 | 0.52 | 0.10 | |
| P-304 | J5 | 不整形 | 0.30 | 0.23 | 0.08 | |
| P-305 | B4 | 不整形 | 0.22 | 0.17 | 0.44 | B-2 |
| P-306 | B4 | 方形 | 0.28 | 0.20 | | B-2 |
| P-307 | B3 | 方形 | 0.25 | (0.23) | 0.30 | P-51 と切り合い |
| P-308 | A4 | 長方形 | 0.16 | 0.11 | | |
| P-308b | E3 | 不整形 | 0.87 | 0.81 | 0.44 | |
| P-309 | D4 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.26 | |
| P-309b | A4 | 不整形 | 0.23 | 0.18 | 0.46 | |
| P-310 | A5 | 不整形 | 1.67 | 0.74 | 1.47 | 柱穴の東側はさらに深い柱穴 B-1 |
| P-311 | K3 | 不整形 | 0.33 | 0.29 | 0.31 | |
| P-312 | K3 | 不整形 | 0.38 | 0.33 | 0.15 | 浅い |
| P-313 | K3 | 不整形 | 5.03 | 0.32 | 0.17 | |
| P-314 | K3 | 不整形 | 0.38 | 0.35 | 0.14 | |

()は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|-------|-------------|------|--------|--------|------|---------------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-315 | K3、K4 | 不整形 | 0.57 | 0.41 | 0.16 | 浅い |
| P-316 | K4 | 不整形 | 0.24 | 0.24 | 0.21 | |
| P-317 | K4 | 台形 | 0.24 | 0.22 | 0.27 | |
| P-318 | | (欠番) | | | | 欠番 |
| P-319 | K4 | 不整形 | 0.54 | 0.44 | 0.14 | |
| P-320 | K4 | 不整形 | 0.55 | 0.46 | 0.24 | |
| P-321 | J5、K5 | 不整形 | 0.53 | 0.48 | 0.23 | |
| P-322 | K4 | 不整形 | 0.58 | 0.51 | 0.12 | |
| P-323 | J5、K5 | 不整形 | 0.57 | 0.41 | | |
| P-324 | K5 | 不整形 | 0.29 | 0.26 | 0.14 | |
| P-325 | L4 | 隅丸方形 | 0.34 | 0.28 | 0.59 | |
| P-326 | L5 | 不整形 | | | | 欠番 浅いため図面化できず |
| P-327 | L5 | 方形 | 0.13 | 0.12 | | |
| P-328 | K5 | 不整形 | 0.34 | 0.27 | 0.09 | 浅い |
| P-329 | K5 | 不整形 | 0.48 | 0.26 | 0.16 | 浅い |
| P-330 | K5 | 不整形 | 0.72 | 0.61 | 0.07 | 浅い |
| P-331 | L5 | 不整形 | 0.24 | 0.20 | | |
| P-332 | L5 | 方形 | 0.22 | 0.16 | | |
| P-333 | L5 | 不整形 | 0.23 | 0.16 | | 浅い |
| P-334 | F3、F4 | 方形 | 0.19 | 0.17 | 0.17 | |
| P-335 | G3 | 不整形 | 0.53 | 0.33 | 0.37 | |
| P-336 | G3 | 不整形 | 0.36 | 0.28 | 0.27 | |
| P-337 | F4、G4 | 不整形 | 0.52 | 0.44 | 0.19 | |
| P-338 | H5 | 長方形 | 0.48 | 0.37 | 0.33 | |
| P-339 | H5 | 不整形 | 0.32 | 0.28 | 0.19 | |
| P-340 | H5 | 方形 | 0.39 | 0.32 | 0.51 | |
| P-341 | H6、I6 | 不整形 | 0.49 | 0.39 | 0.37 | 五角形 |
| P-342 | H4 | 不整形 | 0.55 | 0.37 | 0.16 | 浅い |
| P-343 | G3 | 不整形 | 0.24 | 0.20 | 0.26 | 浅い |
| P-344 | I4、I5、J4、J5 | 円形 | 0.31 | 0.29 | 0.40 | B-7 |
| P-345 | J3 | 円形 | 0.37 | 0.34 | 0.27 | B-7 |
| P-346 | J3 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.27 | |
| P-347 | L5 | 不整形 | 0.42 | 0.36 | 0.27 | |
| P-348 | L5 | 不整形 | | | | 欠番 浅いため図面化できず |
| P-349 | L5 | 不整形 | 0.50 | 0.40 | 0.33 | |
| P-350 | M5 | 不整形 | 0.29 | 0.23 | 0.15 | |
| P-351 | M5 | 不整形 | 0.35 | 0.31 | 0.05 | 浅い |
| P-352 | M5 | 不整形 | 0.35 | 0.34 | 0.11 | 浅い |
| P-353 | M5 | 不整形 | 0.32 | 0.27 | 0.10 | 浅い |
| P-354 | M5 | 円形 | 0.23 | 0.22 | 0.14 | |
| P-355 | M5 | 円形 | 0.41 | 0.37 | 0.16 | |
| P-356 | M5 | 楕円形 | 0.27 | 0.24 | 0.21 | |
| P-357 | M5 | 不整形 | 0.33 | 0.32 | 0.06 | |
| P-358 | M5 | 方形 | 0.27 | 0.26 | 0.41 | |
| P-359 | M4、M5 | 楕円形 | 0.27 | 0.20 | 0.24 | |
| P-360 | M4 | 円形 | 0.35 | 0.34 | 0.14 | |
| P-361 | M4、M5 | 不整形 | 0.30 | 0.29 | 0.08 | |
| P-362 | M5 | 不整形 | 0.27 | 0.20 | 0.08 | |
| P-363 | M5、N5 | 不整形 | 0.30 | 0.29 | 0.05 | |
| P-364 | M4 | 不整形 | 0.23 | 0.21 | 0.08 | |
| P-365 | N4 | 円形 | 0.32 | 0.30 | 0.17 | |
| P-366 | N4 | 円形 | 0.36 | 0.33 | 0.53 | |
| P-367 | N4 | 不整形 | 0.74 | 0.53 | 0.37 | 柱穴2つ |
| P-368 | N4 | 不整形 | 0.33 | (0.24) | 0.36 | P-369 と切り合い |
| P-369 | N4 | 不整形 | 0.35 | 0.29 | 0.39 | P-368 と切り合い |
| P-370 | N4 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.27 | |
| P-371 | N4 | 方形 | 0.16 | 0.15 | 0.15 | |
| P-372 | N4 | 不整形 | 0.38 | 0.36 | 0.35 | |
| P-373 | N4 | 台形 | 0.30 | 0.24 | 0.25 | |
| P-374 | N4 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.16 | |
| P-375 | N4 | 方形 | 0.25 | 0.24 | 0.13 | |
| P-376 | N4 | 不整形 | 0.35 | 0.35 | 0.37 | |
| P-377 | N4 | 不整形 | 0.20 | (0.30) | 0.04 | |
| P-378 | N4 | 不整形 | 0.28 | (0.21) | 0.24 | |
| P-379 | O4、O5 | 隅丸方形 | 0.26 | 0.25 | 0.11 | |
| P-380 | O4、O5 | 長方形 | 0.28 | 0.21 | | |
| P-381 | L5 | 不整形 | 0.32 | 0.23 | 0.11 | |
| P-382 | L5 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.17 | |
| P-383 | L5 | 方形 | 0.31 | 0.28 | 0.48 | |
| P-384 | L5 | 不整形 | 0.59 | 0.28 | 0.13 | 浅い |
| P-385 | L5 | 不整形 | 0.34 | 0.18 | 0.21 | |
| P-386 | L5 | 不整形 | 0.33 | 0.22 | 0.11 | 浅い |
| P-387 | L5、L6 | 不整形 | 0.32 | 0.22 | 0.14 | |
| P-388 | L5 | 不整形 | 0.36 | 0.28 | 0.15 | |
| P-389 | I4 | 円形 | 0.32 | 0.30 | 0.44 | B-7 |
| P-390 | I6 | 不整形 | 0.40 | 0.38 | 0.19 | |
| P-391 | J6 | 方形 | 0.39 | 0.35 | 0.31 | |
| P-392 | G4、H4 | 隅丸方形 | 0.38 | 0.37 | 0.29 | |

()は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|--------|-------|------|--------|--------|------|-----------------|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-393 | I4 | 不整形 | 0.39 | 0.38 | 0.21 | |
| P-394 | H4、I4 | 方形 | 0.28 | 0.27 | 0.25 | |
| P-395 | I4 | 不整形 | 0.46 | 0.38 | 0.63 | |
| P-396 | I4、I5 | 円形 | 0.26 | 0.25 | 0.40 | |
| P-397 | I5 | 不整形 | 0.21 | 0.17 | 0.19 | 浅い |
| P-398 | I4 | 不整形 | 0.47 | 0.36 | 0.20 | 浅い |
| P-399 | I4 | 不整形 | 0.30 | 0.30 | 0.17 | 浅い |
| P-400 | I4 | 不整形 | 0.54 | 0.34 | 0.26 | 浅い |
| P-401 | J3 | 不整形 | 0.43 | 0.41 | 0.12 | |
| P-402 | J3 | 不整形 | 0.44 | 0.44 | 0.12 | |
| P-403 | K3 | 不整形 | 0.25 | 0.21 | 0.23 | |
| P-404 | K5 | 円形 | 0.34 | 0.29 | 0.12 | 浅い |
| P-405 | J4 | 不整形 | 0.37 | 0.35 | 0.29 | |
| P-406 | H6 | 不整形 | 0.51 | 0.43 | 0.32 | |
| P-407 | G4 | 不整形 | 0.40 | 0.36 | 0.32 | |
| P-408 | K4 | 不整形 | 0.24 | 0.22 | 0.24 | |
| P-409 | K5 | 不整形 | 0.52 | 0.46 | 0.22 | |
| P-410 | K5 | 不整形 | 0.59 | 0.49 | 0.19 | |
| P-411 | L5 | 不整形 | 0.38 | 0.33 | 0.40 | |
| P-412 | L6 | 不整形 | 0.27 | 0.22 | 0.27 | |
| P-413 | L5 | 不整形 | 0.39 | 0.25 | 0.15 | |
| P-414 | L5 | 不整形 | 0.28 | 0.23 | 0.06 | |
| P-415 | M5 | 隅丸方形 | 0.36 | 0.32 | 0.37 | |
| P-416 | M6 | 不整形 | 0.25 | 0.22 | 0.16 | |
| P-417 | M6 | 不整形 | 0.39 | 0.34 | 0.19 | |
| P-418 | M6 | 方形 | 0.34 | 0.29 | 0.15 | |
| P-419 | N6 | 不整形 | 0.36 | 0.27 | 0.18 | |
| P-420 | N5 | 不整形 | 0.35 | 0.25 | 0.18 | |
| P-421 | N5 | 不整形 | 0.35 | 0.33 | 0.25 | |
| P-422 | N4 | 不整形 | 0.35 | (0.31) | 0.46 | P-423、424 と切り合い |
| P-423 | N4 | 不整形 | (0.42) | (0.37) | 0.47 | P-422、424 と切り合い |
| P-424 | N4 | 不整形 | (0.39) | (0.31) | 0.60 | P-422、423 と切り合い |
| P-425 | N4 | 不整形 | 0.54 | 0.34 | 0.26 | |
| P-426 | M4 | 不整形 | 0.28 | 0.17 | 0.29 | |
| P-427 | M4 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.52 | |
| P-428 | M3、M4 | 長方形 | 0.44 | 0.31 | 0.50 | |
| P-429 | M4 | 方形 | 0.27 | 0.27 | 0.30 | |
| P-430 | M4 | 円形 | 0.23 | 0.22 | 0.33 | |
| P-431 | M4 | 台形 | 0.29 | 0.25 | 0.36 | |
| P-432 | M4 | 隅丸方形 | 0.22 | 0.19 | 0.21 | |
| P-433 | M4 | 不整形 | 0.38 | 0.37 | 0.20 | |
| P-434 | N4 | 不整形 | 0.37 | 0.21 | | |
| P-435 | N4、O4 | 方形 | 0.27 | 0.26 | 0.16 | |
| P-436 | O4 | 不整形 | 0.56 | 0.45 | 0.24 | |
| P-437 | N4 | 方形 | 0.20 | 0.20 | 0.18 | |
| P-438 | N4 | 方形 | 0.15 | 0.15 | 0.14 | |
| P-439 | O4 | 不整形 | 0.16 | 0.12 | 0.17 | |
| P-440 | O4 | 不整形 | 0.24 | 0.14 | 0.11 | |
| P-441 | O4 | 不整形 | 0.49 | 0.39 | 0.18 | |
| P-442 | O4 | 方形 | 0.19 | 0.19 | 0.18 | |
| P-443 | O4 | 不整形 | 0.68 | 0.56 | 0.23 | |
| P-444 | O5 | 隅丸方形 | 0.27 | 0.26 | 0.23 | |
| P-445 | O5 | 長方形 | 0.37 | 0.31 | 0.33 | |
| P-446 | O5 | 不整形 | 0.58 | 0.41 | 0.14 | |
| P-447 | O5 | 不整形 | 0.34 | 0.28 | 0.09 | |
| P-448 | O5 | 不整形 | 0.36 | 0.28 | 0.23 | |
| P-449 | M4 | 不整形 | 0.29 | 0.29 | 0.21 | |
| P-450 | L4 | 不整形 | 0.39 | 0.32 | 0.26 | |
| P-451 | I4 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.30 | |
| P-452 | I4 | 方形 | 0.22 | 0.20 | 0.33 | |
| P-453 | J3 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.20 | B-7 |
| P-454 | J4 | 方形 | 0.27 | 0.27 | 0.21 | |
| P-455 | I3、J3 | 不整形 | 0.47 | 0.38 | 0.27 | |
| P-456 | I3、J3 | 不整形 | 0.29 | 0.25 | 0.23 | B-7 |
| P-457 | H4 | 不整形 | 0.40 | 0.38 | 0.31 | B-7 |
| P-458 | H4、I4 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.26 | |
| P-459 | I5 | 方形 | 0.26 | 0.24 | 0.26 | |
| P-460 | K5、L5 | 不整形 | 0.30 | 0.29 | 0.17 | |
| P-461 | N5 | 方形 | 0.34 | 0.32 | 0.34 | |
| P-462 | O5 | 方形 | 0.20 | 0.20 | | |
| P-463 | M4 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.16 | |
| P-464 | O4 | 不整形 | 0.37 | 0.33 | 0.17 | |
| P-465 | M4 | 方形 | 0.34 | 0.33 | 0.30 | |
| P-466a | L4 | 不整形 | (0.40) | 0.40 | 0.24 | |
| P-466b | L4 | 不整形 | 0.37 | (0.32) | 0.17 | |
| P-467 | L4 | 不整形 | (0.36) | 0.38 | 0.21 | |
| P-468 | L4 | 不整形 | 0.41 | 0.37 | 0.43 | |
| P-469 | L3、L4 | 方形 | 0.39 | 0.39 | 0.37 | |

()は残存値

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模 (m) | | | 備考 |
|-------|-------|-----|--------|--------|------|-----|
| | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | |
| P-470 | O4 | 方形 | 0.19 | 0.19 | 0.26 | |
| P-471 | O4 | 不整形 | 0.45 | 0.32 | 0.13 | |
| P-472 | O4 | 不整形 | 0.28 | 0.25 | 0.09 | |
| P-473 | O4 | 不整形 | 0.22 | 0.21 | 0.06 | |
| P-474 | M4 | 不整形 | 0.35 | 0.31 | 0.25 | |
| P-475 | I3 | 不整形 | 0.39 | 0.35 | 0.43 | B-7 |
| P-476 | H3 | 不整形 | 0.43 | 0.28 | 0.40 | |
| P-477 | H3 | 不整形 | 0.49 | 0.32 | 0.28 | |
| P-478 | H3 | 不整形 | 0.25 | 0.23 | 0.21 | |
| P-479 | H3 | 不整形 | 0.24 | 0.23 | 0.20 | |
| P-480 | G3 | 不整形 | 0.25 | 0.22 | 0.18 | |
| P-481 | G3 | 不整形 | 0.29 | 0.26 | 0.24 | |
| P-482 | H3、H4 | 方形 | 0.25 | 0.23 | 0.39 | |
| P-483 | H4 | 方形 | 0.27 | 0.25 | 0.36 | |
| P-484 | H5 | 不整形 | 0.52 | 0.45 | 0.36 | |
| P-485 | N5 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.10 | |
| P-486 | O5 | 不整形 | 0.24 | 0.18 | 0.14 | |
| P-487 | H6 | 不整形 | 0.79 | 0.60 | 0.20 | |
| P-488 | B4、C4 | 方形 | 0.30 | 0.29 | 0.15 | |
| P-489 | C4 | 方形 | 0.20 | 0.16 | 0.13 | |
| P-490 | C5 | 方形 | 0.21 | 0.18 | 0.17 | |
| P-491 | C5 | 方形 | 0.31 | 0.28 | 0.10 | |
| P-492 | C5 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.32 | |
| P-493 | D5 | 不整形 | 0.31 | 0.24 | 0.11 | |
| P-494 | D5 | 不整形 | 0.43 | 0.28 | 0.38 | B-6 |
| P-495 | B5 | 不整形 | 0.42 | 0.17 | 0.31 | |
| P-496 | C5 | 方形 | 0.22 | 0.22 | | |
| P-497 | C5 | 不整形 | (0.20) | 0.29 | 0.32 | |
| P-498 | D5 | 方形 | (0.22) | 0.31 | 0.20 | |
| P-499 | D5 | 不整形 | 0.28 | 0.19 | 0.10 | |
| P-500 | D5 | 方形 | 0.26 | 0.23 | 0.35 | |
| P-501 | D5、E5 | 不整形 | (0.10) | (0.26) | 0.39 | |
| P-502 | E4 | 楕円形 | 0.24 | 0.18 | 0.24 | |
| P-503 | E4 | 不整形 | (0.59) | 0.43 | 0.14 | |
| P-504 | D3 | 不整形 | 0.25 | 0.19 | 0.26 | |
| P-505 | D2 | 不整形 | 0.44 | 0.38 | 0.57 | B-4 |
| P-506 | A4 | 楕円形 | 0.19 | 0.16 | 0.22 | |
| P-507 | I6 | 不整形 | 0.31 | 0.25 | 0.12 | |

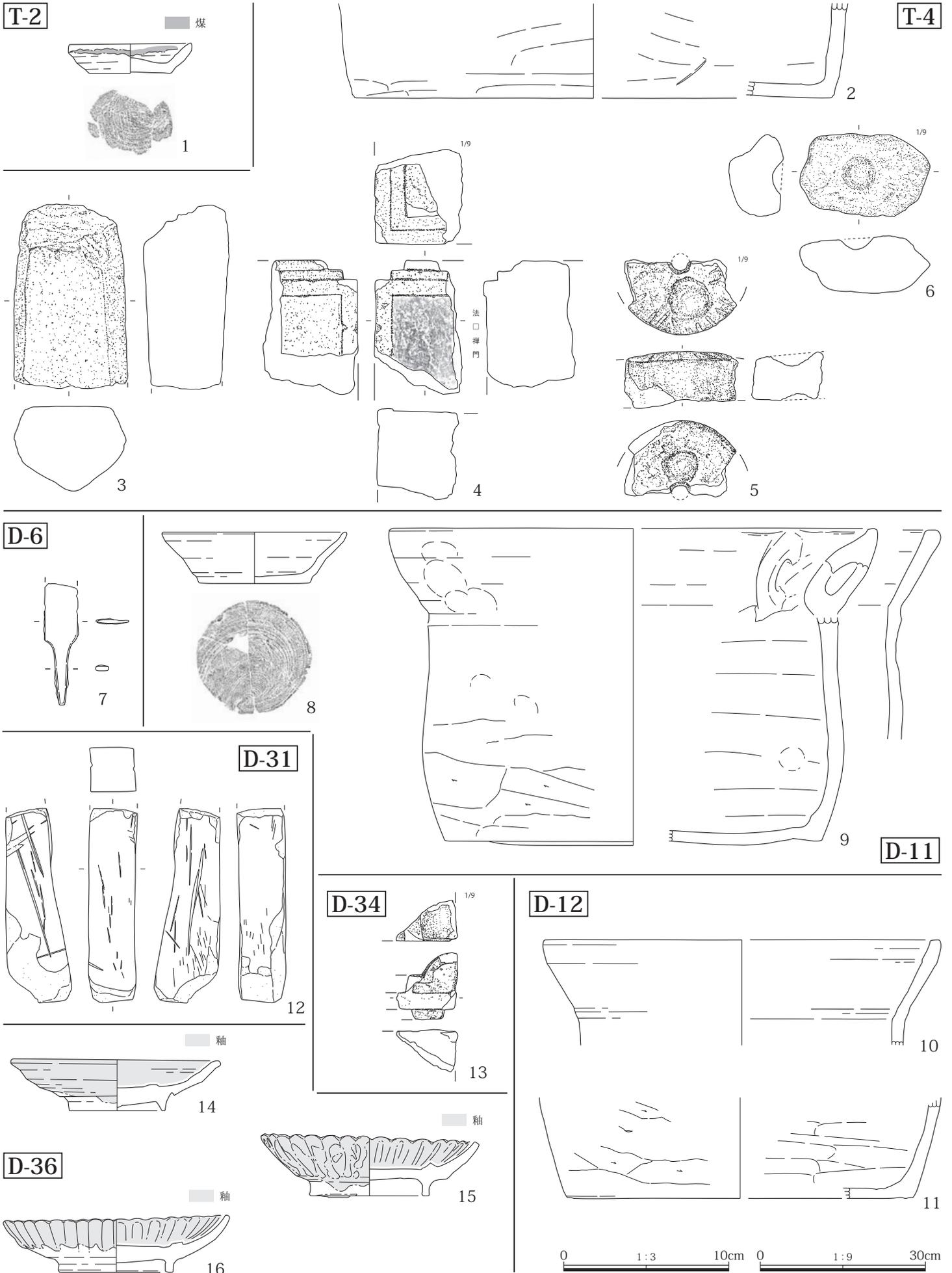


Fig.25 出土遺物 (1)

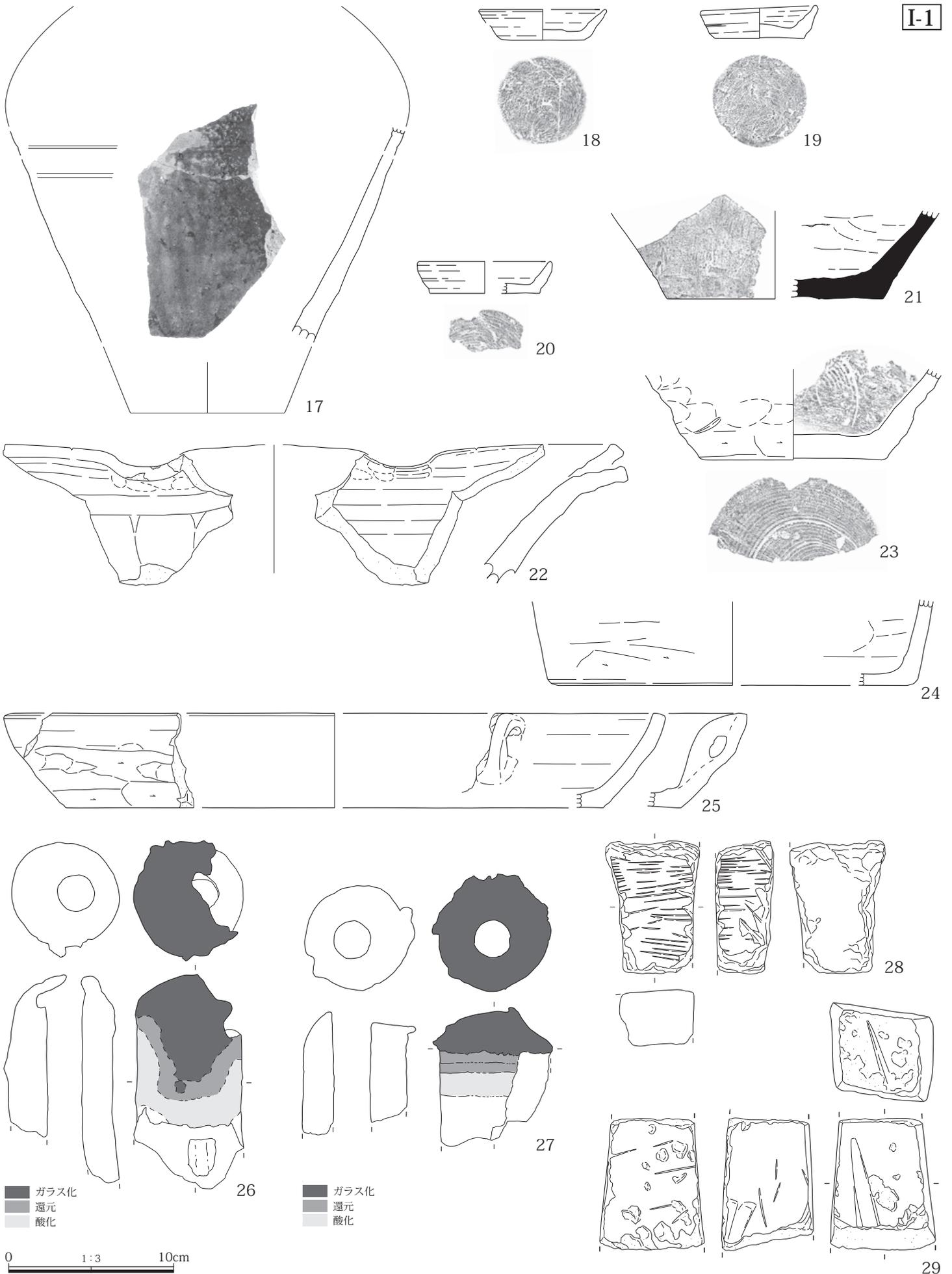


Fig.26 出土遺物 (2)

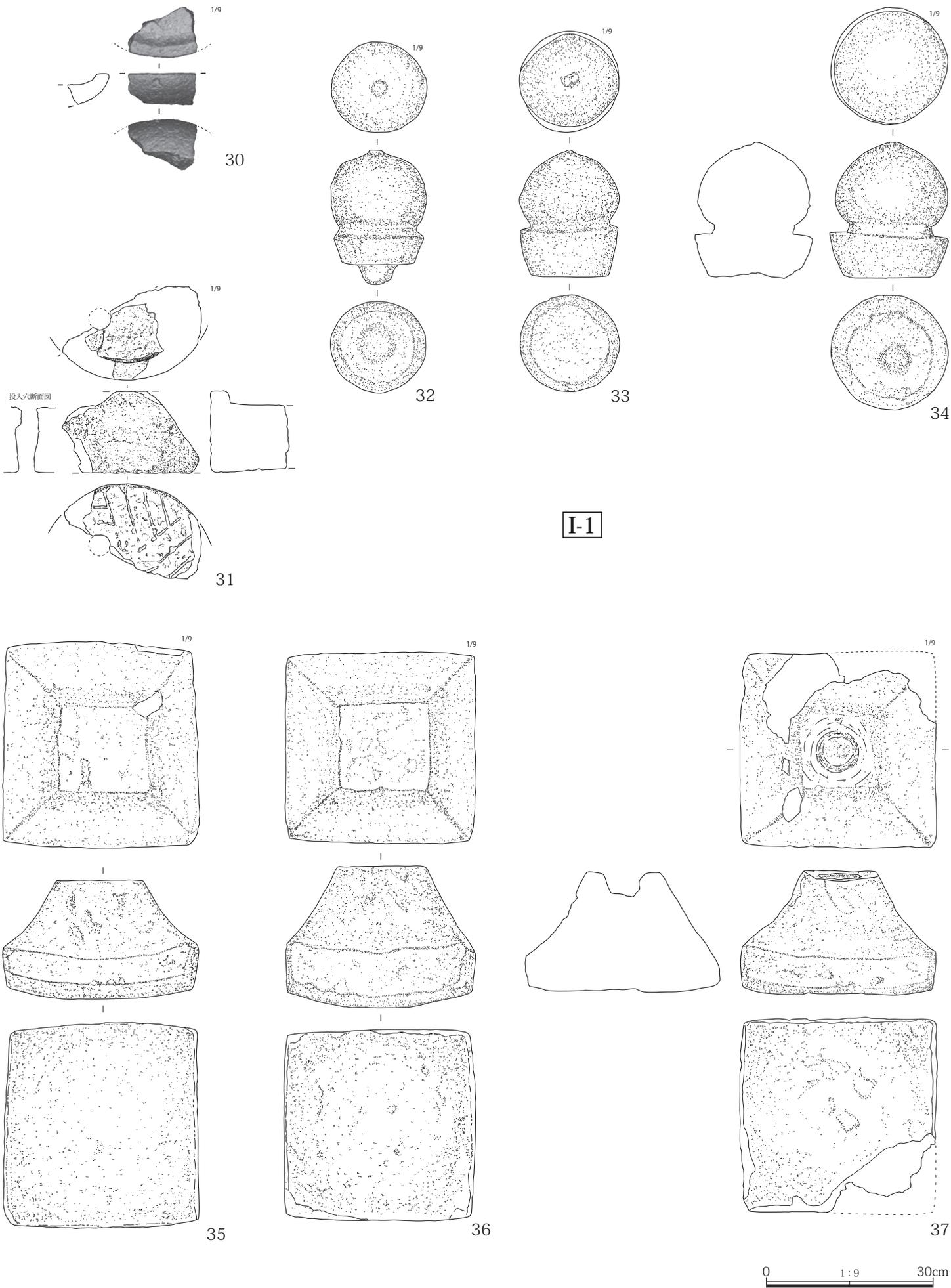
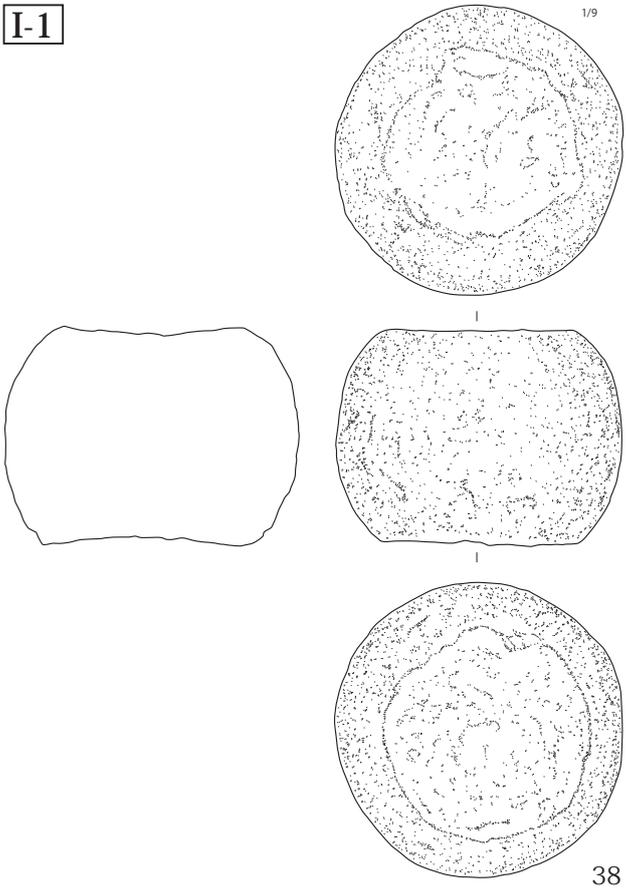
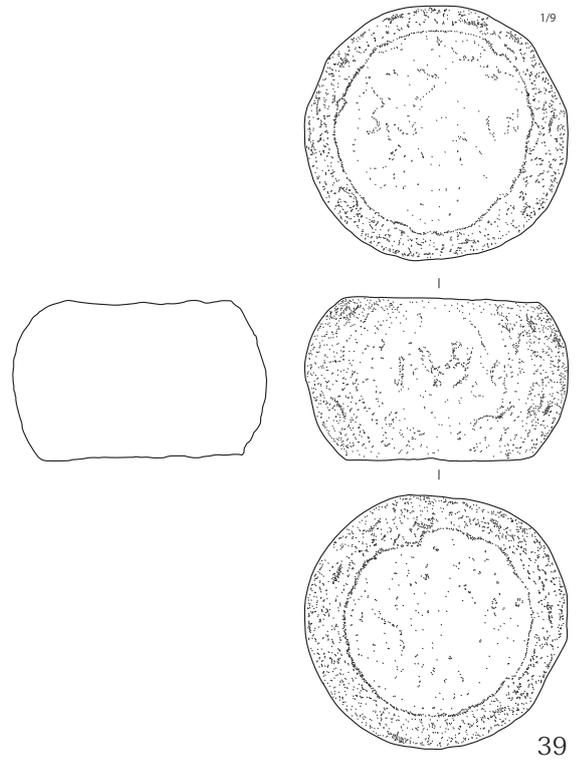


Fig.27 出土遺物 (3)

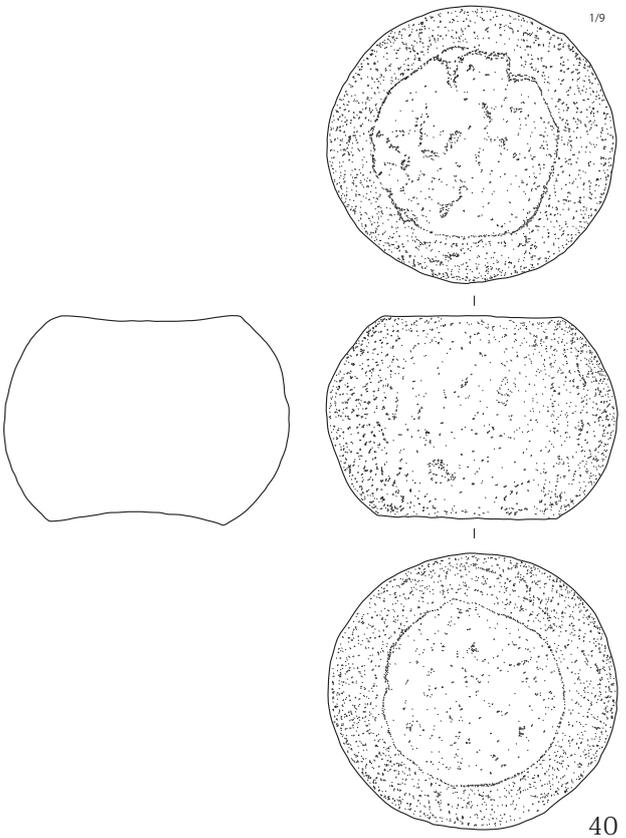
I-1



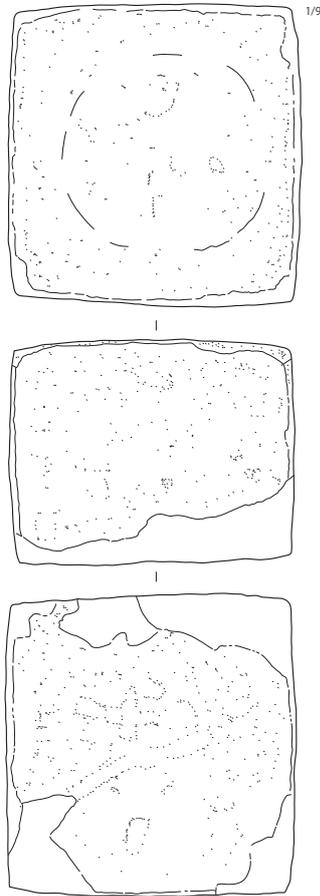
38



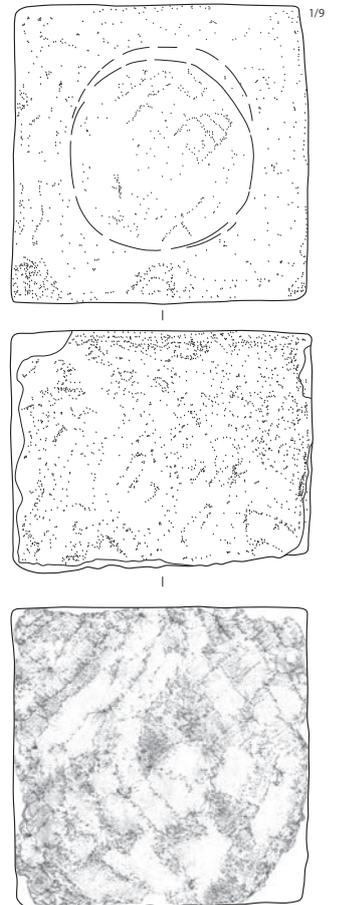
39



40



41



42

0 1:9 30cm

Fig.28 出土遺物 (4)

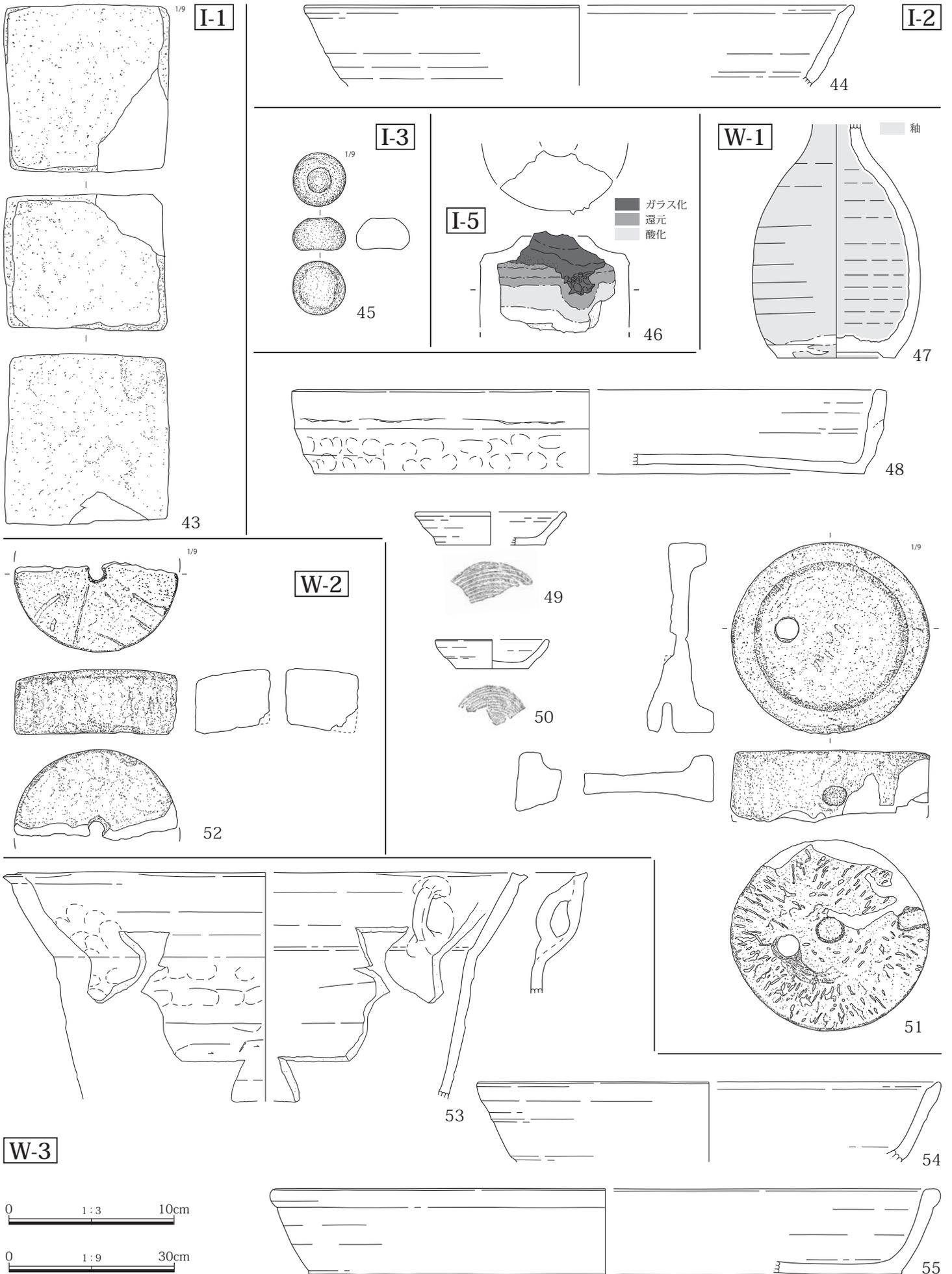
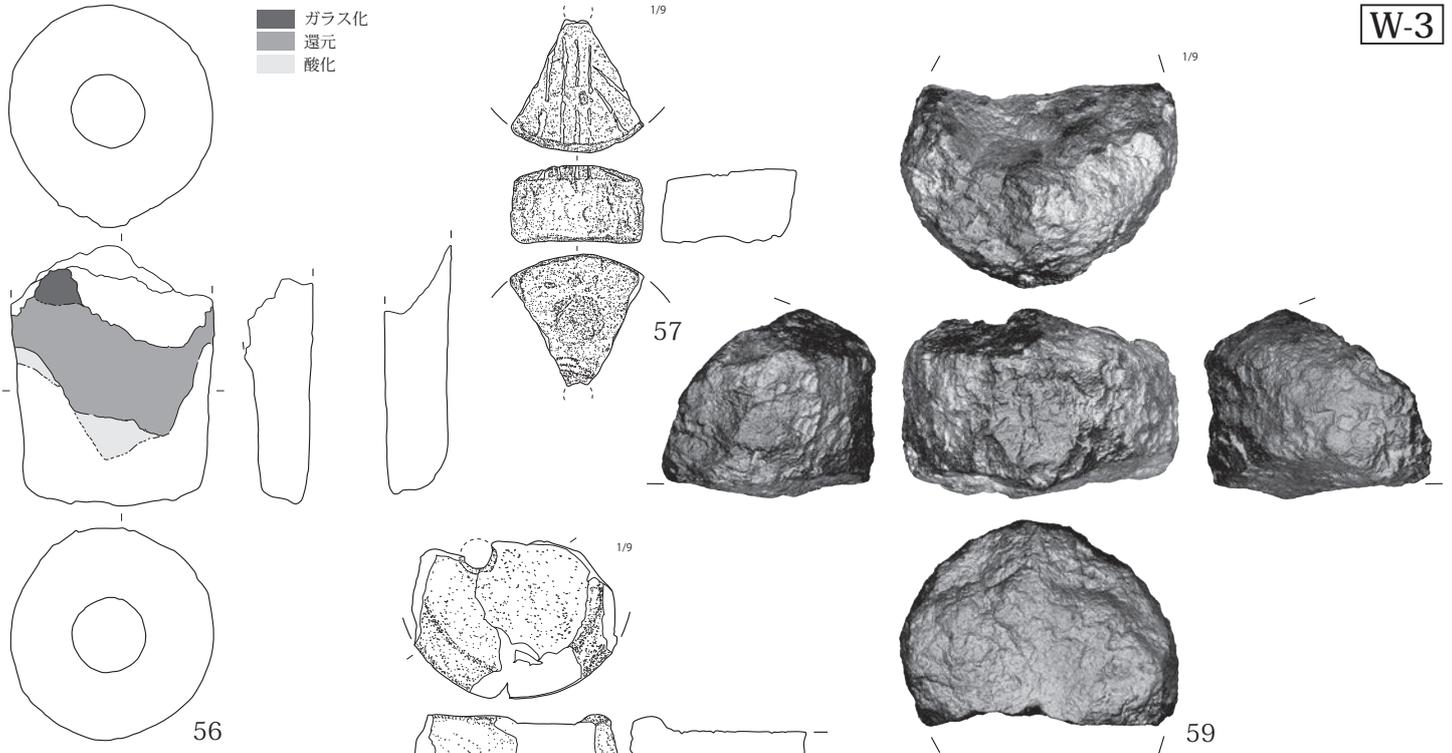
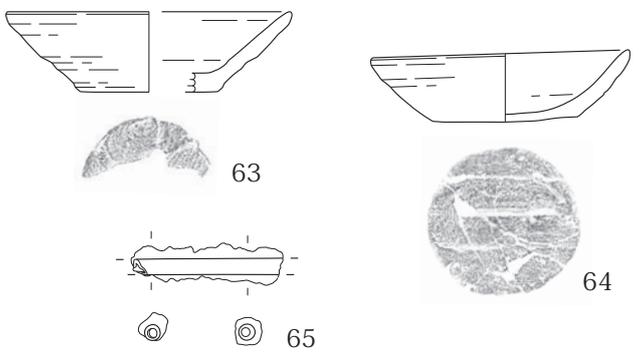
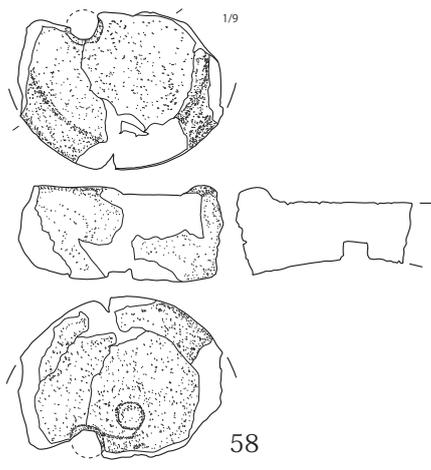
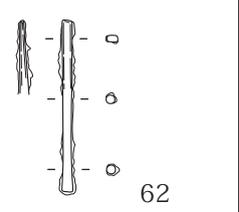


Fig.29 出土遺物 (5)

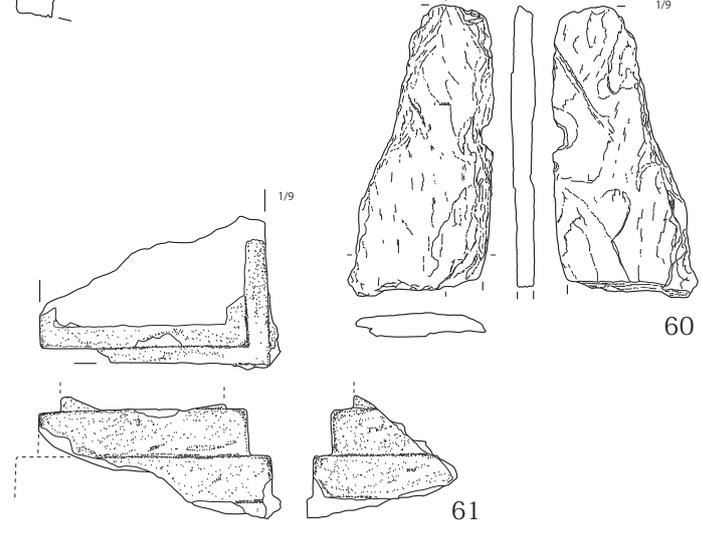
ガラス化
還元
酸化



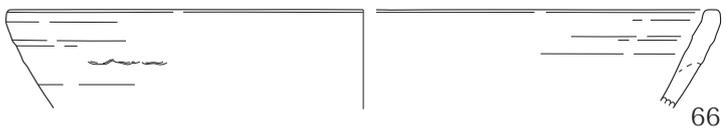
W-6



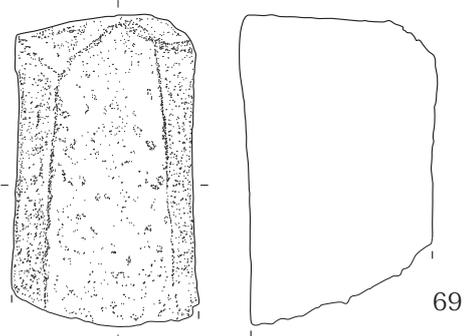
P-5



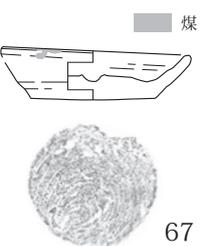
P-83



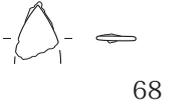
P-292



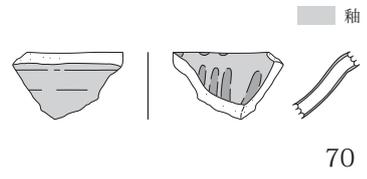
P-113



P-208



表土



0 1:3 10cm 0 1:9 30cm

Fig.30 出土遺物 (6)



Fig.31 出土遺物 (7)

Tab.5 出土遺物観察表 (土器・陶磁器)

※ () は残存値、< > は推定値

| No. | 遺構 | 種別 | 器種 | 部位 | 法量 (cm) | | | 焼成 | 色調 | 胎土 | 調整 | 備考 |
|-----|-------|-------|-----|-------------|-----------|---------|--------|----|--------------|----------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | | | |
| 1 | T-2 | かわらけ | 小皿 | 口縁~底部 1/2 | 7.4 | 1.9 | 5.0 | 良 | 黒褐 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切/内:ロクロ整形 | 内外面口縁部に煤付着 16c |
| 2 | T-4 | 瓦質土器 | 鍋 | 体~底部破片 | - | (5.8) | 29.0 | 普通 | 褐灰 | 輝石・長石・角閃石・小礫 | 外:ヘラナデ ナデ/内:ヘラナデ ナデ | 上野・武蔵型? 15~16c |
| 8 | D-11 | かわらけ | 皿 | 口縁~底部 1/2 | 11.2 | 3.2 | 6.8 | 良 | にぶい橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切(左回転)/内:ロクロ整形 | |
| 9 | D-11 | 瓦質土器 | 内耳鍋 | 口縁~底部 1/4 | 29.2 | 19.4 | 23.0 | 良 | 明赤褐 | 輝石・長石・角閃石・雲母・石英・小礫 | 外:ヨコナデ ナデ 下半ケズリ 内:ヨコナデ | 上野・武蔵型 15c 後~16c 頭 |
| 10 | D-12 | 瓦質土器 | 鍋 | 口縁~体部破片 | <24.0> | (6.4) | - | 良 | 橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 外:ヨコナデ/内:ヨコナデ | 15~16c No.66 と同一個体? |
| 11 | D-12 | 瓦質土器 | 鍋 | 体~底部破片 | - | (6.2) | <21.0> | 良 | 酸化ざみ | 外:黒褐 内:灰黄褐 | 外:ケズリ~ヘラナデ 内:ナデ | 15~16c |
| 14 | D-36 | 陶器 | 皿 | ほぼ完形 | 12.6 | 3.2 | 5.8 | 良 | 素:灰白 釉:暗赤褐 | 輝石・長石・雲母 | 外:ロクロ整形 鉄錆軸 内:ロクロ整形 鉄錆軸 | 江戸時代 |
| 15 | D-36 | 陶器 | 菊皿 | 口縁~高台部 9/10 | 12.8 | 3.8 | 7.2 | 良 | 素:灰白 釉:灰オリーブ | 輝石・長石 | 外:ロクロ整形 錆軸 内:ロクロ整形 錆軸 | 連房 I~II 期 |
| 16 | D-36 | 陶器 | 菊皿 | ほぼ完形 | 13.4 | 3.5 | 6.9 | 良 | 素:灰白 釉:オリーブ黄 | 輝石・長石 | 外:ロクロ整形 錆軸 内:ロクロ整形 錆軸 | 連房 I~II 期 |
| 17 | I-1 | 陶器 | 瓶子 | 胴部破片 | - | (13.2) | - | 良 | 素:灰黄 釉:オリーブ灰 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 軸 内:ロクロ整形 | 常滑? 筋壺系の可能性あり 13c |
| 18 | I-1 | かわらけ | 小皿 | 口縁~底部 9/10 | 7.6 | 1.9 | 5.0 | 良 | にぶい黄橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・海面骨針 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切(左回転)/内:ロクロ整形 | 16c |
| 19 | I-1 | かわらけ | 小皿 | 口縁~底部 7/8 | 6.9 | 2.1 | 5.3 | 良 | にぶい黄橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切(左回転)/内:ロクロ整形 | 藤岡産? 16c |
| 20 | I-1 | かわらけ | 小皿 | 口縁~底部 1/4 | <8.0> | 2.0 | <6.6> | 良 | 還元ざみ | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切 内:ロクロ整形 | 16c |
| 21 | I-1 | 須恵器 | 甕 | 胴~底部破片 | - | (5.4) | 13.2 | 良 | 灰 | 長石・輝石 | 外:平タタキ ナデ/内:当て具 ナデ | |
| 22 | I-1 | 瓦質土器 | 掃鉢 | 口縁~体部破片 | - | (8.5) | - | 良 | 酸化ざみ | 輝石・長石・角閃石・石英 | 外:ヨコナデ ナデ 内:ヨコナデ | 15c |
| 23 | I-1 | 瓦質土器 | 掃鉢 | 胴~底部破片 | - | (5.6) | <10.8> | 良 | 黄灰 | 長石・輝石・角閃石 | 外:ロクロ整形 ナデ 底部下端ケズリ 底部回転糸切 内:ロクロ整形 ナデ | 15c |
| 24 | I-1 | 瓦質土器 | 内耳鍋 | 体~底部破片 | - | (5.2) | <22.0> | 良 | 酸化ざみ | 外:黒褐 内:灰褐 | 外:ヨコナデ 下半ケズリ 内:ヨコナデ | 外面に煤付着 上野・武蔵型 15~16c |
| 25 | I-1 | 瓦質土器 | 内耳鍋 | 口縁~底部破片 | <40.0> | 5.8 | <32.6> | 良 | 外:灰黄褐 内:にぶい橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 外:ヨコナデ ケズリ 内:ヨコナデ | 上野・武蔵型 16~17c |
| 26 | I-1 | 土製品 | 羽口 | 端部 | 長さ (13.1) | 幅 6.7 | 孔径 2.1 | 良 | 橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 板作り整形 | 胴部は褐色から熱を受けて灰色に変色し、先端部は黒色ガラス質付着 |
| 27 | I-1 | 土製品 | 羽口 | 端部 | 長さ (8.4) | 幅 6.3 | 孔径 2.3 | 良 | にぶい黄橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 板作り整形 | 胴部は褐色から白色~灰色に変色し、先端部は黒色ガラス質付着 |
| 44 | I-2 | 瓦質土器 | 鍋 | 口縁~体部破片 | <33.2> | (5.0) | - | 良 | 褐灰 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 外:ヨコナデ/内:ヨコナデ | 上野・武蔵型 15~16c |
| 46 | I-5 | 土製品 | 羽口 | 破片 | 長さ (5.7) | 幅 (7.1) | 孔径 - | 普通 | 浅黄橙 | 輝石・長石・角閃石・小礫 | 板作り整形 | 黒色ガラス質付着 |
| 47 | W-1 | 陶器 | 瓶 | 頸~底部 1/2 | - | (14.3) | 7.1 | 良 | 素:灰白 釉:灰オリーブ | 長石・輝石 | 外:ロクロ整形 回転ケズリ 軸 内:ロクロ整形 軸 | |
| 48 | W-1 | 瓦質土器 | 焙烙 | 口縁~底部 1/6 | 34.8 | 5.2 | 33.4 | 良 | 褐灰 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ヨコナデ 体部下位に指頭痕/内:ヨコナデ | 近世 |
| 49 | W-1 | かわらけ | 皿 | 口縁~底部 1/5 | <9.0> | 2.0 | <6.6> | 良 | 橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切/内:ロクロ整形 | 16c |
| 50 | W-1 | かわらけ | 小皿 | 口縁~底部 1/3 | 6.7 | 1.8 | 4.4 | 良 | 還元 | 長石・輝石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切/内:ロクロ整形 | 内面ガラス化 緑青・酸化鉄付着 転用取鍋 |
| 53 | W-3 | 瓦質土器 | 内耳鍋 | 口縁~体部 1/8 | <30.0> | (13.9) | - | 良 | 褐灰 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ヨコナデ ケズリ 体部の一部に指頭痕 内:ヨコナデ ナデ | 上野・武蔵型 16c 代 |
| 54 | W-3 | 瓦質土器 | 鍋 | 口縁~体部破片 | <28.0> | (4.9) | - | 良 | 暗灰黄 | 輝石・長石・角閃石・雲母・片岩・海綿骨針 | 外:ヨコナデ 内:ヨコナデ | 藤岡産 |
| 55 | W-3 | 瓦質土器 | 焙烙 | 口縁~底部破片 | <40.0> | 5.3 | <36.0> | 良 | 酸化ざみ | 輝石・長石・角閃石・雲母・石英・小礫 | 外:ヨコナデ 内:ヨコナデ | 砂底 近世 |
| 56 | W-3 | 土製品 | 羽口 | 端部 | 長さ (10.4) | 幅 8.0 | 孔径 3.4 | 良 | 橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 板作り整形 | 黒色ガラス質付着 |
| 63 | P-5 | かわらけ | 皿 | 口縁~底部 1/2 | <11.2> | 3.2 | <5.4> | 良 | にぶい黄橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切(左回転) 内:ロクロ整形 | 錆の跡あり 永楽初鑄年~16c 前半 |
| 64 | P-5 | かわらけ | 皿 | 口縁~底部 9/10 | 10.1 | 2.9 | 5.7 | 良 | にぶい黄橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切(左回転) 内:ロクロ整形 | 錆の跡あり 永楽初鑄年~16c 前半 |
| 66 | P-83 | 瓦質土器 | 内耳鍋 | 口縁~体部破片 | <28.0> | (3.9) | - | 良 | 橙 | 輝石・長石・角閃石・雲母・小礫 | 外:ヨコナデ/内:ヨコナデ | 上野・武蔵型 15~16c No.10 と同一個体? |
| 67 | P-113 | 土師質土器 | 灯明皿 | 口縁~底部 3/4 | 7.4 | 2.1 | 4.9 | 良 | にぶい黄橙 | 輝石・長石・角閃石・石英 | 外:ロクロ整形 底部回転糸切(左回転) 内:ロクロ整形 | 口縁部と内面に煤付着 灯明皿にするための凹みあり |
| 70 | 表土 | 青磁 | 大皿 | 体部破片 | - | (2.7) | - | 良 | 素:灰白 釉:オリーブ灰 | 長石・輝石 | 外:ロクロ整形 軸 内:ロクロ整形 軸 | 龍泉窯 15c 代 |

Tab.6 出土遺物観察表 (金属製品)

| No. | 遺構 | 材質 | 器種 | 部位 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 備考 |
|-----|-----|----|-------|----|---------|--------|---------|--------|----|
| 7 | D-6 | 鉄 | 槍 | 先端 | (7.4) | 2.1 | 0.2 | 11.0 | |
| 62 | W-6 | 鉄 | 小型ノミ? | 完形 | 6.8 | 0.4 | 0.4 | 4.0 | |

| No. | 遺構 | 材質 | 器種 | 部位 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 備考 |
|-----|-------|----|-----|----|---------|--------|---------|--------|-----|
| 65 | P-5 | 鉄 | 不明 | 破片 | (6.0) | 0.6 | 0.6 | 11.0 | 丸棒状 |
| 68 | P-208 | 鉄 | 鉄銭? | 破片 | (2.2) | (1.6) | 0.2 | 2.0 | |

Tab.7 出土遺物観察表 (銭貨)

| No. | 遺構 | 材質 | 器種 | 部位 | 径 (cm) | 孔径 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 備考 |
|-----|-----|----|------|------|--------|---------|---------|--------|----------------|
| 71 | T-1 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1004-) |
| 72 | T-1 | 銅 | 元豐通寶 | 完形 | 2.6 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1078-) |
| 73 | T-1 | 銅 | 洪武通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 2.0 | 明 (1368-) |
| 74 | D-1 | 銅 | 開元通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 唐 (621-) |
| 75 | D-1 | 銅 | 熙寧元寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1068-) |
| 76 | D-1 | 銅 | 元祐通寶 | 完形 | 2.4 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1086-) |
| 77 | D-2 | 銅 | 開元通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 唐 (621-) |
| 78 | D-2 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 3.0 | 明 (1411-) |
| 79 | D-2 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 3.0 | 明 (1411-) |
| 80 | D-2 | 銅 | 熙寧元寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1068-) 篆書体 |
| 81 | D-2 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1004-) |
| 82 | D-2 | 銅 | 皇宗通寶 | 右下欠損 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) |
| 83 | D-5 | 銅 | 嘉祐通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1056-) |
| 84 | D-7 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1004-) |
| 85 | I-2 | 銅 | 天聖元寶 | ほぼ完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1023-) 篆書体 |
| 86 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | ほぼ完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 2.0 | 明 (1411-) |
| 87 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 明 (1411-) |
| 88 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 明 (1411-) |
| 89 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 明 (1411-) |
| 90 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 明 (1411-) |

| No. | 遺構 | 材質 | 器種 | 部位 | 径 (cm) | 孔径 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 備考 |
|-----|-----|----|------|----|--------|---------|---------|--------|----------------|
| 91 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 明 (1411-) |
| 92 | W-3 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 明 (1411-) |
| 93 | W-3 | 銅 | 洪武通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 明 (1368-) |
| 94 | W-3 | 銅 | 洪武通寶 | 完形 | 2.4 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 明 (1368-) |
| 95 | W-3 | 銅 | 至和通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1054-) |
| 96 | W-3 | 銅 | 至道元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (995-) |
| 97 | W-3 | 銅 | 至道元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (995-) |
| 98 | W-3 | 銅 | 政和通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1111-) 楷書体 |
| 99 | W-3 | 銅 | 政和通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1111-) 篆書体 |
| 100 | W-3 | 銅 | 咸平元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (998-) |
| 101 | W-3 | 銅 | 祥符元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1008-) |
| 102 | W-3 | 銅 | 祥符元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1008-) |
| 103 | W-3 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1004-) |
| 104 | W-3 | 銅 | 天聖元寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1023-) |
| 105 | W-3 | 銅 | 熙寧元寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1068-) |
| 106 | W-3 | 銅 | 熙寧元寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1068-) |
| 107 | W-3 | 銅 | 天禧通寶 | 完形 | 2.6 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1017-) |
| 108 | W-3 | 銅 | 正隆元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 金 (1149-) |
| 109 | W-3 | 銅 | 正隆元寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 金 (1149-) |
| 110 | W-3 | 銅 | 開元通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 唐 (621-) |

Tab.8 出土遺物観察表（銭貨）

| No. | 遺構 | 材質 | 器種 | 部位 | 径 (cm) | 孔径 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 備考 |
|-----|-----|----|------|------|--------|---------|---------|--------|----------------|
| 111 | W-3 | 銅 | 開元通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 唐 (621-) |
| 112 | W-3 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) 楷書体 |
| 113 | W-3 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1039-) 篆書体 |
| 114 | W-3 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) 篆書体 |
| 115 | W-3 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) 篆書体 |
| 116 | W-3 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.4 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) 篆書体 |
| 117 | W-3 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.4 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) 篆書体 |
| 118 | W-3 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1078-) 行書体 |
| 119 | W-3 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1078-) 行書体 |
| 120 | W-3 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1078-) 篆書体 |
| 121 | W-3 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.4 | 0.7 | 0.1 | 2.0 | 北宋 (1078-) 篆書体 |
| 122 | W-3 | 銅 | 元豊通寶 | ほぼ完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1078-) 篆書体 |
| 123 | W-3 | 銅 | 元祐通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1086-) 篆書体 |
| 124 | P-5 | 銅 | 永樂通寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 明 (1411-) |
| 125 | P-5 | 銅 | 淳化元寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (990-) |
| 126 | P-5 | 銅 | 宣和通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1119-) |
| 127 | P-5 | 銅 | 熙寧元寶 | ほぼ完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1068-) |

※ () は残存値、< > は推定値

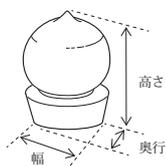
| No. | 遺構 | 材質 | 器種 | 部位 | 径 (cm) | 孔径 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 備考 |
|-----|-------|----|------|----|--------|---------|---------|--------|----------------|
| 128 | P-5 | 銅 | 紹聖元寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1094-) |
| 129 | P-5 | 銅 | 至道元寶 | 完形 | 2.5 | 0.5 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (995-) |
| 130 | P-5 | 銅 | 祥符元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1008-) |
| 131 | P-5 | 銅 | 天聖元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1023-) |
| 132 | P-5 | 銅 | 天聖元寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1023-) |
| 133 | P-5 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1004-) |
| 134 | P-5 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1004-) |
| 135 | P-5 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1039-) 篆書体 |
| 136 | P-5 | 銅 | 皇宗通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1039-) 楷書体 |
| 137 | P-5 | 銅 | 政和通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1111-) 篆書体 |
| 138 | P-5 | 銅 | 政和通寶 | 完形 | 2.6 | 0.7 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1111-) 篆書体 |
| 139 | P-5 | 銅 | 政和通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1111-) 楷書体 |
| 140 | P-5 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1078-) 行書体 |
| 141 | P-5 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.4 | 0.6 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1078-) 行書体 |
| 142 | P-5 | 銅 | 元豊通寶 | 完形 | 2.5 | 0.7 | 0.1 | 3.0 | 北宋 (1078-) 篆書体 |
| 143 | P-310 | 銅 | 景德元寶 | 完形 | 2.5 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 北宋 (1111-) |

Tab.9 出土遺物観察表（石製品）

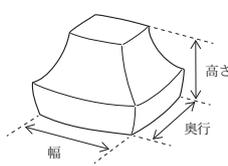
| No. | 遺構 | 器種 | 部位 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 石材 | 備考 |
|-----|------|------|------------|-------------|--------------|--------------|---------|--------|---|
| 3 | T-4 | 砥石 | 端部欠損 | (11.2) | 6.9 | 5.2 | 371.0 | 黒色安山岩 | |
| 4 | T-4 | 宝篋印塔 | 基礎 破片 | 幅 (16.4) | 奥行 (18.0) | 高さ (25.0) | 7333.5 | 黒色安山岩 | 格狭間に刻字「法口禪門」 |
| 5 | T-4 | 石臼 | 下臼 2/5 | 幅 (20.3) | 径 <24.4> | 高さ 10.0 | 3491.0 | 黒色安山岩 | 上下に盃状穴あり |
| 6 | T-4 | 盃状穴石 | 破片 | 幅 23.9 | 奥行 15.2 | 高さ 10.8 | 3591.0 | 黒色安山岩 | 破片による盃状穴あり ベッキンク破片痕 |
| 12 | D-31 | 砥石 | ほぼ完形 | (12.0) | 3.0 | 4.0 | 195.0 | 粘板岩 | |
| 13 | D-34 | 宝篋印塔 | 笠 (隅飾) | 幅 (11.1) | 奥行 (7.7) | 高さ (12.5) | 683.5 | 黒色安山岩 | |
| 28 | I-1 | 砥石 | - | (8.1) | (5.7) | (3.4) | 227.0 | 砂岩 | |
| 29 | I-1 | 砥石 | 1/2 | (8.1) | 6.4 | 5.6 | 330.0 | 黒色安山岩 | 荒砥用? |
| 30 | I-1 | 石鉢 | 破片 | 幅 (12.2) | 径 - | 高さ (5.6) | 491.0 | 安山岩 | |
| 31 | I-1 | 石臼 | 回転臼 1/3 | 幅 (24.4) | 径 <30.2> | 高さ 15.0 | 5413.5 | 黒色安山岩 | 直径約 3cmの投入穴あり |
| 32 | I-1 | 五輪塔 | 空風輪 完形 | 幅 17.3 | 奥行 16.5 | 高さ 24.4 | 5400.0 | 角閃石安山岩 | |
| 33 | I-1 | 五輪塔 | 空風輪 | 幅 18.0 | 奥行 18.3 | 高さ 23.1 | 5800.0 | 角閃石安山岩 | 風輪やや大きい |
| 34 | I-1 | 五輪塔 | 空風輪 | 幅 21.4 | 奥行 21.2 | 高さ 24.7 | 8800.0 | 角閃石安山岩 | 底部に凹あり |
| 35 | I-1 | 五輪塔 | 火輪 | 幅 35.3 | 奥行 37.5 | 高さ 21.5 | 30000.0 | 角閃石安山岩 | 下部は、反り上部は平であり、 上面からはほぼ正方形を呈する |
| 36 | I-1 | 五輪塔 | 火輪 | 幅 34.4 | 奥行 34.5 | 高さ 25.8 | 29000.0 | 角閃石安山岩 | 下部は、反り上部は平である |
| 37 | I-1 | 五輪塔 | 火輪 | 幅 35.4 | 奥行 35.0 | 高さ 22.5 | 18400.0 | 角閃石安山岩 | 上面穴の周囲に同心円状の研 磨痕が見られ、上下面ともに 反っている |
| 38 | I-1 | 五輪塔 | 水輪 | 幅 34.0 | 奥行 34.7 | 高さ 25.5 | 25200.0 | 角閃石安山岩 | 球面はよく研磨され、上下面 とも円弧状にくぼんでいる |
| 39 | I-1 | 五輪塔 | 水輪 | 幅 31.2 | 奥行 30.2 | 高さ 19.7 | 19600.0 | 角閃石安山岩 | 凸部は研磨しているが、加工 は荒い 上下面とも中央はく ぼんでいる |

| No. | 遺構 | 器種 | 部位 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 石材 | 備考 |
|-----|-------|-----------|----------------|-------------|------------------|--------------|---------|--------|--|
| 40 | I-1 | 五輪塔 | 水輪 | 幅 34.3 | 奥行 33.2 | 高さ 24.3 | 25400.0 | 角閃石安山岩 | 表面はよく研磨され、上下面 とも中央は円弧状にくぼんで いる |
| 41 | I-1 | 五輪塔 | 地輪 | 幅 33.9 | 奥行 36.0 | 高さ 26.5 | 40600.0 | 角閃石安山岩 | 上面に水輪の痕跡 中央がやや 高く周辺が低い水重勾配 胴部は中央が膨らんだ胴張り |
| 42 | I-1 | 五輪塔 | 地輪 | 幅 35.4 | 奥行 35.8 | 高さ 28.7 | 46800.0 | 角閃石安山岩 | 上面に径約 22cmの水輪の痕 跡 水重勾配 下面に幅 2.5 ~ 3cmの工具痕 (平整) |
| 43 | I-1 | 五輪塔 | 地輪 | 幅 29.8 | 奥行 31.0 | 高さ 24.9 | 27600.0 | 角閃石安山岩 | 側面全面研磨されている |
| 45 | I-3 | 五輪塔 | ミニチュア 風輪か水輪 | 幅 9.6 | 奥行 9.8 | 高さ 6.0 | 876.5 | 黒色安山岩 | 上面に径 4.2cm・下面に径 7.0 cm程度の中央が窪んだ面をも つ 石全体がよく磨かれている |
| 51 | W-1 | 石臼 | 上臼 ほぼ完形 | 径 36.4 | 上皿 内径 28.2 | 高さ 13.8 | 12360.5 | 安山岩 | 握り棒の差込口を最初のもの から変えている 下面の溝は 細く浅い 高さは差込口側が 厚く反対側は薄い 赤色 |
| 52 | W-2 | 石臼 | 下臼 1/2 | 幅 29.2 | 径 <29.2> | 高さ 11.9 | 7976.5 | 黒色安山岩 | 僅かに溝を確認できる 緑部 約 1cm幅の滑らかな部分があり、 上臼との接触面と考えられる |
| 57 | W-3 | 石臼 | 下臼 破片 | 幅 (16.1) | 径 <24.2> | 高さ 9.3 | 2327.0 | 黒色安山岩 | 底部に彫りの薄いつまみあり |
| 58 | W-3 | 石臼 | 上臼 1/2 | 幅 (23.0) | 径 <28.2> | 高さ 11.4 | 4378.5 | 黒色安山岩 | |
| 59 | W-3 | 石臼 未成品 | 破片 | 幅 33.5 | 径 - | 高さ 22.7 | 19000.0 | 安山岩 | 石塔の未成品の可能性もあり |
| 60 | W-3 | 小型板碑 | 破片 | (35.1) | (16.9) | 3.0 | 2365.0 | 点紋緑泥片岩 | 14c |
| 61 | W-3 | 宝篋印塔 | 笠 破片 | 幅 (28.8) | 奥行 (18.4) | 高さ (14.4) | 3126.5 | 黒色安山岩 | 一部に磨きあり |
| 69 | P-292 | 砥石 | 端部欠損 | (12.3) | 7.4 | 7.7 | 643.0 | 黒色安山岩 | |

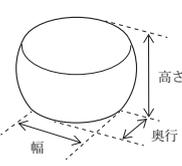
五輪塔（空風輪）



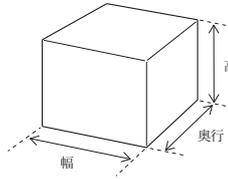
五輪塔（火輪）



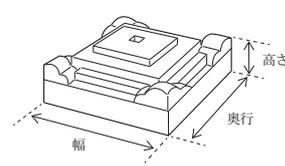
五輪塔（水輪）



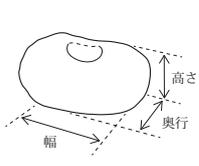
五輪塔（地輪）・宝篋印塔（基礎）



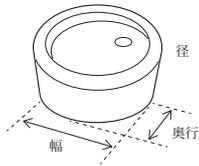
宝篋印塔（笠）



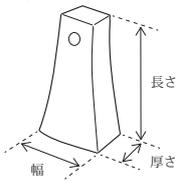
盃状穴石



石臼・石鉢・石臼未成品



砥石



板碑

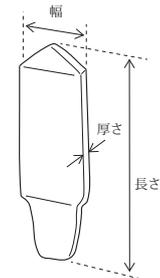


Fig.32 石製品計測部位と呼称凡例図

VI 人骨鑑定報告

元総社蒼海遺跡群（148）出土資料について

谷畑美帆（明治大学）

土壌は2つあり、それぞれ人骨が出土している。遺存状態は総じて不良であり、いずれも性別不明の成人個体である。

井戸の礫集中区および覆土中から人骨が出土しているが、いずれも性別不明の成人個体である。この他、未萌出の歯牙（2歳未満）が出土している。

| 注記 | 内容 |
|---------------|------------------------|
| 1 井戸、I-1 中層レキ | 長骨（下肢骨）片含む |
| 1 井戸、I-1 中層レキ | 右大腿骨ほか |
| 1 井戸、I-1 覆土 | 下顎第一大臼歯（未萌出）ほか 写真2 |
| 51 ピット | 左大腿骨 |
| 51 ピット | 下肢骨片（焼骨（カットマークあり）含） |
| 310 ピット | 下顎大白歯片・脛骨および腓骨片 写真1 |



写真1 310ピット



写真2



I-1 人骨出土状況と調査状況

VII 発掘調査の成果と課題

今回報告した元総社蒼海遺跡群（148）は、中世のある段階に大規模な削土造成が行われた上に、掘立柱建物跡等の遺構が濃密に形成されていた。従って報告した遺構・遺物の主体は中世であるが、北に接する既往調査区で確認されていた古代の区画溝（(143) W-3など）の延長部分がかろうじて残存していた（今回調査区W-4）。

古代の区画溝

この区画溝は（143）の報告書において取りあげ、群馬郡衛正倉初期の区画溝と推定したところである（永井ほか 2023）。右にその区画溝の合成図最新版を示した（Fig.33）。今回の調査で確認されたW-4は伴うと判断される遺物の出土は無く、年代根拠となるような遺構の重複関係も認められなかったため、（143）報告における推測を超えるものではない。あえて言うなら、中世の、おそらく蒼海城段階の削土造成によって古代の遺構が消滅する現実が示されたと考える。

中世の遺構群

今回の調査における主役とも言える中世の遺構群は、無数のピットから浮かび上がった掘立柱建物群と、方形竪穴状遺構や地下式坑、大小の土坑や井戸跡で、調査区内はまさに穴だらけという、中世遺跡特有の景色となった。反面、遺構数に比してその時期を決める根拠である出土遺物は非常に少なく、具体的に中世遺構群の評価が行いにくいという現実もある。

上記を踏まえた上で、切り合い関係と位置関係を根拠とすると、中世遺構群は大きく2期で把握される。

I期の遺構としては、大井戸であるI-1、東西区画溝W-3、掘立柱建物跡B-2～6、方形竪穴状遺構のT-1・2、地下式坑T-4が相当する。これらのうちI-1とW-3は切り合い関係にあり、具体的にはI-1を埋め戻した後にW-3が開削されている。これによりI-1はI期古段階、W-3はI期新段階とする。また、大井戸であるI-1の位置関係から、掘立柱建物跡2～6は、北側に偏在するB-2～4をI期古段階、南のB-5・6を新段階とすることが可能と思われる。とはいえ掘立柱建物跡は古段階・新段階共に重複しており、比較的頻繁な建て替えを想定する必要がある。

II期の遺構としては、W-1・2とした堀跡と、それに伴う掘立柱土櫓の可能性のあるB-1、I期の区画溝であるW-3はW-1と接する部分に埋土による土橋を設置する改変がなされている。なお、大規模な堀であるW-1・2は、『蒼海城絵図』によると「諏訪屋敷」とされる曲輪を形成するものだが、北に隣接する（143）報告でa～c期の3時期変遷が確認されている。従ってII期についても古・新段階、あるいはそれ以上の小段階を設定できるのかも知れない。

上記2期の実年代については、明確な遺物は少ない為、明言し難いのが現実である。とはいえ少量の土器・陶磁器からI期が15世紀後半、II期が16世紀代と考えておきたい。

ここで示した変遷は、調査が進展する中で批判的に検証されて行かなければならない。今後の課題としたい。

参考文献

永井智教ほか 2023 『元総社蒼海遺跡群（143）』前橋市教育委員会



Fig.33 古代の区画溝合成図



Fig.34 調査区南半のPit 結線案 (補足)

左図は本報告で遺構としての評価を控えたピットの結線案である。

城郭の曲輪の、ましてや堀に臨む位置関係であることを思えば、防御にかかわるような塀の類が多数存在していても不思議は無い。

とは言え報告者には、これらのピット群を城郭研究の視点から読み解く用意もない為、ここに補足の図を提示して責を果たし、大方の検討素材とするものである。

報告書抄録

| ふりがな | もとそうじゃおうみいせきぐん (148) | | | | | | | |
|----------------|--------------------------------------|-------|---|------------------|--------------|---|--------|---------------------------|
| 書名 | 元総社蒼海遺跡群 (148) | | | | | | | |
| 副書名 | 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | | | |
| 編著者名 | 永井智教・谷畑美帆 | | | | | | | |
| 編集機関 | 山下工業株式会社 文化財事業部 | | | | | | | |
| | 〒371-0244 群馬県前橋市鼻毛石町 207-8 | | | | | | | |
| 発行機関 | 前橋市教育委員会 文化財保護課 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 2024年3月5日 | | | | | | | |
| 所収遺跡名 | 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査対象面積 | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 元総社蒼海遺跡群 (148) | 群馬県前橋市元総社町 1889-1 ほか | 10201 | 4A281 | 36°-23'-29" | 139°-02'-00" | R5.1.30 } R5.3.17 | 1,000㎡ | 前橋都市計画事業 元総社蒼海土地区画整理事業 |
| | 種類 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | 特記事項 | | |
| | 官衙 | 奈良時代 | 区画溝 1 | — | | 北に接する (143)、さらにその北の (104) で確認されている区画溝と同一遺構。群馬郡衛正倉初期の区画溝と推定。 | | |
| | 城館 | 中近世 | 掘立柱建物跡 7 竪穴状遺構 7 土坑 36 井戸跡 6 溝跡 5 ピット 507 その他 | 土器、陶磁器、鉄器、銭貨、石製品 | | 15～16世紀代の遺構群。切り合い関係等からⅠ・Ⅱ期あり、蒼海城が城郭化するプロセスを示すものと考えられた。 | | |

元総社蒼海遺跡群（148）

—前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2024年 3月 5日 印刷・発行

編集 山下工業株式会社
発行 前橋市教育委員会
印刷 朝日印刷工業株式会社
